



# Quality Forward

## ユーザマニュアル

**VERISERVE**

最終更新日：2022/01/05

# 目次

<b>第 1 章 はじめに.....</b>	<b>9</b>
1.1.    テスト管理クラウド QualityForward.....	9
1.2.    サポート環境 .....	9
ブラウザ .....	9
外部連携 .....	9
<b>第 2 章 ユーザ管理.....</b>	<b>10</b>
2.1.    ユーザサインイン.....	10
2.1.1.    パスワード再設定 .....	11
2.1.2.    アカウントロックの解除 .....	12
2.2.    ユーザ管理 .....	13
2.2.1.    ユーザを招待する .....	13
2.2.2.    ユーザをテナントから削除する .....	17
2.3.    ユーザ設定を変更する.....	17
2.3.1.    プロフィール設定を変更する.....	18
2.3.2.    言語設定を変更する .....	19
2.3.3.    パスワードを変更する .....	20
2.4.    テナントを切り替える.....	21
2.5.    アクセス権限を付与する .....	22
2.5.1.    アクセス権限一覧 .....	22
2.5.2.    テナントのユーザ権限を変更する .....	24
2.6.    テナントの使用量.....	26
2.7.    お知らせを見る .....	27

## 第3章 初期設定..... 28

3.1. 新規プロジェクトを作成する .....	29
3.1.1. プロジェクトの基本設定 .....	29
3.1.2. テスト結果のラベルを設定する .....	30
3.1.3. テスト結果補足を設定する.....	30
3.1.4. テストブロックナーを設定する.....	32
3.1.5. テストスイートのテスト定義項目ラベルを設定する .....	32
3.1.6. テスト結果部の項目ラベルを設定する .....	33
3.2. プロジェクトのユーザ管理 .....	34
3.2.1. プロジェクトにユーザを追加する .....	34
3.2.2. プロジェクト参加ユーザの権限を変更する.....	35
3.3. プロジェクト設定を変更・削除する.....	36
3.3.1. プロジェクト設定を変更する .....	36
3.3.2. API キーを発行する .....	37
3.3.3. プロジェクトをアーカイブする .....	37
3.3.4. プロジェクト設定を削除する .....	39
3.4. プロジェクトを複製する .....	40

## 第4章 進捗管理..... 42

4.1. ダッシュボード .....	42
4.1.1. 本日の実績消化数（プロジェクト全体） .....	42
4.1.2. 本日の予測消化数 .....	43
4.1.3. 本日の実績消化数 .....	43
4.1.4. フェーズ一覧.....	44
4.1.5. フェーズ毎の本日の予測消化数 .....	44

4.1.6.	フェーズ毎の本日の実績消化数 .....	44
4.1.7.	成分バーと期限バー .....	45
4.1.8.	前日のデータを見る .....	45
4.1.9.	旧ダッシュボード .....	46
	実施中のテストフェーズ .....	47
	最近完了したテストフェーズ .....	47
	実施中のテストサイクル .....	47
	レビュー待ちのテストサイクル .....	48
	最近完了したテストサイクル .....	48
4.2.	ワークスペースで自分のタスクを確認する .....	48

## 第 5 章 テストケースの管理 ..... 50

5.1.	テスト要求ツリーを利用する .....	50
5.1.1.	要求ツリーを作成する .....	50
5.1.2.	ツリーを編集する .....	51
5.1.3.	テストシートと要求ツリーを紐付ける .....	52
5.1.4.	テストの実装状況を確認する .....	54
5.1.5.	紐付けられたテストシートを確認する .....	56
5.2.	テストシートを作成する .....	56
5.2.1.	テストシートの基本設定 .....	56
5.2.2.	テスト定義の項目を設定する .....	58
5.2.3.	カバレッジパネルの集計に利用する項目設定 .....	59
5.2.4.	テスト結果の自由項目を設定する .....	60
5.2.5.	テストブロッカーの集計に利用する項目を指定する .....	61
5.2.6.	初期バージョンを設定する .....	62
5.2.7.	ファイルを添付する .....	63
5.2.8.	テストシートを検索する .....	64

5.3. テストケース取込.....	66
5.3.1. テストケース取込 .....	66
列の追加.....	69
5.4. Excel インポート .....	71
5.4.1. Excel インポート .....	71
5.5. テストケース作成.....	76
5.5.1. オンライン編集.....	76
5.6. テストスイート設定を変更・削除する.....	79
5.6.1. テストスイート設定を変更する .....	79
5.6.2. テストスイートをアーカイブする .....	80
5.6.3. テストスイートを削除する.....	81
5.6.4. テストフェーズとの紐付けの解除方法 .....	82
5.7. テストスイートにヘッダを追加する.....	85
5.8. 新しいバージョンのテストスイートを作成する .....	87
5.8.1. 新しいバージョンの基本設定.....	87
5.8.2. テストスイートバージョンにタグ付けをする.....	88
5.8.3. テストスイートバージョンのステータスを設定する .....	91
5.9. テストスイートバージョン設定を変更・削除する .....	91
5.10. テストスイートをロックする .....	92
5.11. テストスイートをダウンロードする.....	94
5.12. カバレッジパネルを利用する .....	95
5.13. テストスイートにコメントを残す .....	97
5.14. テストスイートのレビューのワークフロー .....	99
5.14.1. レビュー依頼を送る .....	99
レビュー依頼者の操作 .....	99
レビュワーの操作.....	100
5.15. テストスイートの差分確認 .....	101

# 第6章 テストフェーズの管理.....104

6.1.	テストフェーズを作成する .....	104
6.1.1.	テストフェーズの基本設定.....	104
6.1.2.	対象のテストスイートバージョンを設定する.....	105
6.2.	BTS 連携を行う .....	106
6.3.	テストフェーズ設定を変更・削除する.....	107
6.3.1.	テストフェーズ設定を変更する .....	107
6.3.2.	テストフェーズをアーカイブする .....	107
6.3.3.	テストフェーズを削除する.....	108

# 第7章 テストサイクルの管理.....110

7.1.	テストサイクルを作成する .....	110
7.2.	テスト実施時に自動入力される値を設定する .....	112
7.3.	テスト結果欄の検証設定をする .....	112
7.4.	予実設定を管理する.....	113
7.4.1.	予実設定を入力する .....	114
7.4.2.	予実設定を初期化する .....	115
7.5.	テストサイクル設定を変更・削除する.....	115
7.5.1.	テストサイクル設定を変更する .....	115
7.5.2.	テストサイクルを削除する.....	116
7.6.	テストサイクルをエクスポートする.....	117
7.7.	テストサイクルの再テストを行う .....	117
7.8.	テストサイクルの進捗情報をコピーする.....	119
7.9.	アサイン表でテスト担当者を管理する.....	120

## 第 8 章 実行管理.....122

8.1.	テストを実行する.....	122
8.2.	テスト結果にファイルを添付する .....	124
8.3.	テストを実行しながら BTS に起票する.....	125
8.4.	文字列の配置を変更する .....	126
8.5.	列の表示・非表示を切り替える .....	126
8.6.	テスト結果補足の設定内容を確認する.....	128
8.7.	テストケースを編集する .....	129
8.8.	テスト結果をエクスポートする .....	130
8.9.	テスト結果をインポートする .....	132
8.10.	掲示板でテスト状況の報告を行う .....	133
8.11.	レビューのワークフロー .....	135
8.11.1.	レビューを依頼する .....	135
8.11.2.	レビュー依頼を差し戻す .....	137
8.11.3.	レビューを完了する .....	139
8.12.	テストサイクルの状態を変更する .....	140
8.13.	関連ファイルを確認する .....	141
8.14.	テストの実行時間を確認する .....	142
8.15.	更新履歴管理 .....	142

## 第 9 章 レポート管理.....144

9.1.	プロジェクト全体のレポート .....	144
9.1.1.	収束曲線(総数) .....	144
9.1.2.	収束曲線(変動) .....	145
9.1.3.	テストケース総数を確認する .....	146

9.1.4.	プロジェクト全体のカバレッジパネル .....	147
9.1.5.	フェーズ一覧.....	149
9.1.6.	プロジェクトのイベント設定.....	149
9.2.	フェーズごとレポート.....	150
9.2.1.	フェーズごとのカバレッジパネル.....	151
9.2.2.	収束曲線(総数) .....	152
9.2.3.	収束曲線(変動) .....	153
9.2.4.	テストフェーズのテストケース総数を確認する.....	154
9.2.5.	チャートにフィルタをかける.....	155
9.2.6.	フィルタ設定を変更・削除する .....	157
9.2.7.	欠陥実績数を CSV で登録する .....	158
9.2.8.	過去の進捗実績結果を編集する .....	161
9.2.9.	テストフェーズのイベント設定 .....	163
9.2.10.	全欠陥情報の上書き同期 .....	164
9.2.11.	進捗の内訳.....	165
9.2.12.	最近のインシデント .....	165
9.2.13.	バグ優先度別チャート .....	166
9.2.14.	ステータス別チャート .....	167
9.2.15.	テストブロックを確認する.....	168
9.2.16.	実績推移表.....	169
9.2.17.	実績推移表をエクスポートする .....	170
9.3.	レポート設定 .....	171
9.3.1.	フッターのラベルを変更する.....	171
9.3.2.	レポートのラベルを変更する.....	172

## 第 10 章 チーム Wiki の管理.....175

10.1. チーム Wiki の作成 .....	175
10.1.1. ページを新規作成する .....	175
10.1.2. ファイルを添付する .....	176
10.1.3. ページを追加する .....	177
10.2. チーム Wiki を編集・削除する.....	178
10.2.1. ページを編集する .....	178
10.2.2. ページを削除する .....	179

## 第 11 章 アラートセンターを利用する ..... 180

11.1. アラートを設定する.....	180
11.1.1. レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っている際に検知する .....	180
11.1.2. レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている際に検知する .....	182
11.1.3. テストフェーズの進捗に遅れがある際に検知する .....	183
11.2. アラートをアーカイブする .....	184

# 第1章 はじめに

このたびは、ベリサーブのクラウド、QualityForward へご興味をもっていただき誠にありがとうございます。本章では QualityForward をご利用いただく際に必要な基本情報をご説明します。

## 1.1. テスト管理クラウド QualityForward

QualityForward は高度なテスティングサービスを日々提供し、産学連携の技術開発にも貢献し続けるベリサーブのクラウドテスト管理サービスです。

現場の管理・分析・設計ノウハウ、および研究機関との共同開発の成果を、クラウド、そしてエンジニアを通じて、ご活用いただけます。

## 1.2. サポート環境

本節では、QualityForward がサポートするブラウザ、外部連携について説明します。

### ブラウザ

ブラウザ	備考
Google Chrome 最新版 (推奨)	
Microsoft Edge 最新版	

### 外部連携

Redmine 又は JIRA と同期することで、バグのオープンクローズチャートを QualityForward 上で確認することが可能です。

BTS	サポートバージョン	備考
Redmine	2.0 以上	Redmine の REST API を利用します
JIRA	7.0 以上	JIRA の REST API を利用します

# 第2章 ユーザ管理

本章では、ユーザ情報の管理について説明します。

## 2.1. ユーザサインイン

- (1) トップ画面のログインをクリックします。



- (2) 招待を承認済みのメールアドレスとパスワードを入力してサインインボタンを押します。

The screenshot shows a sign-in form titled "サインイン". It has two input fields: "メールアドレス" (Email Address) and "パスワード" (Password). Below the password field is a note: "半角英数記号8文字以上" (8 characters or more, alphanumeric and symbols). At the bottom of the form is a blue "サインイン" (Sign In) button. To the right of the button, there is a link: "②パスワードをお忘れの場合" (If you forgot your password).

## 2.1.1. パスワード再設定

パスワードを忘れてしまった場合はパスワードの再設定が必要です。ここでは、パスワードを再設定する方法を説明します。

- (1) サインイン画面より、"パスワードをお忘れの場合"をクリックしてください。

サインイン

メールアドレス

パスワード

半角英数記号8文字以上

サインイン

④パスワードをお忘れの場合

- (2) パスワードを再設定したいアカウントのメールアドレスを入力し、パスワード再発行ボタンを押します。パスワード再設定のためのメールが入力されたメールアドレス宛に送付されます。

パスワードの再発行

メールアドレス

パスワード再発行

- (3) 送信されたメールから、パスワード再設定のための URL をクリックします。

qualityf.user@gmail.comさん

以下のURLからパスワードの再設定を行えます。

[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/users/password/edit?reset\\_password\\_token=MhiJ44](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/users/password/edit?reset_password_token=MhiJ44)

パスワードの再設定をリクエストした覚えのない方は、このメールを破棄して下さい。

あなたが上記のURLにアクセスしない限り、パスワードの再設定は行われません。

---

QualityForward  
<https://aegis-staging.n2jk-apps.com/>

---

※本メールは送信専用のメールアドレスから送信されているため返信はできません

- (4) パスワード欄と確認用パスワード欄に新しく設定したいパスワードを入力し、パスワード変

更ボタンを押します。



パスワードの変更

パスワード  
.....

確認用パスワード  
.....

**パスワード変更**

The 'Password Change' button is highlighted with a red box.

## 2.1.2. アカウントロックの解除

ログインに5回以上失敗した場合、アカウントにロックがかかります。ロックのかかったアカウントはユーザ名に🔒マークが付きます。テナント管理者がロックを解除することができます。

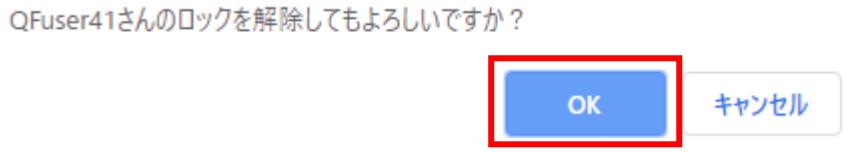
- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) ロックのかかったアカウントの下に表示されているロックを解除をクリックします。



- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



## 2.2. ユーザ管理

現状の QualityForward ではユーザは所属するプロジェクト以下の、テストフェーズ、サイクルに対し読み込み・書き込みの権限を持ちます。テスト業務をスムーズに遂行するために、プロジェクトに所属する要員であれば誰でも自由に資料にアクセスできた方が良い、という考え方が背景にあります。所属しないプロジェクトに関しては、読み込み・書き込みのどちらも行うことができません。

### 2.2.1. ユーザを招待する

ゲストがユーザとしてサインインを行うには、ユーザの招待が必要です。通常、招待されたユーザはいずれかのテナントに属します。ユーザの招待はテナント管理者権限を持つユーザのみが行え、プロジェクト管理者または一般ユーザは新たにユーザを招待することができません。本項ではテナント管理者が新しくユーザを招待する方法を説明します。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) テナントのユーザー一覧の右上にあるユーザ招待ボタンを押します。

サンプルテナントテナントのユーザー一覧

+ ユーザ招待

メールアドレスで検索 検索

名前	メールアドレス	最終ログイン日時
QFuser21 テナント管理者 認証済 権限設定 シート一覧	qualityf.user+21@gmail.com	2019/11/14 19:11

直テナントから外す

- (3) 招待したいユーザのメールアドレスを入力します。

新規ユーザの招待

基本設定

メールアドレス

テナントの権限

一般ユーザ

プロジェクト設定

参加 管理者 プロジェクト

サンプルプロジェクト

招待メールを送る

- (4) ユーザを招待する際に、参加させるプロジェクトの選択ができ、プロジェクトの管理者としての権限を与えることもできます。各権限での実行可能な機能については、手順 [2.5](#) をご覧ください。

招待するユーザにプロジェクト管理者としての権限を与えたい場合は、管理者のチェックボックスにチェックを入れます。

管理者権限が不要な場合は、参加のチェックボックスにのみチェックを入れます。管理者権限は後から変更することができます。

新規ユーザの招待

■ 基本設定

メールアドレス

テナントの権限

一般ユーザ

■ プロジェクト設定

参加 管理者 プロジェクト

□ □ サンプルプロジェクト

招待メールを送る

(5) 招待メールを送るボタンを押します。

■ プロジェクト設定

参加 管理者 プロジェクト

□ □ サンプルプロジェクト

招待メールを送る

※テナントの権限で「テナント管理者」を選択している場合、プロジェクト設定は表示されません。

新規ユーザの招待

■ 基本設定

メールアドレス

テナントの権限

一般ユーザ  
一般ユーザー  
テナント管理者

■ プロジェクト設定

参加 管理者 プロジェクト

□ □ サンプルプロジェクト

招待メールを送る

- (6) 入力したメールアドレス宛に招待メールが送信されます。招待メールから、招待を承認するための URL をクリックします。



- (7) 名前とパスワードを入力し、続けるボタンを押します。

名前とパスワードの設定

\*名前  
システム上で表示する名前

パスワード  
半角英数記号8文字以上

確認用パスワード  
もう一度入力してください

続ける

※本画面で設定したお名前が、テスト結果のテスター欄に記入されます。お名前、メールアドレス、パスワードは後から変更可能です。

※招待メールを紛失した際などはテナントのユーザ管理画面から招待 URL の再生成が可能です。



## 2.2.2. ユーザをテナントから削除する

登録ユーザのアカウントを削除する方法について説明します。※テストスイートの管理者となっているアカウントはテナントから削除することができません

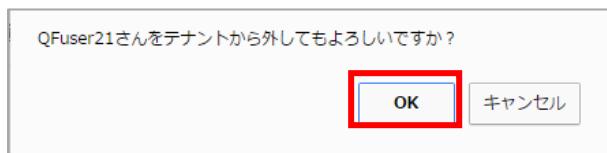
- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) 一覧から、停止するユーザのメールアドレス横にあるテナントから外すボタンを押します。



- (3) 停止の確認メッセージダイアログボックスが表示されたら OK ボタンを押します。



## 2.3. ユーザ設定を変更する

ユーザ毎にアカウントの設定を変更することができます。

## 2.3.1. プロフィール設定を変更する

以下の手順でユーザの名前、メールアドレスの変更ができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。



- (2) 変更したい名前またはメールアドレスを入力します。

A screenshot of the 'プロフィール設定' (Profile Setting) page. It has two input fields with red boxes around them: '必須 名前' (Required Name) containing 'QF太郎' and '必須 メールアドレス' (Required Email Address) containing 'xxxxxxxxx@example.co.jp'. Below these are sections for 'プロフィール画像' (Profile Image) with a placeholder 'Q' and a file selection button 'ファイルを選択' (Select File) which says '選択されていません' (Not selected). At the bottom is a blue '更新する' (Update) button.

- (3) ファイルを選択ボタンを押し、プロフィールに設定したい画像を選択します。

プロフィール設定

必須 名前  
QF太郎

必須 メールアドレス  
xxxxxxxxx@sample.co.jp

プロフィール画像  
  
ファイルを選択 選択されていません

更新する

- (4) 変更したい箇所の入力を終えたら更新するボタンを押します。

### 2.3.2. 言語設定を変更する

テナントの言語設定とは別に、個人で言語の設定を行うことができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。



- (2) 表示言語で「日本語」または「英語」を選択します

表示言語

日本語

更新する

(3) 言語を選択したら更新するボタンを押します。

※ユーザの言語設定と行わない場合、テナントの言語設定が反映されます。

### 2.3.3. パスワードを変更する

以下の手順でパスワードの変更ができます。

(1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。



(2) 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、更新するボタンを押します。

パスワード変更

必須 現在のパスワード

必須 パスワード

半角英数記号8文字以上

①パスワードの強度が色で表示されます。安全に利用するため  
に緑色にするのがお薦めです。

必須 確認用パスワード

もう一度入力してください

**更新する**

## 2.4. テナントを切り替える

複数テナントに属するユーザはログインした状態でテナントを切り替えることができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントの切り替え”をクリックします。  
※ユーザが属するテナントがひとつの場合、テナント切り替えメニューは表示されません。



- (2) 切り替えたいテナント名の右側にある切り替えボタンを押します。

テナントを選択してください

サンプルテナント

切り替え

veriserve

切り替え

## 2.5. アクセス権限を付与する

ユーザの権限レベルにより、ユーザをテナントへ招待したり、プロジェクトへの招待・管理者設定を行うことができます。

### 2.5.1. アクセス権限一覧

それぞれの権限での実行可能機能は以下の通りです。

テナントの管理に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
ユーザの招待・削除	○	×	×
ユーザ権限の変更	○	×	×
テナントのユーザ数と結果数の確認	○	×	×

### プロジェクトの管理に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
既存ユーザへのプロジェクト管理者権限の付与・はく奪	○	○	×
プロジェクトへのユーザの追加	○	○	×
プロジェクトの作成・削除	○	×	×
プロジェクトの複製	○	×	×
プロジェクトのアーカイブ	○	×	×
プロジェクトのAPIキー生成	○	○	×

各機能に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
テナントのユーザ管理	○	×	×
テナントの使用量閾値	○	×	×
プロジェクトの作成	○	×	×
プロジェクト設定の変更	○	○	○
プロジェクトの削除	○	×	×
APIキー生成	○	○	×
プロジェクトのアーカイブ	○	×	×
プロジェクトのユーザ管理	○	○	×
テストスイートの作成	○	○	○
テストスイートのアーカイブ	○	○	×
テストスイートバージョンのロック	○	○	×
テストフェーズの作成	○	○	○
テストフェーズ設定の変更	○	○	○
テストフェーズのアーカイブ	○	○	×
テストフェーズの削除	○	○	×
テストサイクルの作成	○	○	○
テストサイクル設定の変更	○	○	○
テストサイクルの状態変更	○	○	×
テストサイクルの削除	○	○	×
テストサイクルのコメント削除	○	○	×
アラートセンターの設定	○	○	×
アラートのアーカイブ	○	○	×

## 2.5.2. テナントのユーザ権限を変更する

ユーザの権限が「テナント管理者」の場合、他のユーザに対しテナント管理者権限の付与または一般ユーザへの変更を選択できます。各権限での実行可能な機能については、手順 [2.5](#) をご覧ください。

さい。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) テナントのユーザー一覧から権限を変更したいユーザ名の下の“権限設定”をクリックします。

サンプルテナントテナントのユーザー一覧			+ ユーザ招待
名前	メールアドレス	最終ログイン日時	
QFuser21 [テナント管理者] [認証済]	qualityf.user+21@gmail.com	2019/11/14 19:11	<span>▲ テナントから外す</span>
<span>✎ 権限設定</span> [スイート一覧]			

- (3) テナントの権限リストボックスから権限を選択します。

QFuser21さんの設定

テナントの権限
テナント管理者
<b>テナント管理者</b> (highlighted)
一般ユーザ

更新する

- (4) 更新するボタンを押します。

## 2.6. テナントの使用量

テナント全体の最大ユーザ数と最大テスト結果数を毎月確認することができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントの使用量”をクリックします。



- (2) 月毎の最大ユーザ数と最大テスト結果数がこちらで確認できます。

月別の最大使用量		
対象月	最大ユーザ数	最大テスト結果数
2017年09月	8人	4,245件
2017年08月	8人	4,228件

- (3) また、プロジェクト一覧でも登録済みユーザ数を確認することができます。

プロジェクト一覧			
プロジェクト名	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	3人

## 2.7. お知らせを見る

QualityForward からのお知らせはユーザメニューよりご確認いただけます。

※現在、日本語のみに対応しております。

- (1) 画面右上のアカウント名横にあるベルアイコンをクリックします。



- (2) お知らせ一覧が表示されるので、内容を確認したいお知らせのリンクをクリックします。

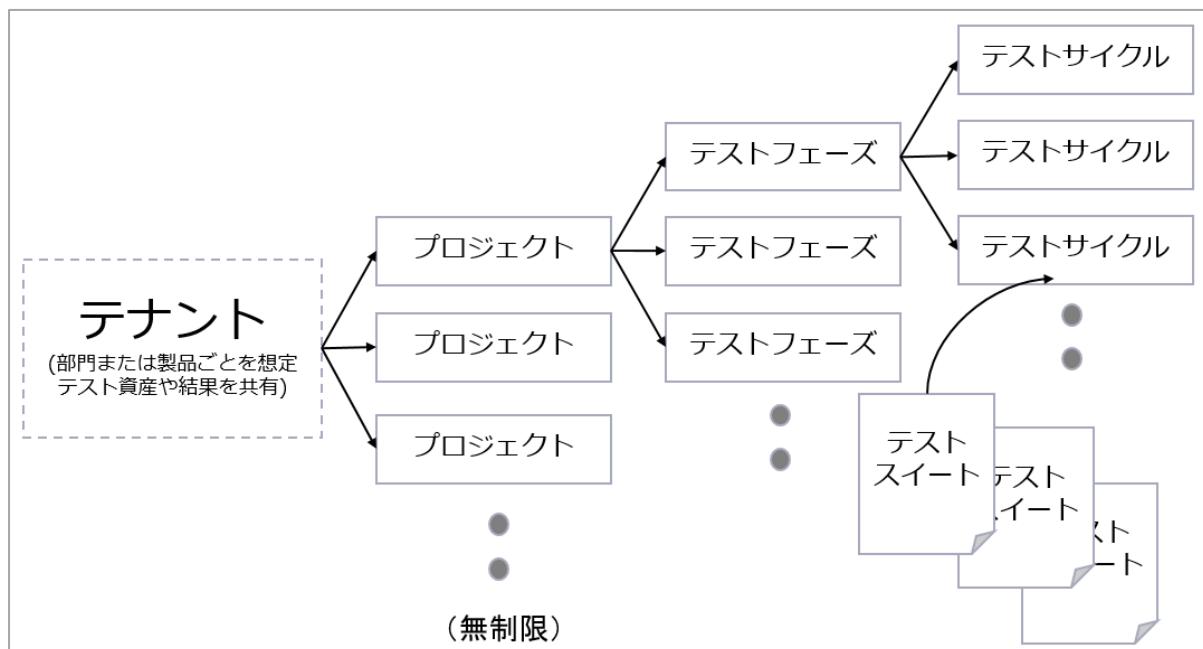
お知らせ一覧	
<a href="#">お知らせ</a> Internet Explorer(IE)のサポート終了のお知らせ	2020/06/08
<a href="#">アップデート告知</a> テストサイクルにテスト担当者が設定できるようになります	2020/06/05
<a href="#">アップデート告知</a> 結果入力にデフォルト値が設定できるようになります	2020/04/23

# 第3章 初期設定

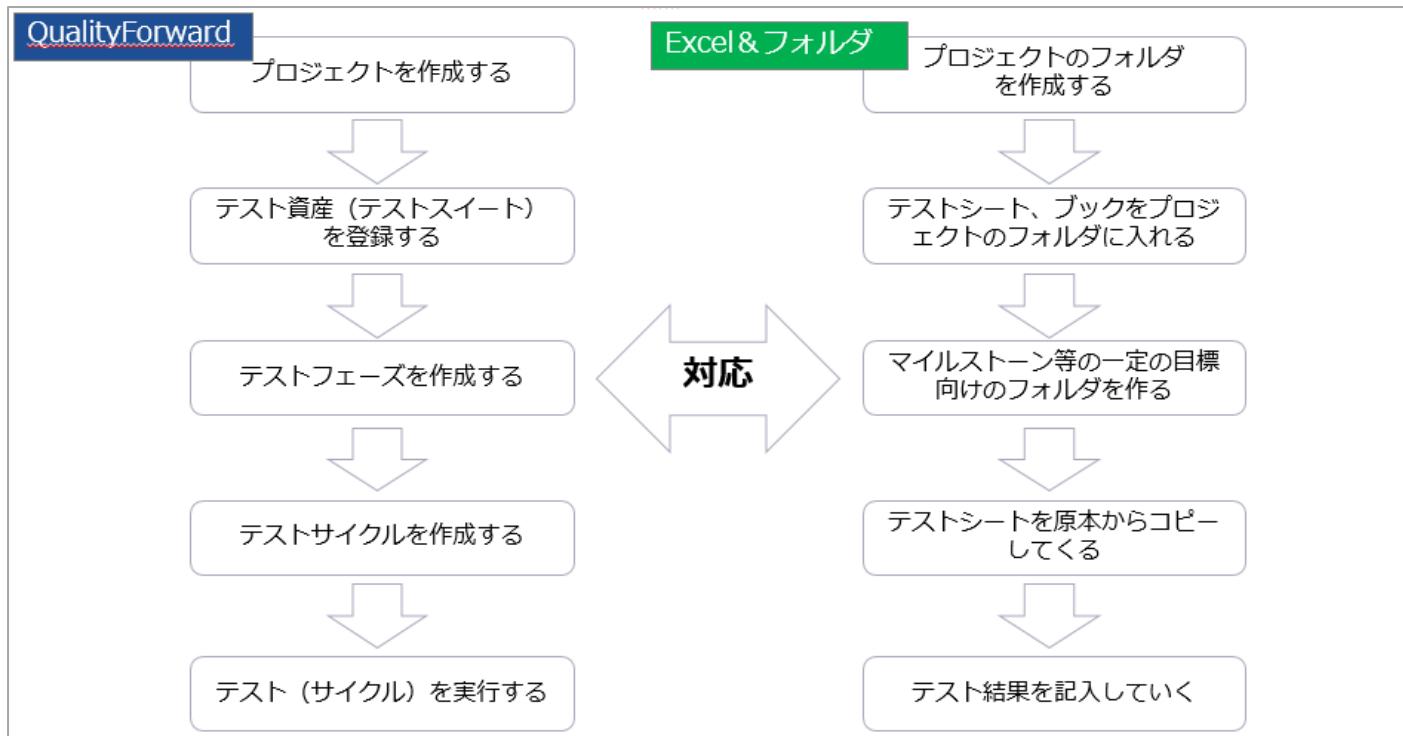
QualityForward におけるテストプロジェクトは以下のような構造を持っています。

テナントという仮想的なトップレベルの構造がお客様ごとに生成され、ログイン直後はこのテナントに属するプロジェクトの一覧が表示されます。テナントは製品ライン、プロジェクトはそのまま、一定の期間をもつプロジェクトとお考え下さい。

プロジェクトごとに、一定の期間、ボリュームが設定されたテストフェーズが存在し、フェーズの下に、プロジェクトのテストスイートから生成されたテストサイクル（テストの実行単位）が属します。



ファイルサーバのフォルダと Excel のシート、ブックを利用してプロジェクトを進める場合と、QualityForward を利用してプロジェクトを進める場合を下図で比較します。以下のように、フォルダと Excel での作業の流れとほぼ完全に対応しています。



### 3.1. 新規プロジェクトを作成する

プロジェクトの新規作成手順について説明します。プロジェクトの設定は後から変更可能です。

#### 3.1.1. プロジェクトの基本設定

- (1) ユーザサインイン後に表示されるプロジェクト一覧の右上にあるプロジェクト追加ボタンを押します。



- (2) プロジェクトの基本情報を入力します。概要説明はHTML形式での入力が可能です。

A screenshot of a 'New Project Addition' form. At the top, it says 'プロジェクトの新規追加'. Below that, there is a tab labeled '基本設定' (Basic Settings) which is currently selected. Under this tab, there are two required fields: 'プロジェクト名' (Project Name) and '概要説明' (Summary Description), both marked with a red '必須' (Required) label. There is also a large text area for '概要説明'.

### 3.1.2. テスト結果のラベルを設定する

テスト結果を入力する際のラベルを決めます。テスト結果のラベルは7種類まで設定することができます。進捗数として数えたくないテスト結果の種類がある場合、「進捗集計の対象としない」チェックをオンにします。変更の必要がない場合はそのまま登録の手順に進んでください。

■ テスト結果のラベル

**必須** PASSのラベル  
PASS  
①期待動作と製品の振る舞いに相違がない場合に指定します  
 進捗集計の対象としない

**必須** FAILのラベル  
FAIL  
①期待動作と製品の振る舞いに相違がある、または個別の決定的な不具合がある場合に指定します  
 進捗集計の対象としない

**必須** SKIPのラベル  
SKIP  
①テスト実施者の判断で一時的に判断を保留する場合に指定します  
 進捗集計の対象としない

**必須** CUTのラベル  
CUT  
①テスト管理者の判断で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します  
 進捗集計の対象としない

**必須** BLOCKのラベル  
BLOCK  
①テスト実施中の何らかの事情で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します  
 進捗集計の対象としない

**必須** N/Aのラベル  
N/A  
①機能ドロップなど、テスト対象の事情で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します  
 進捗集計の対象としない

**必須** Q&Aのラベル  
Q&A  
①テスト中に何らかの質問を行う必要がある場合に指定します  
 進捗集計の対象としない

### 3.1.3. テスト結果補足を設定する

テスト結果を入力した後に結果の変更があった場合などに、テスト結果の補足(FAILからPASSへ変更など)を入力することができます。このテスト結果補足は、通常のテスト結果と同様にテスト実行画面での入力が可能で実績推移表で集計が行われます。

- (1) テスト結果補足を使用する場合は、「補足を利用する」にチェックを入れます。

<h3>テスト結果の補足</h3> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補足を利用する</p>
--

- (2) テスト結果が入力された場合に、結果に紐付くテスト結果補足を設定できます。入力形式は csv で「名称,説明書き」の形式で入力します。Q&A は内容の分類を追加するなどして補足することができます。Q&A は収束曲線でも表示されます。

<h3>テスト結果の補足</h3> <p><input type="checkbox"/> 補足を利用する</p> <div style="background-color: #f2f2f2; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>注意：テスト結果保全のため、一度補足の種類を追加したら減らす事はできません。ラベルの変更は可能です。 補足はテキストエリアの何行目かをIDとして利用しています。 フォーマットはCSVで、1列目は名称、2列目は説明書きとなっています。</p></div> <p>PASSの補足</p> <pre>FAIL → PASS,FAIL → PASS SKIP → PASS,SKIP → PASS QA → PASS,QA → PASS aaaa,aaaa !"#\$%&amp;'(),`*?+</pre> <p>FAILの補足</p> <pre>Q&amp;A→FAIL,Q&amp;A→FAIL SKIP→FAIL,SKIP→FAIL</pre> <p>SKIPの補足</p> <pre>FAIL→SKIP,FAIL→SKIP</pre> <p>CUTの補足</p> <pre>FAIL→CUT,FAIL→CUT SKIP→CUT,SKIP→CUT</pre> <p>BLOCKの補足</p> <pre>FAIL→BLOCK,FAIL→BLOCK SKIP→BLOCK,SKIP→BLOCK CUT→BLOCK,CUT→BLOCK</pre> <p>N/Aの補足</p> <pre>FAIL→N/A,FAIL→N/A SKIP→N/A,SKIP→N/A CUT→N/A,CUT→N/A BLOCK→N/A,BLOCK→N/A</pre> <p>Q&amp;Aの補足</p> <pre>1,QA1 2,QA2 3,QA3 4,QA4 5,QA5 6,QA6</pre>
---

※一度保存をすると種類を減らすことができません。

※保存済のラベルを変更することは可能です。

### 3.1.4. テストブロッカーを設定する

テストブロッカーとは BLOCK・Q&A など、タスクがテスト実行者以外にあるためテストが実施できない項目を指します。テストブロッカーを設定するとレポート画面に BLOCK・Q&A の項目ごとの内訳が集計され、テストの進行への影響度をリアルタイムで確認することができます。（手順 [9.2.15 参照](#)）

「テストブロッカーの設定」で集計したい項目にチェックを入れます。チェックを入れた項目に入力した値が集計され、件数の多い上位 10 件が表示されます。

■ テスト結果の補足

補足を利用する

■ テストブロッカーの設定

BLOCKの結果を集計する  
 Q&Aの結果を集計する

■ テストシートのテスト定義項目ラベル

必須 項目1のデフォルトラベル  
機能カテゴリ

※このほかにテストシートの設定にて集計するラベルを指定する必要があります。（手順 [5.2.5 参照](#)）

### 3.1.5. テストシートのテスト定義項目ラベルを設定する

テストシートのデフォルトの項目名と、項目の使用・未使用のデフォルト選択ができます。ここで入力・選択したラベルは全てのテストシートに反映されます。

テストシートのテスト定義項目は標準で 25 項目まで(申し込み時オプションによって異なります)設定が可能です。使わない項目はそのまま登録してください。項目ラベルはテストシート毎に変更することも可能です。（手順 [5.6.1 参照](#)）

### テストスイートのテスト定義項目ラベル

項目1のデフォルトラベル	使用中	ID
項目2のデフォルトラベル	使用中	テスト要素
項目3のデフォルトラベル	使用中	メインアイテム
項目4のデフォルトラベル	使用中	サブアイテム
項目5のデフォルトラベル	使用中	テスト目的
項目6のデフォルトラベル	使用中	テスト条件
項目7のデフォルトラベル	使用中	事前条件
項目8のデフォルトラベル	使用中	テスト手順
項目9のデフォルトラベル	使用中	期待動作
項目10のデフォルトラベル	未使用	項目10
項目11のデフォルトラベル	未使用	項目11
項目12のデフォルトラベル	未使用	項目12

### 3.1.6. テスト結果部の項目ラベルを設定する

テスト実行画面のテスト結果部のデフォルトの項目名と使用・未使用をここで設定できます。入力・選択したラベルは全てのテストスイートに反映されます。項目ラベルはテストスイート毎に変更することも可能です。(手順 [5.6.1](#) 参照)

テスト結果部の項目は標準で 10 列まで使用可能です。(申し込み時オプションによって異なります)

### テストスイートのテスト結果項目ラベル

項目1のデフォルトラベル	使用中	バグID
項目2のデフォルトラベル	使用中	備考
項目3のデフォルトラベル	未使用	
項目4のデフォルトラベル	未使用	

全ての入力を終えたら「登録する」ボタンを押します。ダッシュボードの画面に切り替わればプロジェクト登録完了です。

## 3.2. プロジェクトのユーザ管理

テナント管理者またはプロジェクト管理者の権限を持つユーザは、テナント内のユーザをプロジェクトに招待することができます。またテナント管理者の権限を持つユーザはプロジェクト参加ユーザの権限を変更することができます。各権限での実行可能な機能については、手順 [2.5](#) をご覧ください。

### 3.2.1. プロジェクトにユーザを追加する

(1) プロジェクトのダッシュボードからユーザ管理ボタンを押します。



The screenshot shows the QF Sample Project dashboard. At the top right, there are two buttons: 'User Management' (with a user icon) and 'Setting' (with a gear icon). The 'User Management' button is highlighted with a red box.

(2) プロジェクト参加ユーザー一覧の右上のユーザ追加ボタンを押します。



The screenshot shows the 'User List' page under the 'Project User List' section. At the top right, there is a green button labeled '+ User Add' with a plus sign icon. This button is highlighted with a red box. Below it, there is a search bar with 'Email Address Search' and a 'Search' button. The main area displays a table of users:

名前	メールアドレス
テナント管理者 QFuser20	qualityf.user+20@gmail.com
テナント管理者 vmkwr (ユーザ権限5)	vmkwr+10@gmail.com
テナント管理者 QFuser13	qualityf.user+13@gmail.com
テナント管理者 QFuser12	qualityf.user+12@gmail.com

- (3) 当該プロジェクトに参加していないユーザの一覧が表示されます。プロジェクトの管理者として参加させる場合は、追加するユーザの管理者チェックボックスをオンにします（このとき、参加チェックボックスも自動でオンになります）。一般ユーザとして参加させる場合は、参加のチェックボックスをオンにします。

ユーザの追加			
参加	管理者	名前	メールアドレス
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser1	qualityf.user+1@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser2	qualityf.user+2@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser3	qualityf.user+3@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser4	qualityf.user+4@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser5	qualityf.user+5@gmail.com

**選択したユーザを追加**

- (4) 選択が完了したら、「選択したユーザを追加」ボタンを押します。

### 3.2.2. プロジェクト参加ユーザの権限を変更する

- (1) プロジェクトのダッシュボードからユーザ管理ボタンを押します。

トップ / QFサンプルプロジェクト QualityForward@veriserve ▾

QFサンプルプロジェクト **ユーザ管理** 設定

QualityForwardをご利用いただいているユーザ様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

- この概要欄ではほとんどのHTMLタグが利用可能です。
- 画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

VERISERVE

- (2) 一覧から権限を変更したいユーザ名横にある設定変更ボタンを押します。

参加ユーザー一覧

+ ユーザ追加

名前	メールアドレス
テナント管理者 QFuser71	xxxxxxxx.xxx@xxxx.co.jp
テナント管理者 QualityForward	xxxxxxxx.xxx@xxxx.co.jp
テナント管理者 QualityForward	xxxxxxxx.xxx@xxxx.co.jp
プロジェクト管理者 QFuser80	xxxxxxxx.xxx@xxxx.co.jp

設定変更 倉 プロジェクトから外す

(3) プロジェクトの権限を選択し、更新するボタンを押します。

QFuser80さんの設定

プロジェクトの権限

一般ユーザ  
プロジェクト管理者  
一般ユーザ

更新する

### 3.3. プロジェクト設定を変更・削除する

作成したプロジェクトはいつでも変更することができます。プロジェクトの変更はどの権限のユーザでも行えますが、プロジェクトの削除はテナント管理者のみ実行可能です。

#### 3.3.1. プロジェクト設定を変更する

(1) トップ画面から変更したいプロジェクト名のリンクをクリックします。

(2) プロジェクトのダッシュボード画面右上の設定ボタンを押します。

トップ / サンプルプロジェクト

QualityForward@QFサポートチーム

サンプルプロジェクト

ユーザ管理 設定

(3) 変更したい項目の入力を終えたら、更新するボタンを押してください。

### 3.3.2. API キーを発行する

QualityForward はテストスイート、テスト結果データへの、ウェブ API によるフルアクセス (CRUD)をサポートしております。

これらの API を利用して、組み合わせテストの自動生成や、独自ルールでの集計等が実現可能です。

WebAPI キーは以下の手順で発行できます。

- (1) プロジェクト設定画面を開きます。

The screenshot shows the 'サンプルプロジェクト' settings page. At the top right, there are two buttons: 'ユーザ管理' and '設定'. The '設定' button is highlighted with a red box.

- (2) API キー欄横の生成ボタンを押します。

The screenshot shows the 'APIキー' generation section. It has a '未発行' status and a '生成' button, which is highlighted with a red box.

### 3.3.3. プロジェクトをアーカイブする

終了したプロジェクトはプロジェクトの一覧から外し、整理することができます。アーカイブはテナント管理者のみ実行可能です。プロジェクト一覧からプロジェクトを除外する機能のため、これまで同様編集を行うことが可能です。

- (1) プロジェクトの設定画面の下部にあるアーカイブボタンを押します。

The screenshot shows a confirmation dialog for archiving a project. It contains a message: 'プロジェクトをアーカイブすると一覧に表示されなくなります。削除とは異なりデータは削除されません。' and an 'アーカイブ' button, which is highlighted with a red box.

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



- (3) アーカイブしたプロジェクトはプロジェクト一覧のアーカイブタブに表示されます。

プロジェクト一覧

+ プロジェクト追加

▶ アクティブ 1 ■ アーカイブ 1

名前で検索 検索

プロジェクト名▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
テストプロジェクト	0件	0件	1人

- (4) アーカイブされたプロジェクトを再びアクティブラブに表示させることもできます。アーカイブタブ内の任意のプロジェクト名をクリックします。

プロジェクト一覧

+ プロジェクト追加

▶ アクティブ 1 ■ アーカイブ 1

名前で検索 検索

プロジェクト名▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
Sample project	5件	9件	7人

- (5) プロジェクト設定画面を開きます。

Sample project

ユーザ管理 設定

- (6) プロジェクトの設定画面の下部の項目「プロジェクトをアーカイブから戻す」内の「アーカイブから戻す」ボタンを押します。

プロジェクトをアーカイブから戻す

注意！

アーカイブから戻すと一覧に表示されるようになります。  
再度一覧に表示したい場合に実行して下さい。

アーカイブから戻す

- (7) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

Sample projectをアーカイブから戻しても宜しいですか？

OK キャンセル

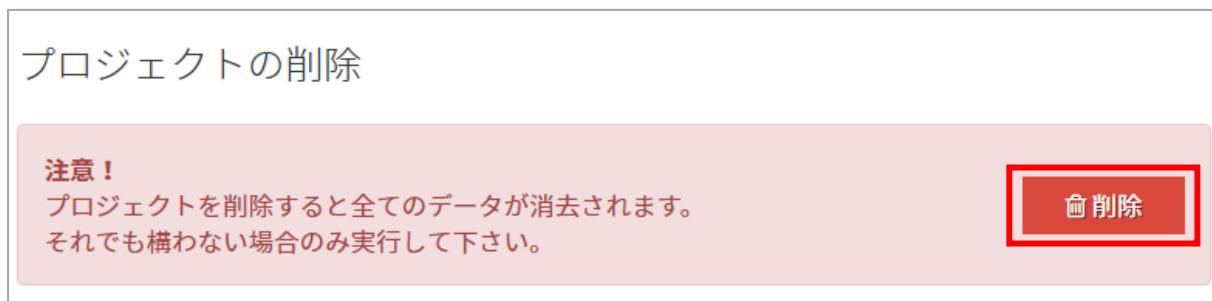
- (8) アーカイブから戻されたプロジェクトはプロジェクト一覧のアクティブタブに表示されます。

プロジェクト一覧			
▶ アクティブ 2		■ アーカイブ 0	
名前で検索		検索	
プロジェクト名▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
Sample project	5件	9件	7人
サンプルプロジェクト	10件	6件	8人

### 3.3.4. プロジェクト設定を削除する

プロジェクトの削除はプロジェクト設定画面から行うことができます。

- (1) プロジェクト設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) プロジェクト削除の確認が表示されます。削除する場合はプロジェクト名を入力し、「理解した上でこのプロジェクトを削除する」ボタンを押します。

## プロジェクト削除の確認

### 注意！

「サンプルプロジェクト」には以下のデータが含まれています。  
これらは一度削除すると元に戻すことができません。  
プロジェクトを削除することで各種レポートのデータも削除されます。

テストスイート数	5件
テストスイートバージョン数	5件
テストケース数	5,674件
テストフェーズ数	5件
テストサイクル数	10件
テスト結果数	4,576件
チームWiki数	1件

確認の為、プロジェクト名を入力してください

理解した上でこのプロジェクトを削除する

※この後に確認メッセージなどは表示されませんので削除の際は十分に注意してください。

## 3.4. プロジェクトを複製する

既存プロジェクトをコピーして新しいプロジェクトを作成する場合に行う作業です。プロジェクト複製はテナント管理者のみ実行可能です。

- (1) コピーしたいプロジェクトのダッシュボードから設定画面を開きます。

| サンプルプロジェクト

QualityForward をトライアルいただいておりますユーザ様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、[ほとんどのHTMLタグ](#)が利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。  
画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

ユーザ管理 設定

- (2) 設定画面下部「このプロジェクトをベースにした新規プロジェクトの作成」の「処理開始」

ボタンを押します。

このプロジェクトをベースにした新規プロジェクトの作成

注意！

参加ユーザ設定と有効なテストスイートをコピーして新規プロジェクトを作成します。

コピー処理には時間がかかるため、コピー作業中はプロジェクトの一覧画面でコピー中である旨が表示されます。

■ 处理開始

(3) 確認メッセージが出たら「OK」ボタンを押します。

cloud.veriserve.co.jp の内容

Sample Projectをベースに新規プロジェクトを作成しても宜しいですか？

OK

キャンセル

(4) コピーが完了すると操作を行ったユーザ宛にメールで通知されます。

【QualityForward】 「コピー元プロジェクト」をベースにした 新規プロジェクトの作成が完了しました 受信トレイ ×



no-reply@cloud.veriserve.co.jp

To 自分 ▾

8月25日(火) 10:44 (8日前)

☆



以下のURLから該当プロジェクトにアクセスできます。

[https://\[REDACTED\]](https://[REDACTED])

QualityForward

<https://aegis-staging.n2jk-apps.com/>

※本メールは送信専用のメールアドレスから送信されているため返信はできません

# 第4章 進捗管理

本章ではプロジェクトのテスト進捗管理について説明します。

## 4.1. ダッシュボード

ダッシュボードではプロジェクト全体の本日の予定と実績、また、各テストフェーズの進捗状況を確認することができます。(表示上限はありません)

| 01.サンプルプロジェクト

VERISERVE

QualityForward をトライアルいただいておりますユーザ様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、ほとんどのHTMLタグが利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等をご利用ください。  
画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

前日のデータを見る 以前のダッシュボードを開く

本日の実績消化数(プロジェクト全体)

設定

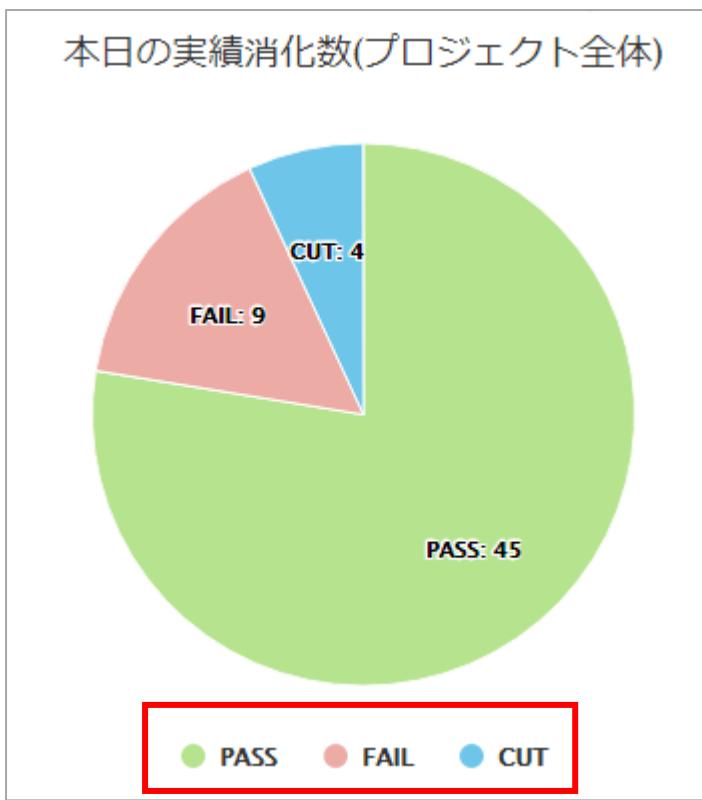
本日の予測消化数	18
本日の実績消化数	72

テストフェーズ名	開始日 ▾	本日の予測消化数	本日の実績消化数	進捗状況
フェーズ12 △ 2021/10/28 ~ 2021/11/28	2021/10/28	9	0	<div style="width: 0%;"></div> 0/103 (0%)
フェーズ11 △ 2021/10/04 ~ 2021/11/20	2021/10/04	9	36	<div style="width: 36%; background-color: #2e7131;"></div> 37/102 (36%)

● PASS   ● FAIL   ● Q&A

### 4.1.1. 本日の実績消化数 (プロジェクト全体)

プロジェクト全体で、今日どれだけの消化実績があったかを表すパイチャートです。表示される対象は、アクティブなテストフェーズのうち、テスト対象のテストケースに入力されたすべてのテスト結果種別（進捗集計の対象としないテスト結果も含む）です。アーカイブ済みのテストフェーズ、テスト対象外のテストケースに入力された結果は集計対象外です。



パイチャート下部のテスト結果種別をクリックすることで、パイチャート上の表示・非表示を切り替えることができます。

### 4.1.2. 本日の予測消化数

プロジェクト全体の本日分の予測消化数を表示します。アーカイブ済みのテストフェーズは集計対象外です。

本日の予測消化数	108
本日の実績消化数	54

### 4.1.3. 本日の実績消化数

プロジェクト全体の本日分の実績消化数を表示します。アーカイブ済みのテストフェーズ、進捗集計の対象としないテスト結果、テスト対象外のテストケースに入力された結果は集計対象外です。

本日の予測消化数	108
本日の実績消化数	54

## 4.1.4. フェーズ一覧

テストフェーズ期間に関係なく、プロジェクト内のアクティブなテストフェーズの一覧が表示されます。テストフェーズ名、フェーズ開始日での並べ替えが可能です。

テストフェーズ名	開始日 ▼	本日の予測消化数	本日の実績消化数	進捗状況	
フェーズ12 △ 2021/10/28 ~ 2021/11/28	2021/10/28	9	0	<div style="width: 0%;"><div style="width: 0%;"></div></div>	0/103 (0%) <span>アサイン表</span>
フェーズ11 △ 2021/10/04 ~ 2021/11/20	2021/10/04	9	36	<div style="width: 36%;"><div style="width: 36%; background-color: #66cc66;"></div></div>	37/102 (36%) <span>アサイン表</span>

## 4.1.5. フェーズ毎の本日の予測消化数

フェーズ毎の本日分の予測消化数を表示します。予測消化数に関しては予実設定画面(手順 [7.3](#) 参照)の進捗予測から算出されます。予実設定に変更がない場合はテスト件数と実施日数から自動で計算された数字が表示されます。

テストフェーズ名	開始日 ▼	本日の予測消化数	本日の実績消化数	進捗状況	
フェーズ12 △ 2021/10/28 ~ 2021/11/28	2021/10/28	9	0	<div style="width: 0%;"><div style="width: 0%;"></div></div>	0/103 (0%) <span>アサイン表</span>
フェーズ11 △ 2021/10/04 ~ 2021/11/20	2021/10/04	9	36	<div style="width: 36%;"><div style="width: 36%; background-color: #66cc66;"></div></div>	37/102 (36%) <span>アサイン表</span>

## 4.1.6. フェーズ毎の本日の実績消化数

フェーズ毎の本日分の実績消化数を表示します。進捗集計の対象としないテスト結果、テスト対象外のテストケースに入力された結果は集計対象外です。

テストフェーズ名	開始日 ▼	本日の予測消化数	本日の実績消化数	進捗状況	
フェーズ12 △ 2021/10/28 ~ 2021/11/28	2021/10/28	9	0	<div style="width: 0%;"><div style="width: 0%;"></div></div>	0/103 (0%) <span>アサイン表</span>
フェーズ11 △ 2021/10/04 ~ 2021/11/20	2021/10/04	9	36	<div style="width: 36%;"><div style="width: 36%; background-color: #66cc66;"></div></div>	37/102 (36%) <span>アサイン表</span>

## 4.1.7. 成分バーと期限バー

テストケース消化率と、テスト結果の割合、期日に対し遅れているのか、進んでいるのかが、ひと目で分かります。テストフェーズ単位、テストサイクル単位での確認ができます。期限バーの予定件数に関しては予実設定画面(手順 [7.4 参照](#))の進捗予測から反映されます。予実設定に変更がない場合はテスト件数と実施日数から自動で計算された数字が表示されます。

- (1) 成分バーにカーソルを合わせると、テスト結果と件数を確認できます。



- (2) 期限バーにカーソルを合わせると、当日の予定件数を確認できます。



## 4.1.8. 前日のデータを見る

ダッシュボードから過去の実績を確認することも可能です。「前日のデータを見る」リンクをクリックするか、URLを直接変更します。

- (1) ダッシュボード右上の「前日のデータを見る」のリンクをクリックすると、前日の実績データが表示され、クリックする度に日付を遡ることができます。

| サンプルプロジェクト

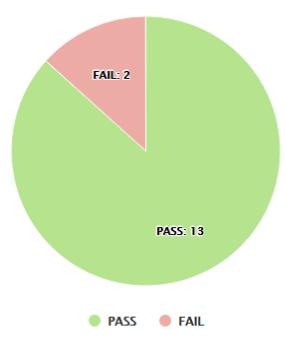


**VERISERVE**

QualityForward をトライアルいただいているユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、ほとんどのHTMLタグが利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。  
画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

前日のデータを見る 以前のダッシュボードを開く  
本日の実績消化数(プロジェクト全体)



● PASS	PASS: 13
● FAIL	FAIL: 2

本日の予測消化数 64  
本日の実績消化数 15

- (2) ダッシュボードの URL の後ろに「?target\_date=YYYY-MM-DD」を付けると直接見たい日付に遷移することができます。

 [cloud.veriserve.co.jp/projects/xxx/dashboard](https://cloud.veriserve.co.jp/projects/xxx/dashboard) **?target\_date=2021-07-19**

## 4.1.9. 旧ダッシュボード

旧版のダッシュボードは「以前のダッシュボードを開く」リンクから表示可能です。

| サンプルプロジェクト

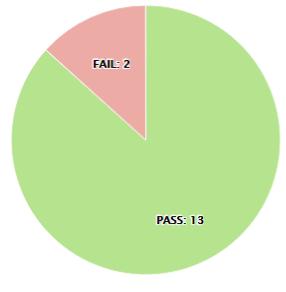


**VERISERVE**

QualityForward をトライアルいただいているユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、ほとんどのHTMLタグが利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。  
画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

前日のデータを見る 以前のダッシュボードを開く  
本日の実績消化数(プロジェクト全体)

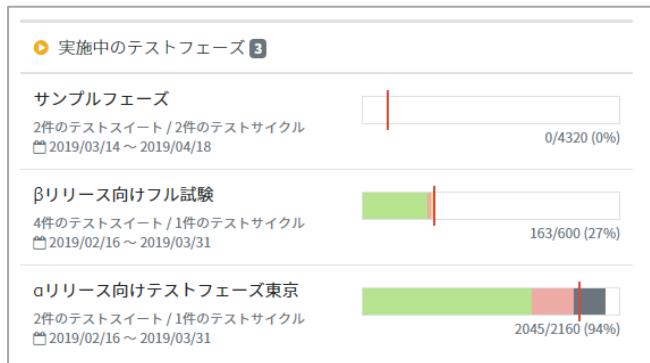


● PASS	PASS: 13
● FAIL	FAIL: 2

本日の予測消化数 64  
本日の実績消化数 15

## 実施中のテストフェーズ

現在実施期間中のフェーズがダッシュボード画面に一覧表示されます。



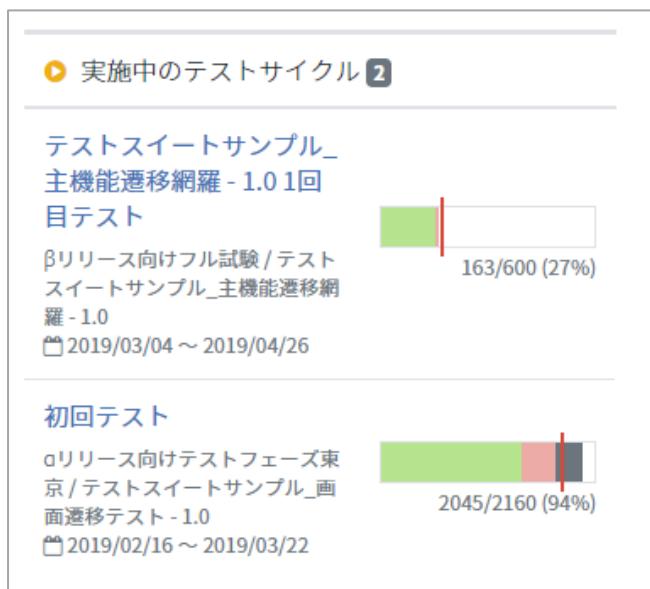
## 最近完了したテストフェーズ

設定した終了日を過ぎたテストフェーズが最近完了したテストフェーズに表示されます。表示期間はフェーズ終了日から 2 週間です。



## 実施中のテストサイクル

テスト実行が開始されているテストサイクルがダッシュボード画面に一覧で表示されます。



## レビュー待ちのテストサイクル

テスト実行画面でチェック依頼ボタンを押すと、そのテストサイクルがチェック待ちのテストサイクル一覧に表示されます。



## 最近完了したテストサイクル

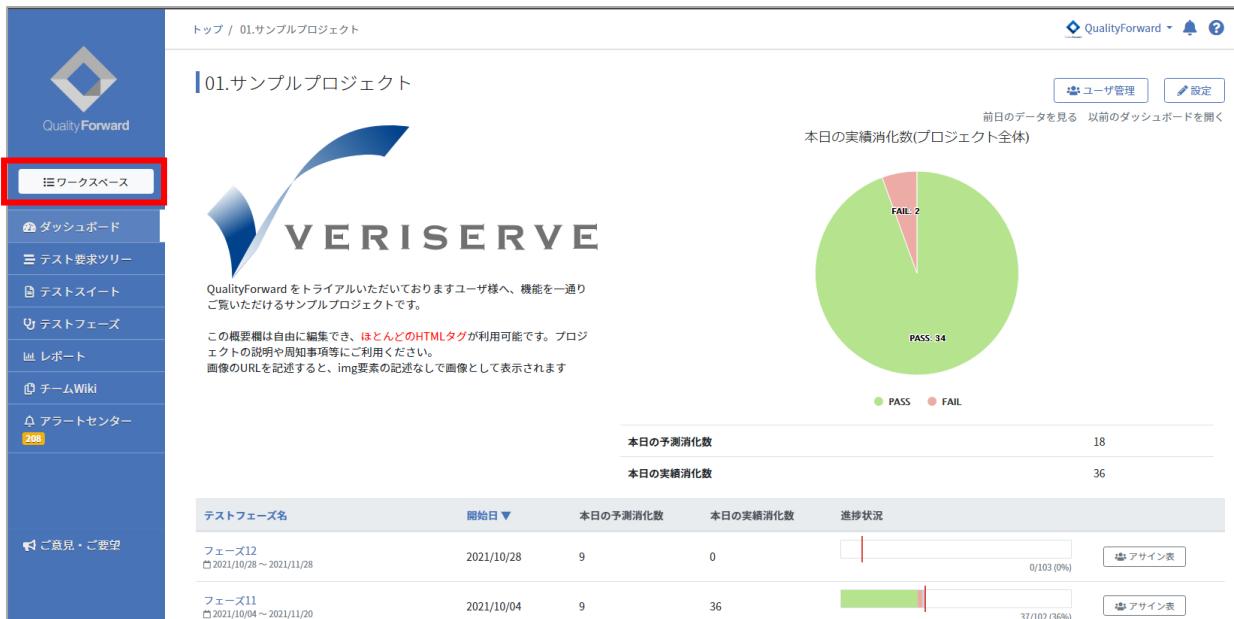
チェック依頼中のテストサイクルを確認し、完了ボタンを押すと最近完了したテストサイクルに表示されます。表示期間はテストサイクル完了日から 2 週間です。



## 4.2. ワークスペースで自分のタスクを確認する

テスト担当者が自身になっているテストサイクルを一覧で確認することができます。

- (1) ダッシュボード画面左のメニューから"ワークスペース"をクリックします。



(2) 担当テストサイクルと自身が担当していた完了済のテストサイクルの確認と実行ができます。



# 第5章 テストケースの管理

本章では、実際にテストに使用するテストケースの登録方法や、管理方法について説明します。

## 5.1. テスト要求ツリーを利用する

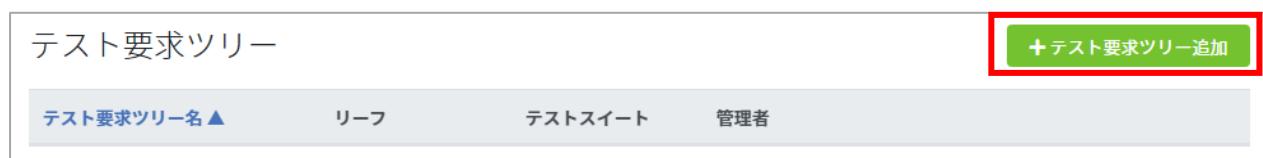
テストの要求を洗い出し、テストケースに紐付けることでテスト要求を満たしたテストの作成をすることができます。

### 5.1.1. 要求ツリーを作成する

- (1) 左メニューの「テスト要求ツリー」をクリックします。



- (2) テスト要求ツリー一覧右上の「テスト要求ツリー追加」ボタンを押します。



- (3) テスト要求ツリー名と管理者を選択し、「登録する」ボタンを押します。

## テスト要求ツリーの新規作成

基本設定

必須 テスト要求ツリー名

管理者

### 5.1.2. ツリーを編集する

- (1) テスト要求ツリー一覧の右側にある「編集」ボタンを押します。

テスト要求ツリー

+ テスト要求ツリー追加

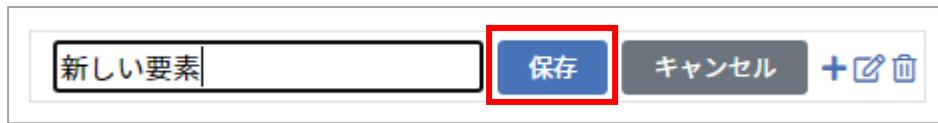
テスト要求ツリー名 ▲	リーフ	テストシート	管理者
サンプルモデル 設定	0 個	0件	QualityForward
		■ カバレッジパネル	<input type="button" value="三編集"/>

- (2) 「+」ボタンを押すと新しい要素（リーフ）が追加されます。

サンプルモデル の テスト要求ツリー編集

- (3) 要素の右側の マークをクリックします。

- (4) 要素を任意に書き換えたら「保存」ボタンを押します。



- (5) 要素の下に別の要素を追加することもできます。「+」マークをクリックします。



- (6) 要素の下に要素が追加されました。最下層を「リーフ」と呼び、その他の上階層の要素を「ノード」と呼びます。「リーフ」はテストケースに紐付けることができます。



- (7) リーフまたはノードを削除する場合は マークをクリックし、「OK」ボタンを押します。



- (8) テスト要求ツリー一覧の「リーフ」は、現在ツリーに存在するリーフの数を示しています。

テスト要求ツリー				+ テスト要求ツリー追加
テスト要求ツリー名 ▲	リーフ	テストスイート	管理者	
サンプルモデル 設定	2 個	0 件	QualityForward	
テストモデル 設定	3 個	1 件	QualityForward	

### 5.1.3. テストスイートと要求ツリーを紐付ける

- (1) テスト要求ツリーを作成したうえで、テストスイートの設定を開きます。



- (2) 基本設定のテスト要求ツリー欄で紐付けたい要求ツリーを選択し、「更新する」ボタンを押します。



- (3) テストシート一覧に戻り、編集画面を開きます。



- (4) 「編集を有効にする」ボタンを押します。



- (5) 要求ツリーをひも付けるための欄がでています。要求ツリー欄のセルをダブルクリックします。

テストケース_100件.xlsx - 1.0のテストケース編集							+ テストケース取込	
	優先度	要求ツリー	識別ID	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム	エクセルのことを確
1	A		1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	
2	A		2	A	16			

- (6) 要求ツリーの一覧が表示されます。ツリーの最下層の「リーフ」をテストケースに紐付けることができます。紐付けたい「リーフ」をクリックします。



- (7) 紐付けたツリーが表示されます。

テストケース_100件.xlsx - 1.0のテストケース編集						
	優先度	要求ツリー	識別ID	優先度	要求トレーサビリティID	
1	A	テストB - テストA - テストA-1	1	A	16	

## 5.1.4. テストの実装状況を確認する

テストの実装状況はテスト要求ツリーのカバレッジパネルで確認することができます。

- (1) テスト要求ツリー一覧の右側にある「カバレッジパネル」ボタンを押します。

テスト要求ツリー

+ テスト要求ツリー追加

テスト要求ツリー名▲	リーフ	テストスイート	管理者
サンプルモデル 設定	0 個	0件	QualityForward

■ カバレッジパネル

三編集

- (2) ドリルダウン形式のカバレッジパネルが表示されます。要素をクリックすることで下の階層に入ることができます。テストケースに紐づいている件数が表示されます。1件でも紐づいていればパネルの色は緑になります。赤はまだテストケースに紐づいていないことを示します。

■ テストモデルのカバレッジパネル

新しい要素C

テストA-2

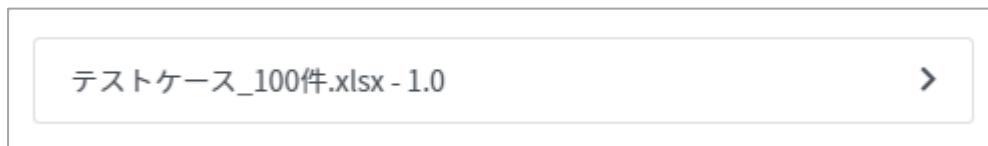
※テストスイートのステータスが「利用不可」の場合のみ、テストケースの紐付けカウントから除外されます。

## 5.1.5. 紐付けられたテストスイートを確認する

- (1) テスト要求ツリー一覧のテストスイート欄の件数リンクをクリックします。

テスト要求ツリー				+ テスト要求ツリー追加
テスト要求ツリー名 ▲	リーフ	テストスイート	管理者	
サンプルモデル 設定	2 個	0 件	QualityForward	<span>カバレッジパネル</span> <span>編集</span>
テストモデル 設定	3 個	1 件	QualityForward	<span>カバレッジパネル</span> <span>編集</span>

- (2) 現在紐付けられているテストスイートの一覧が表示されます。テストスイート名をクリックすることで、テストケース編集画面に遷移します。



## 5.2. テストスイートを作成する

テストケースを管理するためのテストスイートの作成方法について説明します。テストスイートの追加方法はテストスイート追加・エクセルインポートの 2 種類あります。設定は後から変更可能です。

### 5.2.1. テストスイートの基本設定

- (1) ダッシュボード画面左のメニューからテストスイートのリンクをクリックします。

(2) テストスイート一覧画面右上の「テストスイート追加」ボタンを押します。

(3) テストスイートの基本情報を入力します。

## 5.2.2. テスト定義の項目を設定する

テスト実行画面（テストサイクル）またはテストケース編集画面で表示されるテスト項目のヘッダーラベルを自由に設定できます。初期表示ではプロジェクト作成時に設定したラベルが表示されています。

テスト定義部			テスト結果部							
優先度	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
1	A ・インポートするエクセルの拡張子が「.xlsx」であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする ・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること							
2	A ・インポートするエクセルの拡張子が「.xlsx」以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする								
3	A ・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする ・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること							

(1) ラベルの項目名を入力します。変更の必要がない場合は次の手順へ進みます。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1
項目2のラベル	使用中	項目2
項目3のラベル	使用中	項目3
項目4のラベル	使用中	項目4
項目5のラベル	未使用	項目5
項目6のラベル	未使用	項目6

(2) 使用したい項目の「未使用」ボタンを押して「使用中」に、不要な項目は「未使用」に切り替えます。

## テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル

使用中

項目1



項目2のラベル

使用中

項目2



項目3のラベル

使用中

項目3



項目4のラベル

使用中

項目4



項目5のラベル

未使用

項目5



項目6のラベル

未使用

項目6



### 5.2.3. カバレッジパネルの集計に利用する項目設定

どんな機能・観点に向けたテストケースがどれぐらい存在し、そのテストがどれぐらい実行されているかを確認できるカバレッジパネルを表示します。どの項目を使って集計するかを決めることができます。ここで対象のカラムを選択している場合、このテストスートが使われているフェーズのレポート画面でカバレッジパネルを見ることができます。

- (1) 「カバレッジパネル設定の有効化」にチェックを入れます。

## テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル

使用中

項目1



項目2のラベル

使用中

項目2



項目3のラベル

使用中

項目3



項目4のラベル

使用中

項目4



項目5のラベル

未使用

項目5



項目6のラベル

未使用

項目6



- (2) 集計対象としたい項目欄の右側にあるラジオボタンにチェックを入れます。

## テスト定義の自由項目設定

### ✓ カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input checked="" type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用	項目5	<input type="radio"/>
項目6のラベル	未使用	項目6	<input type="radio"/>

## 5.2.4. テスト結果の自由項目を設定する

テスト実行画面（テストサイクル）でテスト結果部に対し自由に入力できる項目が必要な場合、項目の追加とラベル設定ができます。ここで設定した項目はテスト実行画面で表示され、テスト結果に対する備考やバグ ID などを自由に入力できるようになります。初期表示では“環境”、“バグ ID”、“備考”が設定されています。

テスト定義部			テスト結果部							
優先度	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
1	A ・インポートするエクセルの拡張子が [xlsx]であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること							
2	A ・インポートするエクセルの拡張子が [xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする								
3	A ・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること							

(1) ラベルの項目名を入力します。変更の必要がない場合は次の手順へ進みます。

## テスト結果の自由項目設定

テストブロッカーの集計に利用する

項目1のラベル

使用中

環境

項目2のラベル

使用中

バグID

項目3のラベル

使用中

備考

項目4のラベル

未使用

項目5のラベル

未使用

(2) 使用したい項目の「未使用」ボタンを押して「使用中」に、不要な項目は「未使用」に切り替えます。

(3)

## テスト結果の自由項目設定

テストブロッカーの集計に利用する

項目1のラベル

使用中

環境

項目2のラベル

使用中

バグID

項目3のラベル

使用中

備考

項目4のラベル

未使用

項目5のラベル

未使用

## 5.2.5. テストブロッカーの集計に利用する項目を指定する

手順 [3.1.4](#) にてテストブロッカーを設定している場合、レポートの内訳に表示する項目を指定します。「テストブロッカーの集計に利用する項目設定」のプルダウンメニューより表示させる項目を選択してください。

(1) 「テストブロッカーの集計に利用する」にチェックを入れます。

【テスト結果の自由項目設定】

テストブロッカーの集計に利用する

項目1のラベル	使用中	環境	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	バグID	<input checked="" type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	備考	<input type="radio"/>
項目4のラベル	未使用		<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用		<input type="radio"/>

- (2) 集計対象としたい項目欄の右側にあるラジオボタンにチェックを入れます。

【テスト結果の自由項目設定】

テストブロッカーの集計に利用する

項目1のラベル	使用中	環境	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	バグID	<input checked="" type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	備考	<input type="radio"/>
項目4のラベル	未使用		<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用		<input type="radio"/>

## 5.2.6. 初期バージョンを設定する

テストシートの新規作成時にバージョン情報を付加します。作成したテストシートはコピーしてバージョン管理を行うことができます。

- (1) バージョン名には任意のバージョン名を入力することができます。備考欄は HTML での入力が可能です。備考欄に入力した内容はテストサイクル画面でも確認することができます。

**初期バージョンの設定**

必須 バージョン名  
1.0  
①バージョン名には任意の文字列を使用することができます

タグ  
[テキスト入力]

管理者  
[ドロップダウンリスト]

備考  
[テキスト入力]

**添付ファイル**

[添付ファイルを追加]

**登録する**



## 5.2.7. ファイルを添付する

テストスイートに対しファイルを添付することができます。添付したファイルはテストケース編集画面またはテスト実行画面の関連ファイル(手順 [8.13 参照](#))からダウンロードすることができます。

(1) テストスイートの新規追加画面から添付ファイルの追加ボタンを押します。

**初期バージョンの設定**

必須 バージョン名  
1.0  
①バージョン名には任意の文字列を使用することができます

管理者  
[ドロップダウンリスト]

備考  
[テキスト入力]

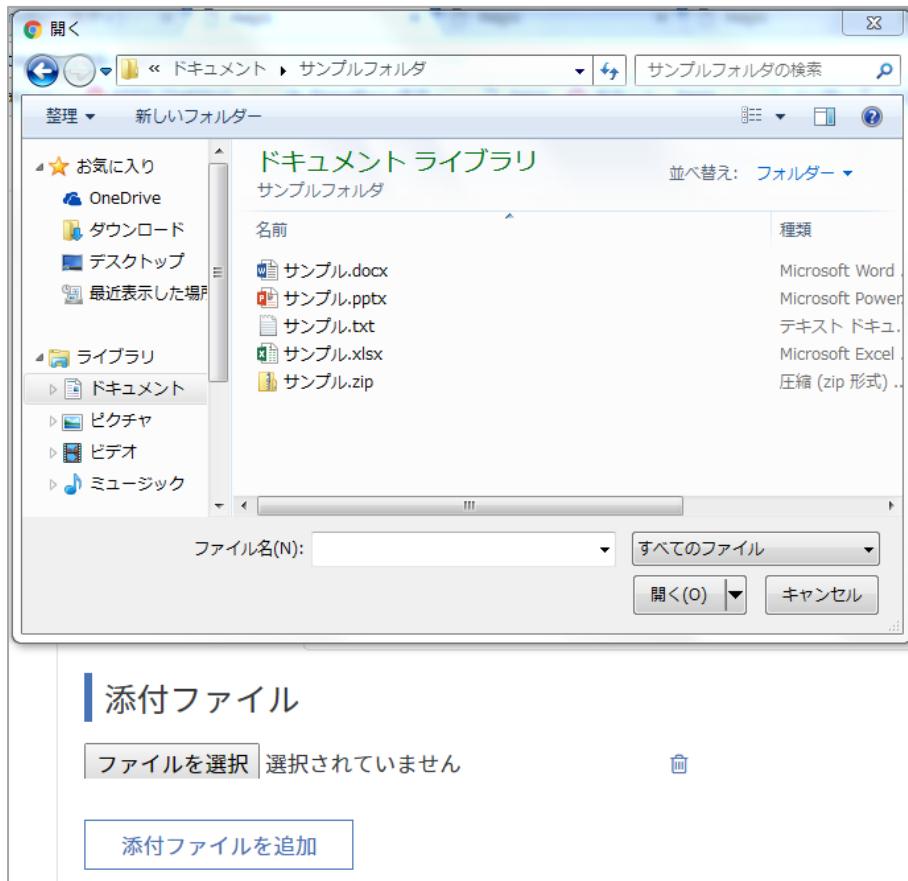
**添付ファイル**

**添付ファイルを追加** [Red box]

**登録する**



- (2) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、添付したいファイルを選択し開くボタンを押します。



- (3) 入力を終えたら登録するボタンを押します。

## 5.2.8. テストスイートを検索する

テストスイート一覧ではテストスイートをキーワードで検索したり、テストスイートの管理者で絞り込むことができます。

テストスイートにタグを設定している場合はタグ検索も行えます。(手順 [5.8.2 参照](#))

- (1) テストスイート一覧の上部でキーワードタブを選択し、キーワードを入力または管理者で絞り込みのリストから対象の管理者を選択します。

テストスイート一覧				
▶ アクティブ <input type="checkbox"/> ■ アーカイブ <input type="checkbox"/>		タグリスト <input type="button" value="excelインポート"/> + テストスイート追加		
キーワード <input type="text" value="タグ"/>	テストサイクル名で検索 <input type="text"/>	管理者で絞り込み <input type="button"/>	検索 <input type="button"/>	
<b>テストスイート名▲</b>		<b>バージョン名</b>		管理者 テストケース
【CP】【画面確認テスト】詳細設計 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/09/08 11:20 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	QualityForward	56件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 開覧 <input type="button"/> コメント 0
テストスイートサンプル_リリース前試験 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/03/23 13:10 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	QualityForward	240件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 編集 <input type="button"/> コメント 0
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [主機能テスト] [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/03/23 13:10 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	テスト花子	600件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 編集 <input type="button"/> コメント 0
テストスイートサンプル_画面遷移テスト <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/03/23 13:11 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	QualityForward	2,160件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 編集 <input type="button"/> コメント 0

テストスイート一覧				
▶ アクティブ <input type="checkbox"/> ■ アーカイブ <input type="checkbox"/>		タグリスト <input type="button" value="excelインポート"/> + テストスイート追加		
キーワード <input type="text" value="タグ"/>	テストサイクル名で検索 <input type="text"/>	管理者で絞り込み <input type="button"/>	検索 <input type="button"/>	
<b>テストスイート名▲</b>		<b>バージョン名</b>		管理者 テストケース
【CP】【画面確認テスト】詳細設計 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/09/08 11:20 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	QualityForward	56件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 開覧 <input type="button"/> コメント 0
テストスイートサンプル_リリース前試験 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/03/23 13:10 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	QualityForward	240件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 編集 <input type="button"/> コメント 0
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [主機能テスト] [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/03/23 13:10 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	テスト花子	600件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 編集 <input type="button"/> コメント 0
テストスイートサンプル_画面遷移テスト <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/03/23 13:11 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	QualityForward	2,160件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 編集 <input type="button"/> コメント 0

(2) キーワードとテストスイート管理者の組み合わせでも検索することができます。

テストスイート一覧				
▶ アクティブ <input type="checkbox"/> ■ アーカイブ <input type="checkbox"/>		タグリスト <input type="button" value="excelインポート"/> + テストスイート追加		
キーワード <input type="text" value="タグ"/>	テストサイクル名で検索 <input type="text"/>	管理者で絞り込み <input type="button"/>	検索 <input type="button"/>	
<b>テストスイート名▲</b>		<b>バージョン名</b>		管理者 テストケース
【CP】【画面確認テスト】詳細設計 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 <input type="button"/> [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/09/08 11:20 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="button"/> コピー <input type="button"/> xlsx	QualityForward	56件	<input type="button"/> カバレッジパネル <input type="button"/> 開覧 <input type="button"/> コメント 0

## 5.3. テストケース取込

既存のテストスイートに対して上書きやケースをまとめて追加する際などはテストケース編集画面のテストケース取込を使用します。

※本機能でサポートしているファイル拡張子はxlsxです。

### 5.3.1. テストケース取込

テストケース取込は、既に存在する識別IDを指定するとその識別IDのテストケースに対する上書きが行われ、存在しない識別IDを指定するとテストケースが追加されます。

取込にはテストスイートとExcelでフォーマットを合わせておく必要があります。

- (1) テストケース取込画面で表示されているフォーマットに合わせたエクセルシートを整形します。列の追加・項目名を変更する場合はテストスイートの設定から変更を行う必要があります。



手順1: テストケースが記述されている部分のみを残して、左上をA-1セルに合わせます。

A	B	C	D	E	F	G
設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2	事前条件
001-02-01-01	テストチー ム・テスト実 務のための機 能	Excelテストケー スのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls	Aegisにログインし、テ (https://aegis-stagi apps.com/projects/1 移する
001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx	Aegisにログインし、テ (https://aegis-stagi apps.com/projects/1 移する

手順 2 : A 列に左から “識別 ID”、“優先度” 列を挿入します。

A	B	C	D	E	F	G	H
識別ID	優先度	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2
1	A	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls
2	A	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx

以下のようなシートをインポートする場合は

識別ID	優先度	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2
1	A	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls
2	A	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx

下図のようにラベルを設定します。

識別 ID と優先度列をさきほど追加しましたが、この 2 列は自動でラベル付けされますので、ここで設定していくのは、「優先度」の右隣、3 列目からになります。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	<input checked="" type="button" value="使用中"/>	<input type="text" value="設計ID・実装ID"/>	<input checked="" type="radio"/>
項目2のラベル	<input checked="" type="button" value="使用中"/>	<input type="text" value="機能分類1"/>	<input type="radio"/>
項目3のラベル	<input checked="" type="button" value="使用中"/>	<input type="text" value="機能分類2"/>	<input type="radio"/>
項目4のラベル	<input checked="" type="button" value="使用中"/>	<input type="text" value="属性"/>	<input type="radio"/>
項目5のラベル	<input checked="" type="button" value="使用中"/>	<input type="text" value="テスト条件1"/>	<input type="radio"/>

※識別 ID はテストケース取込時に必須の項目です。テストケースの更新や追加をする場合に、識別 ID を頼りに行います。

※優先度は特に定義がない場合はすべて A を推奨しております。優先度が未設定の場合テスト実行画面ではグレーアウトされた行になり、テストケース数から除外されます。テストケースではないが、補足的に利用したい行としても活用できます。

優先度	項目1	項目2	項目3
1	正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"><li>・インポートするエクセルの拡張子が「.xlsx」であること</li><li>・テストケースを追加するためのテストシートを作成してておくこと</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li><li>2.インポートするファイルをクリックする</li><li>3.[登録するボタン]をクリックする</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・エラーが発生せずに移すこと</li><li>・「〇件のテストケース登録されました」と表示される</li><li>・インポートしたデータが登録される</li></ul>
2	A	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"><li>1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li><li>2.インポートするファイルをクリックする</li><li>3.[登録するボタン]をクリックする</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・エラーメッセージ「エラー」が表示される</li></ul>

- (2) ファイルの用意ができたらテストケース一覧画面右上にある「テストケース取込」ボタンを押します。

テストシートのテストケース

サンプル.docx (QualityForward : 2016/11/29)

優先度	項目1	項目2	項目3
1			
2			
3			
4			
5			
6			

+ テストケース取込

- (3) ファイルの準備が整ったら「ファイルを選択」ボタンを押してください。

テストケースの取込

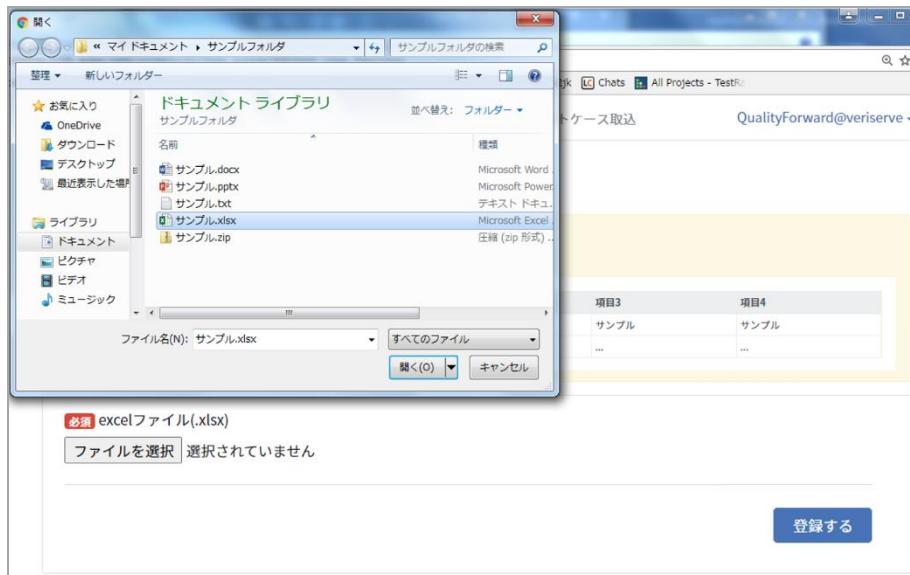
このテストシートでは以下のフォーマットのエクセルが取り込めます。  
ブックの一番左側のシートのみが対象となり、他のシートは無視されます。

識別ID	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプル	サンプル	サンプル	サンプル
...	...	...	...	...	...

必須 excel ファイル( .xlsx )  
ファイルを選択

登録する

- (4) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、インポートしたいファイルを選択し開くボタンを押します。



(5) ファイルを選択したら登録ボタンを押します。

## 列の追加

以下のようにテストケース取込時に列の追加を行う場合はあらかじめテストシートの設定から列の定義をし直す必要があります。

※本手順を省略した場合、テストシートと取込内容がずれる可能性があります。

テストスイート										
	優先度	ID	テスト要素	メインアイテム	サブアイテム	テスト目的	事前条件	テスト手順	期待動作	
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が [xlsx] であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>インポートしたテストケースが全て表示されること</li> </ul>	
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合		<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が [xlsx] 以外であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>		
3	A	16			設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合		<ul style="list-style-type: none"> <li>項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと</li> <li>項目数が2つ以上のテストスイートであること</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>2つ目以降の項目は無視して登録されていること</li> </ul>	

取込ファイル										
識別ID	優先度	ID	C メインアイテム	D サブアイテム	E テスト目的	F テスト条件	G 事前条件	H テスト手順	I 期待動作	J
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が [xlsx] であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>インポートしたテストケースが全て表示されること</li> </ul>	
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合		<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が [xlsx] 以外であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>		
3	A	16			設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合		<ul style="list-style-type: none"> <li>項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと</li> <li>項目数が2つ以上のテストスイートであること</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>2つ目以降の項目は無視して登録されていること</li> </ul>	
4										

## (1) テストスイート一覧から対象のテストスイート設定を開きます

テストスイート一覧

▶ アクティブ 0 アーカイブ 0

キーワード タグ

テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名▲	バージョン名	管理者	テストケース
<b>[CP] 【画面確認テスト】 詳細設計</b>	<b>利用可 1.0</b> [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト] ① 最近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2017/09/08 11:20 設定 コピー xlsx	QualityForward	56件
<b>テストスイートサンプル_リリース前試験</b>	<b>利用可 1.0</b> [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ① 最近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2017/03/23 13:10 設定 コピー xlsx	QualityForward	240件

タグリスト excelインポート テストスイート追加

## (2) テスト定義部を、取り込む Excel のフォーマットに合わせて定義し直します。

テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	ID
項目2のラベル	使用中	テスト要素
項目3のラベル	使用中	メインアイテム
項目4のラベル	使用中	サブアイテム
項目5のラベル	使用中	テスト目的
項目6のラベル	使用中	テスト条件
項目7のラベル	使用中	事前条件
項目8のラベル	使用中	テスト手順
項目9のラベル	使用中	期待動作
項目10のラベル	未使用	項目10
項目11のラベル	未使用	項目11
項目12のラベル	未使用	項目12

- (3) 設定の変更が完了したら「+テストケース取込」を行います。(手順 [5.3.1](#) 参照)

## 5.4. Excel インポート

Excel インポートでは「5.1. テストスイートを作成する」の手順を踏まずに、エクセルで作成したテストケースを取り込むことでテストスイートを作成することができます。

※本機能でサポートしているファイル拡張子は xlsx および xlsm 形式になります。

### 5.4.1. Excel インポート

エクセルファイルで作成したテストケースをインポートすることができます。

- (1) テストスイート一覧画面右上の excel インポートボタンを押します。

テストスイート一覧

▲ アクティブ 0 □ アーカイブ 0

キーワード タグ  
テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名▲	バージョン名	管理者	テストケース
[CP] 【画面確認テスト】詳細設計 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/09/08 11:20 設定 コピー ファイル	QualityForward	56件 カバレッジパネル 閲覧 コメント
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/09/23 13:10 設定 コピー ファイル	QualityForward	240件 カバレッジパネル 閲覧 コメント

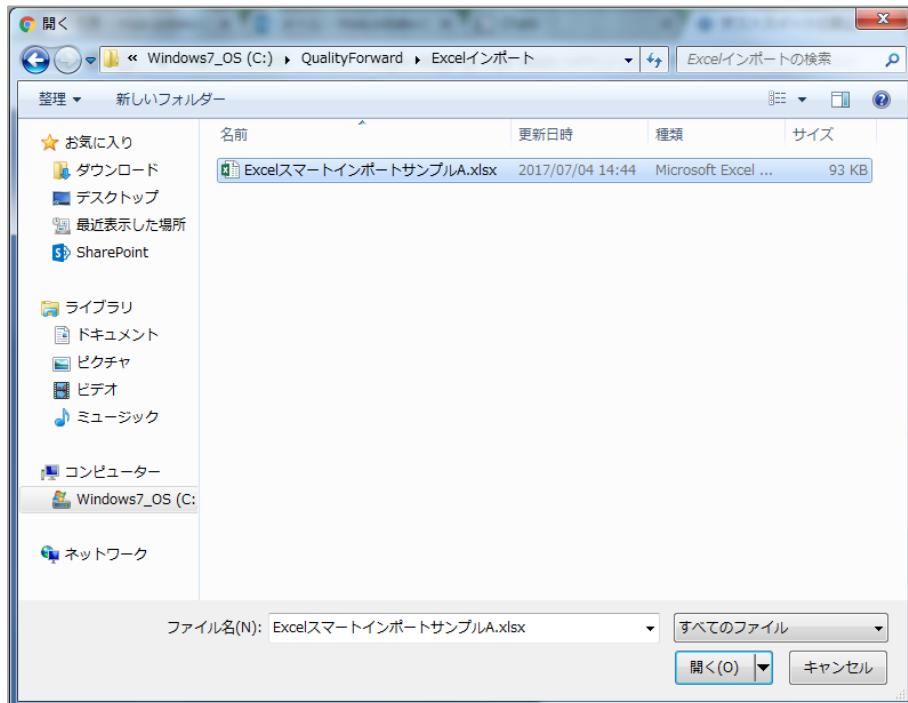
(2) ファイルを選択ボタンを押します。

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

必須 excelファイル(xlsx および xlsm形式)  
ファイルを選択 選択されていません

次へ

(3) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、インポートしたいファイルを選択し開くボタンを押します。



(4) ファイルを選択したら次へボタンを押します。

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

必須 excelファイル(xlsx および xlsm形式)  
ファイルを選択 選択されていません

次へ

(5) テストスイート名を入力します。

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

必須 テストスイート名  
サンプルテストケース

対象シート

TestCase\_リスクベースドテスト2  
 TestCase\_リスクベースドテスト1  
 【Aegis】機能一覧  
 テストユーザー  
 Sheet1

戻る 次へ

(6) インポートするシートを選択し、次へボタンを押します。

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

必須 テストスイート名  
サンプルテストケース

対象シート

TestCase\_リスクベースドテスト2  
 TestCase\_リスクベースドテスト1  
 【Aegis】機能一覧  
 テストユーザー  
 Sheet1

戻る 次へ

(7) 一番左のラジオボタンで項目行を選択します。選択した行が項目名としてテストスイートに

登録されます。

excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

左側のラジオボタンで取り込み開始行を、上部のチェックボックスで取り込む列を指定できます。 カラム数：0 / 25

① まげほげ	ふがふが	A	B	C	D	E	F
<input checked="" type="radio"/>		A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合
<input type="radio"/>		A	16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合
<input type="radio"/>		A	11	プロジェクトの更新/削除	プロジェクトの更新/削除	プロジェクト情報の削除が正しく行われること	プロジェクトの削除を行った場合
<input type="radio"/>		A	11				プロジェクトの削除を行った場合
<input type="radio"/>		A	25	テストサイクル一覧	テストスイートエクスポート	テストスイートに登録されたテストケース一覧が正常にエクスポートされることを確認する	テストケースが0件の場合

戻る 次へ

- (8) 上部のチェックボックスで取り込む列を選択します。取り込み時にチェックボックスがオンになっているので不要な列のチェックを外します。標準で最大 25 列まで選択することができます。(申し込み時オプションにより異なります)取り込まれる列は緑色で表示されます。列の選択が完了したら次へボタンを押します。

## excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

左側のラジオボタンで取込開始行を、上部のチェックボックスで取り込む列を指定できます。 カラム数：7/25

① ほげほげ	ふがふが	A	B	C	D	E	F
② 1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイルに閉じタグが存在する
③ 2	A	16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイルに閉じタグが含まれること
④ 3	A	11	プロジェクトの更新/削除	プロジェクトの更新/削除	プロジェクト情報の削除が正しく行われること	プロジェクトの削除を行った場合	・任意の対象を作成してお
⑤ 4	A	11				プロジェクトの削除を行った場合	・任意の対象を作成してお
⑥ 5	A	25	テストサイクル一覧	テストスイートエクスポート	テストスイートに登録されたテストケース一覧が正常にエクスポートされることを確認する	テストケースが0件の場合	・テストスイートがない対象としを作成し

戻る 次へ

(9) 確認画面に遷移するので、優先度の設定がある場合は優先度を入力してあるカラムを選択します。指定なしの場合は全てのテストケースに「A」が付与されます。

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

1行目をヘッダとして、2行目以降がテストケースとして取り込まれます。ここでは最大で50件のみ表示しています。  
優先度カラムは「A, B, C, D, E, F, G, H, I, J」を取り込みます。「指定なし」を選んだ場合、優先度の値が認識できない場合は「A」として取り込まれます。

優先度カラム

指定なし	指定なし 識別ID	優先度
要求トライセバリティID 対象機能：メインアイテム 対象機能：サブアイテム テスト目的 テスト条件 事前条件 テスト手順 期待動作		

2 2	A	16		ルを取り込んだ場合	を追加するためのテストスイートを作成しておくこと		
3 3	A	16		設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること		
4 4	A	16		設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が2つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が1つのテストケースであること		

戻る 512件を取り込む

(10) 間違いがなければ取り込むボタンを押します。選択し直す場合は戻るボタンを押します。

1.xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

1行目をヘッダとして、2行目以降がテストケースとして取り込まれます。ここでは最大で50件のみ表示しています。  
優先度カラムは「A, B, C, D, E, F, G, H, I, J」を取りれます。「指定なし」を選んだ場合、優先度の値が認識できない場合は「A」として取り込まれます。

优先度カラム  
指定なし

識別ID	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件
1 1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が「.xlsx」であること・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと
2 2	A	16					サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
3 3	A	16					設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合
4 4	A	16					設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合

戻る 512件を取り込む

## 5.5. テストケース作成

テストスイートの作成を終えたら、テストケースの追加を行います。ケースの追加方法は2種類(オンライン編集・エクセルインポート)あります。

### 5.5.1. オンライン編集

WEB画面上でテストケースの追加を行います。

(1) 作成したテストスイートを開きます。

サンプルスイート2-1.0のテストケース編集					
	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

- (2) 各項目に直接入力を行えます。入力内容は自動で保存されます。

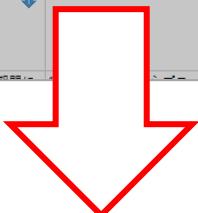
サンプルスイート2-1.0のテストケース編集					
	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプルデータ			
2	B				
3	C				
4	A				
5	A				
6					

- (3) Excel のオートフィルのように簡単にコピーができます。

サンプルスイート2-1.0のテストケース編集				
	優先度	項目1	項目2	項目3
項目4				
1	A	サンプルデータ		
2	B	サンプルデータ		
3	C	サンプルデータ		
4	A	サンプルデータ		
5	A	サンプルデータ		
6				
7				

- (4) Excel からコピーしてそのまま貼り付けることも可能です。

新規 Microsoft Excel ワークシート.xlsx - Excel					
ファイル	ホーム	挿入	ページレイアウト	数式	データ
	<span>游ゴシック</span> <span>11</span> <span>A<sup>1</sup></span> <span>A<sup>2</sup></span> <span>標準</span> <span>条件付き書式</span>	<span>B</span> <span>I</span> <span>U</span> <span>Font</span> <span>配置</span> <span>数値</span>	<span>11</span> <span>Font</span> <span>配置</span> <span>数値</span>	<span>11</span> <span>Font</span> <span>配置</span> <span>数値</span>	<span>11</span> <span>Font</span> <span>配置</span> <span>数値</span>
	貼り付け				
	クリップボード				
A1					
A	B	C	D	E	
1	A セルをドラッグ＆ドロップした場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1. 借考セルのフィルハンドルを混ぜしドラッグ＆ドロップする	・セルがコピーされること	
2	A Deleteキーを押下した場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1. 借考を混ぜしDeleteキーを押下	・入力文字列が削除されること	
3	A 作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1. トップページからプロジェクトを選択	・プロジェクト名称が正しく表示されていること	
4	A 作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1. トップページからプロジェクトを選択	・概要が正しく表示されていること	
5	A 実施中のテストフェーズが存在しない場合	・フェーズを1件も登録しないこと		・実施中のテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること	

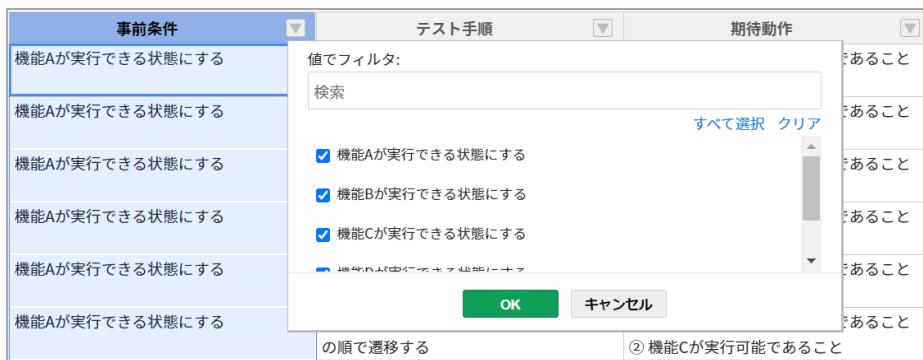


テストスイートのテストケース					
□サンプル.docx (QualityForward : 2016/11/29)					
優先度	項目1	項目2	項目3	項目4	
235	A セルをドラッグ＆ドロップした場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと 1. 備考セルのファイルハンドルを選択しドラッグ＆ドロップする	1. 備考を選択しDeleteキーを押下	・セルがコピーされること ・入力文字列が削除されること	
236	A Deleteキーを押した場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと 1. トップページからプロジェクトを選択	1. 備考を選択しDeleteキーを押下	・入力文字列が削除されること	
237	A 作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと 1. トップページからプロジェクトを選択	1. トップページからプロジェクトを選択	・プロジェクト名称が正しく表示されていること ・概要が正しく表示されていること	
238	A 作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと 1. トップページからプロジェクトを選択	1. トップページからプロジェクトを選択	・概要が正しく表示されていること	
239	A 実施中のテストフェーズが存在しない場合	・フェーズを1件も登録しないこと 1. トップページからプロジェクトを選択	1. 実施中のテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること	・実施中のテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること	
240	A 実施中のテストフェーズが存在しない場合	・テスト実施日を期間に含むフェーズが1件もないこと 1. トップページからプロジェクトを選択	1. トップページからプロジェクトを選択	・実施中のテストフェーズに表示されないこと	
241	A 完了したテストフェーズが存在しない場合	・フェーズ終了日がテスト実施日より前のフェーズが存在しないこと 1. トップページからプロジェクトを選択	1. 完了したテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること	・完了したテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること	

(5) 列の幅も自由に変更可能です。

サンプルスイート2 - 1.0のテストケース編集集					
優先度	項目1	項目2	項目3	項目4	
1	A サンプルデータ				
2	B サンプルデータ				
3	C サンプルデータ				
4	A サンプルデータ				
5	A サンプルデータ				
6					
7					

(6) テストケースにフィルタをかけ、まとめて編集も可能です。



(7) テキストでフィルタをかける場合は、一度クリアをクリックしてからテキスト入力を行い、表示されたフィルタにチェックを入れます。



(8) 右クリックで行の追加や削除が行えます。

	優先度	要求トレーサビリティ ID	対象機能：メインアイテム
9	A	16	
10	A	16	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;">           1行を上に挿入            1行を下に挿入            選択行分を上に挿入            選択行分を下に挿入            行を削除         </div>
13	A	16	

- (9) また、Ctrl+F でテストケースのキーワード検索を行うことができます。検索したいキーワードを入力し、Enter を押すと検索にヒットしたセルがフォーカスされます。

トップ / 00.【QFシステムテスト】リリース向け全テスト【QFサポートチーム専用】 / テストスイート一覧 / 001.QFシステムテスト1-1.0								インポート	1/158	↑	↓	×	
001.QFシステムテスト1-1.0のテストケース編集													
テスト要素	メインアイテム	サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件	テスト手順	期待動作						
1 テストケースインポート	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が「.xlsx」であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、一覧画面に遷移する</li> <li>「〇件のテストケース」と表示される</li> <li>インポートしたデータが表示されること</li> </ul>						
2 テストケースインポート				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が「.xlsx」以外であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーメッセージが表示される</li> <li>「エラーが発生せず、一覧画面に遷移する」「〇件のテストケース」と表示される</li> </ul>						
3 テストケースインポート				設定取り込みファイルの項目数に差異がある場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと</li> <li>項目数が2つ以上のテストケースであること</li> </ul>	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、一覧画面に遷移する</li> <li>「〇件のテストケース」と表示される</li> <li>2つ目以降の項目は表示されていること</li> </ul>						

## 5.6. テストスイート設定を変更・削除する

テストスイートの情報を変更・削除する方法を説明します。テストスイートの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

### 5.6.1. テストスイート設定を変更する

- (1) テストスイート一覧画面から変更したいテストスイート名下の設定をクリックします。

テストスイート一覧

▶ アクティブ 0 □ アーカイブ 0

キーワード タグ  
テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名▲	バージョン名	管理者	テストケース
<b>【CP1】【画面確認テスト】詳細設計</b>	<b>利用可 1.0</b> [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/09/08 11:20 ✓ 設定 ✓ コピー <b>xlsx</b>	QualityForward	56件
<b>テストスイートサンプル_リリース前試験</b>	<b>利用可 1.0</b> [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/03/23 13:10 ✓ 設定 ✓ コピー <b>xlsx</b>	QualityForward	240件

タグリスト excelインポート テストスイート追加

- (2) 変更したい項目の入力を終えたら、更新するボタンを押してください。

## 5.6.2. テストスイートをアーカイブする

テストスイートもプロジェクトと同様にアーカイブし、整理することができます。アーカイブはプロジェクト管理者以上の権限を持つユーザのみ実行できます。テストスイート一覧からプロジェクトを除外する機能のため、これまで同様編集を行うことが可能です。

- (1) アーカイブしたいテストスイートの設定をクリックします。

テストスイート一覧

▶ アクティブ 0 □ アーカイブ 0

キーワード タグ  
テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名▲	バージョン名	管理者	テストケース
<b>【CP1】【画面確認テスト】詳細設計</b>	<b>利用可 1.0</b> [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/09/08 11:20 ✓ 設定 ✓ コピー <b>xlsx</b>	QualityForward	56件
<b>テストスイートサンプル_リリース前試験</b>	<b>利用可 1.0</b> [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ①直近の実行時間：未集計 □作成日時：2017/03/23 13:10 ✓ 設定 ✓ コピー <b>xlsx</b>	QualityForward	240件

タグリスト excelインポート テストスイート追加

- (2) テストスイート設定画面下部のアーカイブするボタンを押します。

テストスイートのアーカイブ

注意！  
テストスイートをアーカイブすると一覧に表示されなくなります。  
削除とは異なりデータは削除されません。

**アーカイブする**

- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



- (4) テストスイート一覧のアーカイブタブをクリックするとアーカイブしたテストスイートを見る事ができます。アーカイブしたテストスイートを元に戻すことも可能です。同様の手順でアーカイブから戻すボタンを押すとアクティブなテストスイート一覧に表示されます。

テストスイート一覧

▶ アクティブ  アーカイブ

タグリスト excelインポート テストスイート追加

キーワード タグ

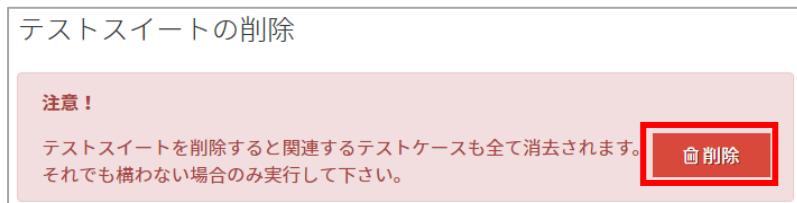
テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
[CP] 【画面確認テスト】詳細設計 設定 追加ヘッダ設定	バージョン 1.0 <span style="color: green;">▲</span> 不正系テスト   主機能テスト   通信機能テスト ① 最近の実行時間：未集計 □ 作成日時：2017/09/08 11:20 ✓ 設定 ✓ コピー <span style="color: blue;">xlsx</span>	QualityForward	56件
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	バージョン 1.0 <span style="color: green;">▲</span> 主機能テスト   通信機能テスト   画面遷移テスト ① 最近の実行時間：未集計 □ 作成日時：2017/03/23 13:10 ✓ 設定 ✓ コピー <span style="color: blue;">xlsx</span>	QualityForward	240件

### 5.6.3. テストスイートを削除する

テストスイートの削除はテストスイート設定画面から行うことができます。テストスイートを削除するとそのテストスイートが持つバージョン情報も全て削除されます。

- (1) テストスイート設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



※いずれかのバージョンがテストフェーズに紐付けられている場合は、テストスイートを削除することができません。紐付けを解除してから削除する必要があります。(手順 [5.6.4 参照](#))

#### テストスイートの削除

##### 注意！

このテストスイートは以下のテストフェーズに関連づけられているため削除できません。  
• テストフェーズ3

## 5.6.4. テストフェーズとの紐付けの解除方法

テストスイートはテストフェーズと紐付けられている場合、削除することができません。テストフェーズとの紐付けを解除するには、テストフェーズを削除(手順 [6.3.3 参照](#))するか、テストフェーズの紐付け設定を変更する必要があります。

※いずれの操作でもテストフェーズ配下のテストサイクルは削除されますので、必要に応じてテストサイクルのエクスポートを行ってください。

(1) テストスイートの設定より紐付けられているテストフェーズを確認します。

#### テストスイートの削除

##### 注意！

このテストスイートは以下のテストフェーズに関連づけられているため削除できません。  
• サンプルテストフェーズD

(2) 操作画面左側のメニューからテストフェーズを選択し、対象のテストフェーズの欄の「設定」をクリックします。テストフェーズの設定画面に遷移すると、紐付けを解除したいテストスイートが使用中のため、解除できない状態であることが確認できます。

- (3) テストフェーズ一覧画面に戻り、任意の「スイート一覧」ボタン、「サイクル一覧」ボタンを押下し、対象のテストサイクルの「設定」ボタンを押します。

対象のテストスイート一覧	サイクル総数	未実施	テスト中	レビュー待ち	完了	サイクル一覧
サンプルスイートB - 1.0 2020/10/30 ~ 2020/11/13	1件	0件	0件	1件	0件	
サンプルスイートD - 1.0 まだテストサイクルがありません	0件	0件	0件	0件	0件	

テストサイクル名 ▲

サンプルスイートD - 1.0 1回目テスト

未実施 ▼ A  
△ 2020/11/13 ~ 2020/11/27

設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト

- (4) テストサイクルの設定画面下部、「テストサイクルの削除」より「削除」ボタンを押してテストサイクルを削除します。

テストサイクルの削除

注意！  
テストサイクルを削除すると関連するテスト結果のデータが全て消去されます。  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

削除

- (5) 手順(2)と同様の操作でテストフェーズの設定画面へ遷移します。  
「テストスイートの紐付け」の「選択したもの」内にて、テストサイクルを消去したテストスイートから「使用中」の表示がなくなり、項目を移動させることができます。

テストスイートの紐付け

選択可能なものの (1件、60 テストケース)

名前かタグ名で検索  
サンプルスイートC - 1.0  
○ テストケース: 60 件  
○ 直近の実行時間: 0.1  
△ 作成日時: 2020/10/08 13:39 ( 管理者無し )

選択したもの (2件、76 テストケース)

名前かタグ名で検索  
● 使用中 サンプルスイートB - 1.0  
○ テストケース: 60 件  
○ 直近の実行時間: 0.0  
△ 作成日時: 2020/10/08 13:40 ( 管理者無し )

サンプルスイートD - 1.0  
○ テストケース: 16 件  
○ 直近の実行時間: 未集計  
△ 作成日時: 2020/10/30 11:14 ( 管理者無し )

連携するBTS

BTS連携に利用するのは各個人のクレデンシャルではなく、専用に作成した物をご利用ください。

BTS  
なし

更新する

The screenshot shows the 'Bind Test Suite' configuration page. In the 'Selected Items' section, the 'Used' status is removed from the deleted test suite 'サンプルスイートD - 1.0'. The 'Used' status is highlighted with a red box.

- (6) 対象のテストスイートをクリックして「選択可能なもの」へ移動後、「更新する」ボタンを押すと紐付けの解除が完了します。

## 5.7. テストスイートにヘッダを追加する

テストスイートのヘッダ行を追加しカスタマイズすることができます。※7行までを推奨しています

### (1) テストスイート一覧から追加ヘッダ設定をクリックします。

### (2) 追加ヘッダは JSON 形式で入力することができます。

## テストスイートの追加ヘッダ設定

追加ヘッダ設定

```
1 [ ]  
2 [ ]
```

ヘルプ

プレビュー

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考

更新する

(3) 入力を行うと実際に表示される形式でプレビューができます。

テストスイートの追加ヘッダ設定

追加ヘッダ設定

```
1 [ ]  
2 [ "sample1_1", "sample1_2", "sample1_3", "sample1_4"],  
3 [ "sample2_1", {"label": "sample_2_2", "colspan": 3}, "sample2_5"]  
4 [ ]
```

ヘルプ

プレビュー

sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4					sample2_1	sample_2_2	sample2_5	
優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考

更新する

※入力方法が不明な場合は画面右上のヘルプをご参照ください。

- (4) 追加したヘッダはテストサイクルにも反映されます。

	sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4	sample2_5	期待動作	テスト実施者
	sample2_1	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順		
	優先度						
1	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	(1) それぞれの画面へ遷移可能であること (2) 機能Eが実行可能であること	
2	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能Dの順で遷移する	(1) それぞれの画面へ遷移可能であること (2) 機能Dが実行可能であること	
3	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能Eの順で遷移する	(1) それぞれの画面へ遷移可能であること (2) 機能Cが実行可能であること	
4	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能Cの順で遷移する	(1) それぞれの画面へ遷移可能であること (2) 機能Cが実行可能であること	
5	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する	(1) それぞれの画面へ遷移可能であること (2) 機能Dが実行可能であること	
6	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能D → 機能Cの順で遷移する	(1) それぞれの画面へ遷移可能であること (2) 機能Cが実行可能であること	

## 5.8. 新しいバージョンのテストスイートを作成する

テストスイートは複製してバージョン管理することができます。既にあるテストスイートを元に変更を行いたい場合や、前回のテストから一部のテストケースを抜粋してテストしたい時などに使用できます。

### 5.8.1. 新しいバージョンの基本設定

- (1) テストスイート一覧から元にしたいテストスイートバージョンのコピーをクリックします。

テストスイート一覧

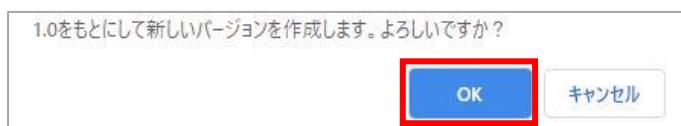
▶ アクティブ 0 アーカイブ 0

キーワード タグ

テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名▲	バージョン名	管理者	テストケース
【CP】【画面確認テスト】詳細設計 設定 追加ヘッダ設定	1.0 [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト] ① 最近の実行時間：未集計 □ 作成日時：2017/08/11 20:26 CSV コピー Excel	QualityForward	56件
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	1.0 [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ① 最近の実行時間：未集計 □ 作成日時：2017/03/23 13:10 CSV コピー Excel	QualityForward	240件

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



- (3) コピーしたテストスイートのバージョン設定画面に遷移したら、任意のバージョン名を入力します。

テストスイートサンプル\_リリース前試験のバージョン設定

**基本設定**

必須 バージョン名  
1.0

タグ

●タグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者

ステータス  
利用不可

備考

**ロック設定**

この設定は管理者のみが変更できます  
ロックすることでこのバージョンを読み専用にすることができます

ロックする

一言メモ

**添付ファイル**

添付ファイルを追加

更新する

## 5.8.2. テストスイートバージョンにタグ付けをする

- テストスイートへタグを設定することで、大量にあるテストスイートも管理しやすくなります。
- (1) タグはカンマ区切りで複数設定することができます。

**基本設定**

**必須 バージョン名**  
1.0

**タグ**  
主機能テスト,通信機能テスト,画面遷移テスト  
①タグはカンマ区切りで複数指定できます

**管理者**  
QualityForward

**ステータス**  
利用不可

**備考**  
このテストスイートはQualityForwardの機能をお試しいただくためのサンプルです。  
テストスイートの備考欄は、プロジェクト概要と同様にほとんどのHTMLタグや画像挿入機能が利用できます。

(2) 入力が終わったら更新するボタンを押します。

**添付ファイル**

**添付ファイルを追加**

**更新する**

(3) テストスイート一覧に入力したタグが表示されるようになります。

テストスイート一覧			
▲アクティブ 5		■アーカイブ 0	
キーワード タグ		タグリスト excelインポート テストスイート追加	
テストスイート名▲	バージョン名	管理者	テストケース
【CP】【画面確認テスト】詳細設計	主機能テスト,通信機能テスト,画面遷移テスト ①最近の実行時間：未集計 ②作成日時：2017/09/08 11:20 設定 □ 追加ヘッダ設定	QualityForward	56件
テストスイートサンプル_リリース前試験	主機能テスト,通信機能テスト,画面遷移テスト ①最近の実行時間：未集計 ②作成日時：2017/03/23 13:10 設定 □ 追加ヘッダ設定	QualityForward	240件
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅	主機能テスト,画面遷移テスト ①最近の実行時間：未集計 ②作成日時：2017/03/23 13:10 設定 □ 追加ヘッダ設定	QualityForward	600件
テストスイートサンプル_画面遷移テスト	主機能テスト,画面遷移テスト ①最近の実行時間：未集計 ②作成日時：2017/03/23 13:11 設定 □ 追加ヘッダ設定	QualityForward	2,160件
テストスイートサンプル_通信機能テスト	通信機能テスト,画面遷移テスト ①最近の実行時間：未集計 ②作成日時：2017/03/23 13:10 設定 □ 追加ヘッダ設定	QualityForward	2,160件

(4)

- (5) キーワード検索横のタブをクリックすることで、タグ名で検索し絞り込むことができます。※タグを検索する場合は完全一致である必要があります。

The screenshot shows the 'Test Sheet List' page. At the top left is the title 'テストスイート一覧'. Below it is a search bar with the placeholder 'キーワード' and a dropdown menu set to 'タグ'. To the right of the search bar are two buttons: 'タグで検索' and '検索'. A red box highlights the 'タグ' button.

- (6) また、テストスイート一覧の右上にあるタグリストから絞り込むことも可能です。

The screenshot shows the 'Test Sheet List' page. At the top left is the title 'テストスイート一覧'. On the right side, there are three buttons: 'タグリスト' (highlighted with a red box), 'excelインポート', and '+ テストスイート追加'. Below these buttons are two status indicators: 'アクティブ 5' and 'アーカイブ 1'.

- (7) タグリストから絞り込みたいタグ名をクリックします。

The screenshot shows the 'Tag List' page. The title is 'タグの一覧'. Below it is a horizontal navigation bar with four items: '不正系テスト (1)', '主機能テスト (3)' (highlighted with a red box), '通信機能テスト (3)', and '画面遷移テスト (4)'. The background shows a list of tags.

- (8) 選択したタグで絞り込まれます。

The screenshot shows the 'Test Sheet List' page with the search results filtered by the '主機能テスト' tag. The results are displayed in a table with columns: 'テストスイート名▲', 'バージョン名', '管理者', and 'テストケース'. Three test sheets are listed:

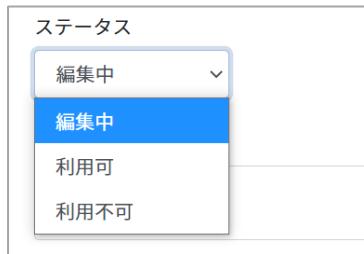
テストスイート名▲	バージョン名	管理者	テストケース
【CP】【画面確認テスト】詳細設計	利用規約 1.0 [不正系テスト] [主機能テスト] [通信機能テスト]	QualityForward	56件
テストスイートサンプル_リリース前試験	利用規約 1.0 [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト]	QualityForward	240件
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅	利用規約 1.0 [主機能テスト] [画面遷移テスト]	QualityForward	600件

In the table, the '主機能テスト' tag is highlighted with a red box in each row's category section.

## 5.8.3. テストスイートバージョンのステータスを設定する

テストスイートの各バージョンはステータスを設定することにより、テスト実施対象とすることができます。

- (1) ステータスを利用可に設定することでテストフェーズに紐付けることが可能となります。編集中または利用不可の場合はテストフェーズ紐付け画面に表示されません。



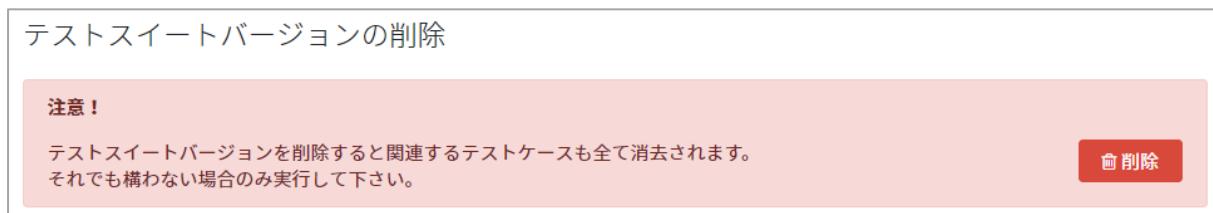
- (2) 入力が終わったら更新するボタンを押します。



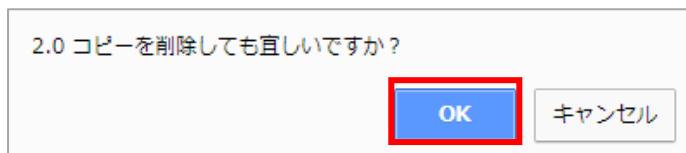
## 5.9. テストスイートバージョン設定を変更・削除する

テストスイートのバージョンはバージョン毎に設定画面から削除することができます。

- (1) バージョン設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



※テストフェーズに紐付けられている場合は、テストスイートバージョンを削除することができません。紐付けを解除してから削除する必要があります。

### テストスイートバージョンの削除

#### 注意！

このテストスイートバージョンは以下のテストフェーズに関連づけられているため削除できません。

- テストフェーズ2
- テストフェーズ1

## 5.10. テストスイートをロックする

作成したテストスイートはロックをかけることができます。ロックのかかったテストスイートは編集ができず、閲覧のみが可能となります。テナント管理者またはプロジェクト管理者がロック・ロック解除をすることができます。

(1) ロックしたいテストスイートのバージョンの設定画面を開きます。

The screenshot shows the 'Test Suite Version List' page. It displays three test suite versions: 'サンプルテスト' (Version 1.0), '利用規 1.0' (Version 1.0), and '利用規 2.0' (Version 2.0). Each row has a 'Setting' button, which is highlighted with a red box in the first row. The 'Lock' checkbox is checked in this row. Other rows show the same structure with different version numbers and dates.

テストスイート名	バージョン名	管理者	テストケース	操作
サンプルテスト	■ 設定 追加ヘッダ設定 ■ Lock	QualityForward	101件	■ カバレッジパネル ■ 編集 ○ コメント 2
利用規 1.0	■ 設定 ■ Lock ■ コピー ■ xlsx	QualityForward	513件	■ カバレッジパネル ■ 編集 ○ コメント 0
利用規 2.0	■ 設定 ■ Lock ■ コピー ■ xlsx	QualityForward	513件	■ カバレッジパネル ■ 編集 ○ コメント 0

(2) 設定画面のロック設定の「ロックする」にチェックを入れます。

**基本設定**

必須 バージョン名  
1.0

タグ  
（空欄）

④タグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者  
（空欄）▼

ステータス  
利用不可 ▼

備考  
（空欄）

**ロック設定**

この設定は管理者のみが変更できます  
ロックすることでこのバージョンを読み専用にすることができます

ロックする

一言メモ  
（空欄）

**添付ファイル**

添付ファイルを追加

（空欄）

更新する

(3) 一言メモは任意でご入力いただけます。

**ロック設定**

この設定は管理者のみが変更できます  
ロックすることでこのバージョンを読み専用にすることができます

ロックする

一言メモ  
（空欄）

**添付ファイル**

添付ファイルを追加

（空欄）

更新する

- (4) 入力が終わったら更新するボタンを押します。

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます  
ロックすることでこのバージョンを読み専用にすることができます

□ ロックする

一言メモ

添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

- (5) テストスイート一覧のバージョン名横に鍵マークが表示され、対象のテストスイートは閲覧のみが可能となります。

テストスイート一覧			
アクティブ		アーカイブ	
キーワード	タグ	検索	管理者で絞り込み
サンプルテスト	バージョン名 ■ 1.0.0	管理者 QualityForward	テストケース 101件
設定 追加ヘッダ設定	① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2021/05/27 14:45 設定 コピー xlsx	カバレッジパネル コメント 2	閲覧
テストケース	利用可 1.0 検索機能 テスト実行 エクスポート インポート レポート 構成管理 フィルタサイクル ① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2021/04/08 14:26 設定 コピー xlsx	カバレッジパネル コメント 0	閲覧 編集 コメント 0
設定 追加ヘッダ設定	利用可 2.0 検索機能 テスト実行 エクスポート インポート レポート 構成管理 フィルタサイクル ① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2021/04/08 14:27 設定 コピー xlsx	カバレッジパネル コメント 0	閲覧 編集 コメント 0

## 5.11. テストスイートをダウンロードする

オンラインで作成したテストケースは Excel 形式でダウンロードして保存しておくことが可能です。

- (1) テストスイート一覧画面を開き、ダウンロードしたいテストスイートのバージョン下部にある xlsx をクリックします。

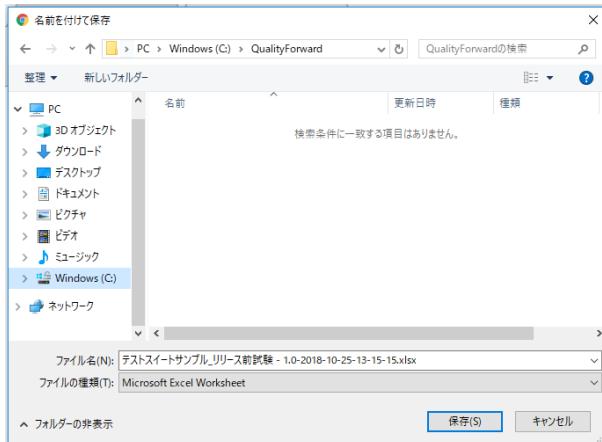
テストスイート一覧

▶ アクティブ 2 ■ アーカイブ 2

キーワード タグ  
テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルテスト 設定 追加ヘッダ設定	<b>誕生日 1.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/04/08 14:45 設定 コピー Excel	QualityForward	101件 カバレッジパネル 編集 コメント 2
テストケース 設定 追加ヘッダ設定	<b>利用規 1.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/04/08 14:26 設定 コピー Excel	QualityForward	513件 カバレッジパネル 編集 コメント 0
	<b>利用規 2.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/04/08 14:27 設定 コピー Excel	QualityForward	513件 カバレッジパネル 編集 コメント 0

(2) ダイアログボックスが開いたら保存先を選択し、ファイル名を入力し保存ボタンを押します。



## 5.12. カバレッジパネルを利用する

作成したテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在するかを確認できます。このカバレッジパネルはテストの進捗には影響されません。

(1) テストスイート一覧で確認したいテストスイートの設定画面を開きます。

テストスイート一覧

▶ アクティブ 2 ■ アーカイブ 2

キーワード タグ  
テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルテスト	<b>版1.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/05/27 14:45 ③設定 ■ 追加ヘッダ設定 ④設定 ■ コピー ■ xlsx	QualityForward	101件
	<b>利用可 1.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/04/08 14:26 ③設定 ■ 追加ヘッダ設定 ④設定 ■ コピー ■ xlsx	QualityForward	513件
テストケース	<b>版2.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/04/08 14:27 ③設定 ■ 追加ヘッダ設定 ④設定 ■ コピー ■ xlsx	QualityForward	513件

- (2) カバレッジパネルの集計に利用する項目を選択します。項目を選択後、ページ下部の「更新する」ボタンを押してテストスイート一覧画面へ戻ります。

カバレッジパネルの集計に利用する項目設定

対象のカラム

指定なし  
指定なし  
項目1  
項目2  
項目3  
項目4

自由項目設定

更新する

- (3) テストスイート一覧右側にあるカバレッジパネルボタンを押します。

テストスイート一覧

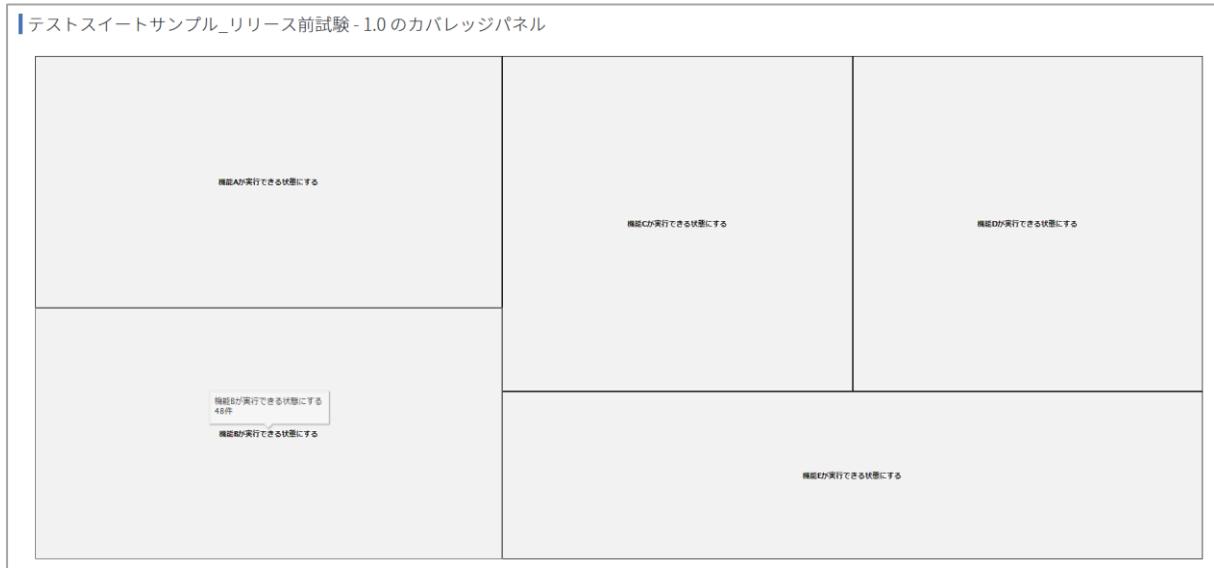
▶ アクティブ 2 ■ アーカイブ 2

キーワード タグ  
テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルテスト	<b>版1.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/05/27 14:45 ③設定 ■ 追加ヘッダ設定 ④設定 ■ コピー ■ xlsx	QualityForward	101件
	<b>利用可 1.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/04/08 14:26 ③設定 ■ 追加ヘッダ設定 ④設定 ■ コピー ■ xlsx	QualityForward	513件
テストケース	<b>版2.0</b> ①直近の実行時間：未集計 ②作成日時：2021/04/08 14:27 ③設定 ■ 追加ヘッダ設定 ④設定 ■ コピー ■ xlsx	QualityForward	513件

- (4) カバレッジパネルが表示されます。ここで集計されている件数はテスト対象(優先度の入力

がある)となるテストケース数です。



## 5.13. テストスイートにコメントを残す

各テストスイートバージョンには掲示板が設置されており、プロジェクト内のユーザ同士でコメントのやり取りを行うことができます。コメントボタンには投稿されたコメントの件数が表示されます。

### (1) テストスイート一覧からコメントボタンを押します。

The screenshot shows the 'Test Suite List' page with three entries:

テストスイート名	バージョン名	管理者	テストケース	操作
サンプルテスト	直近 1.0 ① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2021/05/27 14:45 設定 コピー xlsx	QualityForward	101件	[カバレッジパネル] [編集] [コメント 2]
直近 1.0	検索機能   テスト実行   エクスポート   インポート   レポート   構成管理   フィルタサイクル ① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2021/04/08 14:26 設定 コピー xlsx	QualityForward	513件	[カバレッジパネル] [編集] [コメント 0]
直近 2.0	検索機能   テスト実行   エクスポート   インポート   レポート   構成管理   フィルタサイクル ① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2021/04/08 14:27 設定 コピー xlsx	QualityForward	513件	[カバレッジパネル] [編集] [コメント 0]

### (2) 任意のメッセージを入力し、投稿ボタンを押すとコメントが投稿されます。

コメントにはメンション機能があり、投稿時に通知メールを指定の宛先に送信することができます。コメント入力欄に "@" を入力するとプルダウンメニューが表示され、プロジェ

クト内のユーザを選択することができます。"@all"を選択するとプロジェクト内のすべてのユーザに向けて通知メールを送信することができます。

サンプルテスト - 1.0のコメント一覧

コメントを入力

投稿

 QualityForward Ⓜ 2021/08/27 15:06 🗑  
@all コメントを確認してください

 QualityForward Ⓜ 2021/08/27 15:05 🗑  
サンプルコメント

- (3) プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザはコメントの削除も行うことができます。投稿したコメントの名前の横にあるゴミ箱マークをクリックします。

サンプルテスト - 1.0のコメント一覧

コメントを入力

投稿

 QualityForward Ⓜ 2021/08/27 15:06 🗑  
@all コメントを確認してください

 QualityForward Ⓜ 2021/08/27 15:05 🗑  
サンプルコメント

- (4) コメント削除の確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

コメントを削除しても宜しいですか？

OK キャンセル

## 5.14. テストスイートのレビューのワークフロー

テストスイートにレビューのワークフロー機能です。指定したレビュー依頼者にレビュー依頼のメールが送信され、やり取りはテストスイートのコメント一覧に投稿されます。

### 5.14.1. レビュー依頼を送る

#### レビュー依頼者の操作

- (1) プロジェクト設定でテストスイートのレビュー依頼者のメールアドレスを指定します。メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます。

基本設定

必須 プロジェクト名  
01.サンプルプロジェクト

必須 概要説明  
  
QualityForward をトライアルいただいておりますユーザ様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。  
この概要欄は自由に編集でき、<span style="color:red">ほとんどのHTMLタグ</span>が利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。  
画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

テストスイートのレビュー依頼者のメールアドレス  
qualityforward@veriserve.co.jp

- (2) テストケース編集画面のレビュー依頼ボタンを押します。レビュー依頼の対象となるのは、ステータスが「編集中」のテストスイートバージョンです。

テストケースサンプル - 1.0 の テストケース編集

レビュー依頼 編集を有効にする

優先度	要求ツリー	識別ID	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム
13		13	A	16	

- (3) レビュー依頼送信画面で任意のコメントを入力し、「送信する」ボタンを押します。

レビュー依頼

hogehoge

送信する

- (4) レビュワーにレビュー依頼メールが送信され、コメント一覧にレビュー依頼が行われたことが通知されます。

A - 1.0のコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビュー依頼が行われました ① 2021/09/09 17:14

QualityForward  
hogehoge

## レビュワーの操作

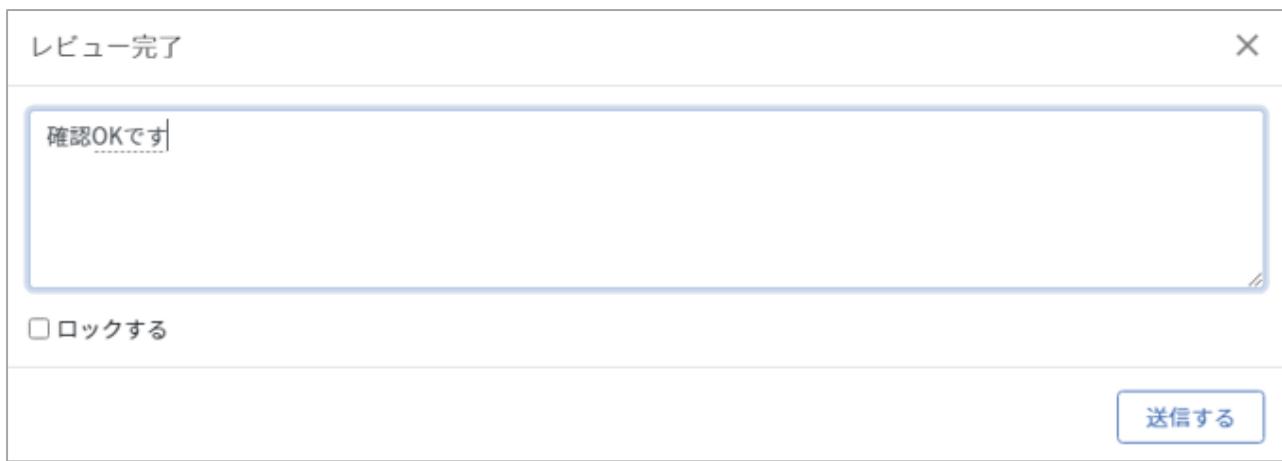
- (1) レビュー依頼メールからテストケース編集画面を開きます。

A - 1.0のテストケース編集

レビュー完了 差し戻す 編集を有効にする

	sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4	
	sample2_1	sample_2_2		sample2_4	
	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム	テスト目的
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が ることを確認する

- (2) レビューを完了する場合は「レビュー完了」、修正が必要な場合は「差し戻す」ボタンを押し、コメントを入力したら「送信する」ボタンを押します。



- (3) コメント一覧にレビュー完了の投稿が行われ、ステータスが「利用可」に変わります。レビュー完了時にロックするにチェックを入れるとテストスイートバージョンが読み取り専用になります。

The screenshot shows a list of test suite versions. At the top, it says 'A - 1.0 のコメント一覧' (Comments for A - 1.0). Below is a text input field with placeholder 'コメントを入力' (Input comment) and a blue '投稿' (Post) button. Underneath, a green box displays a completed review entry: 'レビューが完了しました' (Review completed) at '2021/09/09 17:29'. It includes the QualityForward logo and the text '確認OKです' (OK confirmed). The main list table has columns: 'テストスイート名▲' (Test Suite Name), 'バージョン名' (Version Name), '管理者' (Manager), and 'テストケース' (Test Cases). The first row shows 'A' as the suite name, '利用可 1.0' (Available 1.0) as the version name, 'QFuser41' as the manager, and '101件' (101 items) as the number of test cases. To the right of the table are buttons for 'カバレッジパネル' (Coverage Panel), '編集' (Edit), and 'コメント 13' (Comments 13).

## 5.15. テストスイートの差分確認

指定したバージョンと現バージョンの差分を確認する機能です。細かい変更内容をテストケースごとに色付きで確認できます。比較は前識別 ID を元に行われます。

- (1) 既存のテストスイートバージョンを前バージョンと比較する場合は設定画面を開き、前回バージョンを選択します。新規でバージョンを作成する際の前回バージョンは自動で選択されます。

**基本設定**

**必須** バージョン名  
2.0

前回バージョン

1.0  
3.0  
4.0

※タグはカンマ区切りで複数指定できます

- (2) テストケース編集画面の「差分確認」ボタンを押します。

Diff確認用 - 2.0のテストケース編集

	優先度	要求ツリー	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブ
1	A	テストB - 新しい要素B	16		テストケース追加

**差分確認** 編集を有効にする

- (3) 左上に変更件数が表示され、変更箇所は追加：緑、変更：黄色、削除：赤でそれぞれ表示されます。

追加行数: 4 削除行数: 2 変更行数: 12

前識別ID	現識別ID	優先度	要求ツリー
1	1	A	テ新入しトイB要素 - テ新入しトイA要素 - テ新入しトイA要素 - 1 新しい要素
2	2	A	テ新入しトイB要素C - 新しい要素Aa - 新しい要素Bb
3	3	A	新しい要素C - 新しい要素Aa - 新しい要素Bb

## 差分確認画面

追加行数: 2 削除行数: 1 変更行数: 0

前識別ID 現識別ID 優先度 要求ツリー

1	1	A	テストB - テストA - テストA-1
---	---	---	----------------------

2	2	A	テストB - 新しい要素B
---	---	---	---------------

3	A		
---	---	--	--

3	4	A	新しい要素C - 新しい要素Aa - 新しい要素Bb
---	---	---	----------------------------

3行目に行を追加したので  
現識別IDは4になったが  
比較は前識別IDを元に  
行われる

# 第6章 テストフェーズの管理

本章では、テストを進めていく際のフェーズの管理について説明します。

## 6.1. テストフェーズを作成する

テストサイクルを管理するためのテストフェーズの作成方法について説明します。設定は後から変更可能です。

### 6.1.1. テストフェーズの基本設定

- (1) ダッシュボード画面左のメニューからテストフェーズのリンクをクリックします。



The screenshot shows the QualityForward dashboard interface. On the left, there is a vertical sidebar with the following menu items: ワークスペース, ダッシュボード, テスト要求ツリー, テストスイート, **テストフェーズ** (highlighted with a red box), レポート, and チームWiki. The main content area is titled '01.サンプルプロジェクト' and features the 'VERISERVE' logo. Below the logo, there is descriptive text about the sample project and instructions for editing the summary box using HTML tags.

- (2) テストフェーズ一覧画面右上の「テストスイート追加」ボタンを押します。



The screenshot shows the 'Test Phases List' page. At the top right, there is a green button labeled '+ テストフェーズ追加' (Add Test Phase). The main area displays a table with columns for 'Test Phase Name', 'Status', 'Target Test Suite', and 'Test Cycle'.

- (3) テストフェーズの基本情報を入力します。「レビューのメールアドレス」はテスト実施後に実施内容を確認する担当者のメールアドレスを入力します。(テスト実施後のワークフロー)

ーについては、手順 [8.11](#) をご参照ください)

### テストフェーズの新規追加

#### 基本設定

**必須** テストフェーズ名

**必須** フェーズ開始日

2020/02/13

**必須** フェーズ終了日

2020/03/13

レビューのメールアドレス

①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

紐付けられているテストスイートのテストサイクルを自動生成する

- (4) 紐付けられているテストスイートのテストサイクルを自動生成するチェックボックスをオンにしてテストフェーズを作成すると、紐付けたテストスイートそれぞれのテストサイクルが1件ずつ自動で作成されます。

### テストフェーズの新規追加

#### 基本設定

**必須** テストフェーズ名

**必須** フェーズ開始日

2020/02/13

**必須** フェーズ終了日

2020/03/13

レビューのメールアドレス

①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

紐付けられているテストスイートのテストサイクルを自動生成する

## 6.1.2. 対象のテストスイートバージョンを設定する

テストフェーズに紐付けるテストスイートバージョンを選択します。ステータスが利用可となつ

ているテストスイートバージョンが表示されます。左側の選択可能なもののボックスから対象したいテストスイートバージョンを選択すると、右側の選択したものボックスに移動します。

右側の選択したものに表示されているテストスイートバージョンがこのテストフェーズの対象となります。テストケース件数は優先度が入力されている（テスト対処となる）テストケースの件数です。



## 6.2. BTS 連携を行う

QualityForward は BTS との連携機能を備えています。連携可能な BTS は Redmine および JIRA になります。

BTS 連携をすることでレポート機能への紐付けや実行画面からワンクリックで起票を行うことができます。詳しい設定方法については「BTS 連携マニュアル」をご確認ください。

## 6.3. テストフェーズ設定を変更・削除する

テストフェーズの情報を変更・削除する方法を説明します。テストフェーズの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

### 6.3.1. テストフェーズ設定を変更する

- (1) テストフェーズ一覧画面から変更したいテストフェーズ名下の設定をクリックします。



The screenshot shows a table of test phases. The first row, 'フェーズ11', has its 'Edit' button highlighted with a red box. The table includes columns for Name, Start Date, End Date, Progress Status, and two buttons: 'スイート一覧(4)' and 'アサイン表'. The progress bar for Phase 11 is green at 36% completion.

テストフェーズ名▲	開始日	終了日	進捗状況		
フェーズ11 ✖️ <b>設定</b> ✓ Redmineとの疎通確認	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 36%; background-color: #2e7131; height: 10px;"></div>	37/102 (36%)	<a href="#">スイート一覧(4)</a> <a href="#">アサイン表</a>
フェーズ12 ✖️ <b>設定</b>	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0%; background-color: #d9e1f2; height: 10px;"></div>	0/103 (0%)	<a href="#">スイート一覧(3)</a> <a href="#">アサイン表</a>
フェーズ2 ✖️ <b>設定</b> ✓ Redmineとの疎通確認	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 92%; background-color: #2e7131; height: 10px;"></div>	47/51 (92%)	<a href="#">スイート一覧(1)</a> <a href="#">アサイン表</a>

- (2) 変更したい項目の入力を終えたら、更新するボタンを押してください。

※テストサイクルを作成済みのテストスイートバージョンは紐付けから外すできません。

### 6.3.2. テストフェーズをアーカイブする

プロジェクトやテストスイートと同様にテストフェーズもアーカイブすることができます。

テストフェーズをアーカイブするとプロジェクト全体の集計から除外されます。テストフェーズのアーカイブはプロジェクト管理者以上の権限が必要です。

- (1) テストフェーズ一覧からアーカイブしたいテストフェーズの設定をクリックします。

テストフェーズ一覧					<a href="#">+ テストフェーズ追加</a>
<a href="#">▶ アクティブ</a>		<a href="#">■ アーカイブ</a>			
名前で検索		検索			
テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況		
フェーズ11 <a href="#">設定</a> ✓ Redmineとの疎通確認	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 36%;">[redacted]</div> 37/102 (36%)	<a href="#">スイート一覧(4)</a>	<a href="#">アサイン表</a>
フェーズ12 <a href="#">設定</a>	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0%;">[redacted]</div> 0/103 (0%)	<a href="#">スイート一覧(3)</a>	<a href="#">アサイン表</a>
フェーズ2 <a href="#">設定</a> ✓ Redmineとの疎通確認	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 92%;">[redacted]</div> 47/51 (92%)	<a href="#">スイート一覧(1)</a>	<a href="#">アサイン表</a>

- (2) テストフェーズ設定画面の下部にあるアーカイブするボタンを押します。

テストフェーズのアーカイブ

注意！

テストフェーズをアーカイブすると一覧に表示されなくなります。  
削除とは異なりデータは保持されます。

[■ アーカイブする](#)

- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

リリース向けテストフェーズ東京をアーカイブしても宜しいですか？

[OK](#)

[キャンセル](#)

- (4) アーカイブしたテストフェーズはテストフェーズ一覧のアーカイブタブに表示されます。アーカイブから元に戻す場合は同様の手順でアーカイブから戻すボタンを押すとアクティブなテストフェーズ一覧に表示されます。

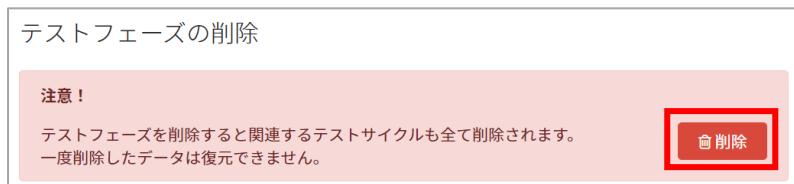
テストフェーズ一覧					<a href="#">+ テストフェーズ追加</a>
<a href="#">▶ アクティブ</a>		<a href="#">■ アーカイブ</a>			
名前で検索		検索			
テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況		
サンプルフェーズ <a href="#">設定</a> ✓ Redmineとの疎通確認	2021/08/09	2021/09/11	<div style="width: 1%;">[redacted]</div> 62/4638 (1%)	<a href="#">スイート一覧(3)</a>	<a href="#">アサイン表</a>
フェーズ1 <a href="#">設定</a> ✓ JIRAとの疎通確認	2020/09/01	2021/08/31	<div style="width: 70%;">[redacted]</div> 357/510 (70%)	<a href="#">スイート一覧(1)</a>	<a href="#">アサイン表</a>

### 6.3.3. テストフェーズを削除する

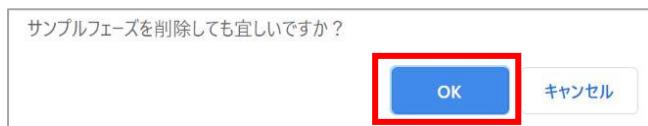
テストフェーズの削除はテストフェーズ設定画面から行います。テストフェーズの削除はプロジ

エクト管理者以上の権限が必要です。

- (1) テストフェーズ設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



# 第7章 テストサイクルの管理

本章では、テストフェーズに紐付けたテストスイートに対して実際にテスト結果を記入していく＝テストを実行していくための、実行単位のテストサイクルについて説明します。一つ以上のテスト実行単位(テストサイクル)を包含する「テストフェーズ」を定義し、テストフェーズに紐付けたテストスイートごとに、テストサイクルを作成することで、テスト実行が可能になります。

## 7.1. テストサイクルを作成する

本項ではテストを実行するためのテストサイクルを作成する方法について説明します。設定は後から変更可能です。

※テストフェーズ新規作成時に自動生成チェックをオンにした場合、1件目のテストサイクルは自動で生成されます。

- (1) テストフェーズ一覧画面から、テストサイクルを追加したいテストフェーズのスイート一覧ボタンを押します。

テストフェーズ一覧

+ テストフェーズ追加

▶ アクティブ  アーカイブ

名前で検索 検索

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況	操作
フェーズ11 ✖ 設定 ✓ Redmineとの確通確認	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 36%;">37/102 (36%)</div>	<span>スイート一覧(4)</span> <span>アサイン表</span>
フェーズ12 ✖ 設定	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0%;">0/103 (0%)</div>	<span>スイート一覧(3)</span> <span>アサイン表</span>
フェーズ2 ✖ 設定 ✓ Redmineとの確通確認	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 92%;">47/51 (92%)</div>	<span>スイート一覧(1)</span> <span>アサイン表</span>

- (2) 対象のテストスイートの一覧からサイクル一覧ボタンを押します。

対象のテストスイート一覧

対象のテストスイート	進捗状況	操作
テストケース_100件.xlsx - 1.0 △ 2021/08/11 ~ 2021/09/17	<div style="width: 21%;">22/102 (21%)</div>	<span>サイクル一覧(2)</span>
テストケース_500件.xlsx - 1.0 △ 2021/08/11 ~ 2021/08/27	<div style="width: 6%;">33/531 (6%)</div>	<span>サイクル一覧(3)</span>
テストケースサンプル2000件 - 1.0 △ 2021/08/09 ~ 2021/08/25	<div style="width: 0%;">11/1952 (0%)</div>	<span>サイクル一覧(1)</span>

- (3) テストサイクル一覧画面右上のテストサイクル追加ボタンを押します。

テストサイクル一覧

名前で検索 検索

+ テストサイクル追加

対象の優先度 進行状況

テストサイクル名 ▲

- (4) テストサイクルの基本情報を設定します。

テストサイクルの新規追加

必須 テストサイクル名  
サンプルテスト - 1.0 1回目テスト

必須 サイクル開始日  
2020/02/13

必須 サイクル終了日  
2019/11/06

※ サイクルの期間は「-99日間」です

- (5) テストケースに設定されている優先度のうち、どの優先度を対象とするかを選択します。  
※ テストスート内で使用されている優先度のみ表示されます。

必須 対象の優先度

A  B  C  D  E  F  G  H  I  J

- (6) テスト担当者を指定します。

テスト担当者

QualityForward  
QFuser41  
QFuser21  
QFuser40

- (7) 全ての入力を終えたら登録するボタンを押します。

## 7.2. テスト実施時に自動入力される値を設定する

本項目を設定すると、テストの結果を入力した際に設定値が自動的に備考欄に記載されます。

- (1) テストサイクル一覧画面からデフォルト値設定をクリックします。

The screenshot shows a list of test cycles. One cycle is selected, displaying its details. At the bottom of the cycle details, there is a row of buttons. The fourth button from the left, labeled 'Default Value Setting' with a pencil icon, is highlighted with a red rectangular box.

- (2) テストサイクルでテスト結果を入力した際の自動入力される値を設定します。

The screenshot shows a form titled 'Test Result Default Value Setting'. It contains three input fields: 'Environment' (set to 'Charome'), 'Bug ID' (empty), and 'Remarks' (set to 'Default value sample'). Below the form is a blue 'Update' button.

- (3) 値の入力が完了したら更新するボタンを押します。

※デフォルト値の設定がしてある場合も手入力は可能です。

※手入力とデフォルト値が重なった場合、手入力の情報が優先されます。

## 7.3. テスト結果欄の検証設定をする

テストサイクルに検証設定を行うことで、テスト結果の自由項目への表記を一致させることができます。

- (1) テストサイクル一覧画面を開き、「検証設定」のリンクをクリックします。

テストサイクル一覧

検証設定

サンプル - 1.0 1回目テスト  
▼ A  
2021/11/08 ~ 2021/11/22

設定 デフォルト値設定 検証設定 予実設定 xlsx 再テスト

- (2) 正規表現の形式で入力し設定を行います。入力が完了したら「更新する」ボタンを押します。

ここで入力した正規表現に基づいてテスト結果に入力した値の入力値チェックを行います。未入力の場合は検証しません。

環境

バグID

[#][0-9]

備考

更新する

- (3) テスト結果部に入力を行った際に、設定と一致しない表記は赤文字で表示されます。

テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考
QualityForward	2021/11/08	FAIL		111	

## 7.4. 予実設定を管理する

テストの実施予測の設定をテストサイクルごとに行えます。設定したデータはレポート画面で収

束曲線として表示されます。

## 7.4.1. 予実設定を入力する

ここで入力した進捗予想数は期限バーの件数へ反映されます。

- (1) テストサイクル一覧画面から、予実設定リンクを押します。

The screenshot shows a list of test cycles. One cycle is selected, displaying its details: 'サンプルテストスイート - 1.0 1回目テスト' (Sample Test Suite - 1.0 1st Run Test), 'A' category, and dates '2020/10/13 ~ 2020/10/27'. Below the details are several buttons: '設定' (Setting), 'デフォルト値設定' (Default Value Setting), '予実設定' (Actual Setting) which is highlighted with a red box, 'xlsx' (Excel file download), and '再テスト' (Re-test).

- (2) 欠陥予想 OPEN 数と欠陥予想 CLOSE 数、進捗予想数を入力します。

The screenshot shows the 'Actual Setting' input screen for the second run test. It displays a table with five rows, each representing a day from October 2nd to 6th. The columns are '欠陥予想OPEN' (Open Defect Prediction), '欠陥予想CLOSE' (Close Defect Prediction), and '進捗予測' (Actual Progress). The 'Actual Progress' column for October 5th is highlighted with a red box.

	欠陥予想OPEN	欠陥予想CLOSE	進捗予測
2019/10/02(水)	0	0	321
2019/10/03(木)	0	0	294
2019/10/04(金)	0	0	268
2019/10/05(土)	0	0	268
2019/10/06(日)	0	0	268

※入力内容はセルからカーソルが外れた時点で自動的に保存されます。

- (3) 進捗予想の入力により、期限バーの予定件数が変動します。

The screenshot shows the 'Test Cycle List' screen again. It lists three test cycles: '未実施' (Not Started), '初回テスト' (First Run Test), and '未実施' (Not Started). The '初回テスト' row is expanded, showing its details: '初回テストサンプル\_画面遷移テスト - 1.0 2回目テスト', 'A' category, and dates '2020/06/28 ~ 2020/07/10'. To the right of the cycle details is a progress bar. The progress bar for the '初回テスト' cycle is highlighted with a red box, showing the value '305/348 (87%)'. Other progress bars for the other cycles are also visible.

## 7.4.2. 予実設定を初期化する

入力した予実設定は初期化することができます。

レポートや実績推移表の予測値・テストサイクルの成分バーの期日は、予実設定の数値を基に値が設定されています。予実設定を初期化すると、これらの値が変わりますのでご注意ください。

- (1) 予実入力欄の右上にある初期化ボタンを押します。

サンプルサイクル(全234テストケース)の予実設定			
	欠陥予想OPEN	欠陥予想CLOSE	進捗予想
2016/11/29(火)	0	0	218
2016/11/30(水)	1	1	218
2016/12/01(木)	2	2	218
2016/12/02(金)	2	2	202
2016/12/03(土)	4	4	187
2016/12/04(日)	5	5	171
2016/12/05(月)	6	6	156

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



## 7.5. テストサイクル設定を変更・削除する

テストサイクルの情報を変更・削除する方法を説明します。テストサイクルの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

※テストサイクル設定の変更にはプロジェクト管理者以上の権限が必要です

### 7.5.1. テストサイクル設定を変更する

- (1) テストサイクル一覧画面から変更したいテストサイクル名下の設定をクリックします。

テストサイクル名▲

サンプルテストスイート - 1.0 1回目テスト  
▼ A  
2020/10/13 ~ 2020/10/27

設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト

- (2) 変更したい項目の入力を終えたら、更新するボタンを押してください。

テストサイクルの設定

必須 テストサイクル名  
テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 1回目

必須 サイクル開始日  
2019/11/01

必須 サイクル終了日  
2019/11/15  
① サイクルの期間は「14日間」です

必須 対象の優先度  
 A

テスト担当者  
QualityForward

管理者向けの設定

必須 状態  
未実施

更新する

※テストサイクルの状態はプロジェクト管理者またはテナント管理者のみ設定可能です。

## 7.5.2. テストサイクルを削除する

テストサイクルの削除はテストサイクル設定画面から行います。

- (1) テストサイクル設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。

テストサイクルの削除

注意！  
テストサイクルを削除すると関連するテスト結果のデータが全て消去されます。  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

削除

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

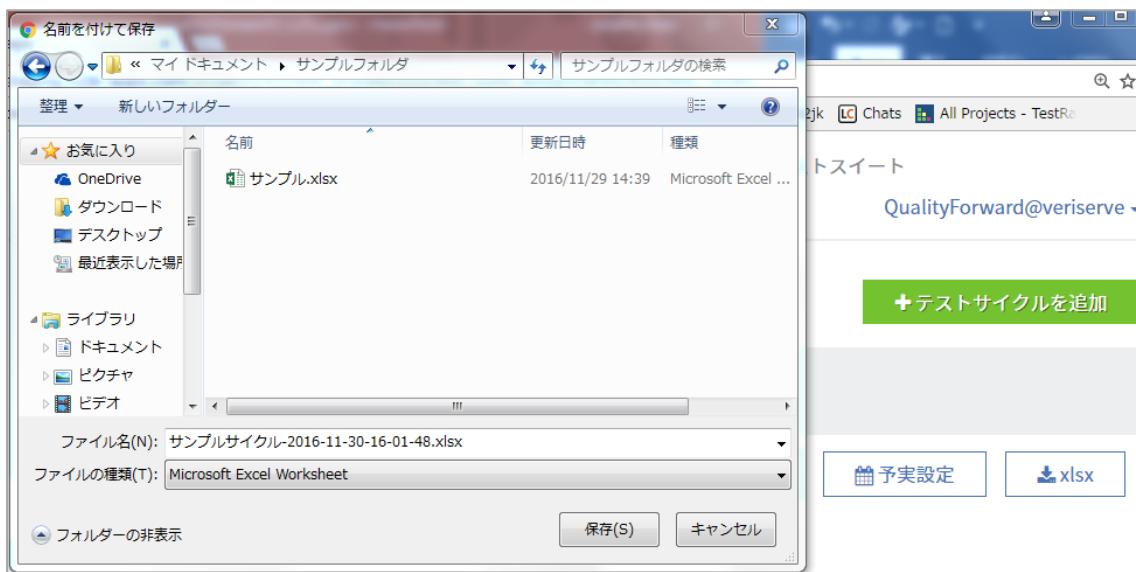
## 7.6. テストサイクルをエクスポートする

テスト結果はテストサイクルごとにエクセル形式でのダウンロードが可能です。

- (1) テストサイクル一覧画面からダウンロードしたいテストサイクルの xlsx ボタンを押します。



- (2) ダイアログボックスが表示されたらダウンロード先を選択して保存ボタンを押します。



## 7.7. テストサイクルの再テストを行う

実施済みのテストサイクルを元にテスト対象を絞り込んで再テストすることができます。FAILになった項目や、前回実施できなかった項目などを対象としたテストサイクルを作成します。

- (1) テストサイクル一覧から再テストしたいテストサイクル名の下にある再テストをクリック

します。

テ스트サイクル名▲

初回テスト  
▼ A  
□ 2017/02/21 ~ 2017/03/22

設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx C 再テスト

(2) 再テストの対象としたい条件を選択します。

テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テストの再テスト

■ ベースとするテストサイクル  
テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト

対象のテスト結果  
 PASS  FAIL  SKIP  CUT  BLOCK  N/A  Q&A

必須 テストサイクル名  
テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目

必須 サイクル開始日  
2020/06/08

必須 サイクル終了日  
2020/06/22  
③ サイクルの期間は「14日間」です

必須 対象の優先度  
 A  B  C  D

テスト担当者

登録する

(3) 全ての入力を終えたら登録するボタンを押します。

登録する

(4) 対象を絞り込んだテストサイクルが作成されます。通常のテストサイクルと同様に実施することができます。

テストサイクル一覧

名前で検索 検索

+ テストサイクル追加

テストサイクル名▲	テスト担当者	進行状況	
テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 2回目テスト 未実施 △ A □ 2020/06/29 ~ 2020/07/10 ✖ 設定 □ デフォルト値設定 □ 予実設定 ▲ xlsx C 再テスト	QualityForward	<div style="width: 10%;">0/348 (0%)</div>	▶ 開く コメント 1
初回テスト テスト中 △ A, B, C, D, E, F, G, H, I, J □ 2020/06/28 ~ 2020/07/10 ✖ 設定 □ デフォルト値設定 □ 予実設定 ▲ xlsx C 再テスト	指定なし	<div style="width: 87%;">305/348 (87%)</div>	▶ 開く コメント 1
初回テスト 初回テスト 再テスト 未実施 △ A □ 2020/06/30 ~ 2020/07/10 ✖ 設定 □ デフォルト値設定 □ 予実設定 ▲ xlsx C 再テスト	QualityForward	<div style="width: 0%;">0/305 (0%)</div>	▶ 開く コメント 1

## 7.8. テストサイクルの進捗情報をコピーする

テストサイクルの進捗に関する情報をまとめてコピーすることができます。

- (1) テストサイクル一覧から、情報をコピーしたいテストサイクルの右端にあるアイコンをクリックします。

テストサイクル一覧

名前で検索 検索

+ テストサイクル追加

テストサイクル名▲	テスト担当者	進行状況	
テストケースA - 1.0 1回目テスト レビュー待ち △ A □ 2020/06/26 ~ 2020/06/30 ✖ 設定 □ デフォルト値設定 □ 予実設定 ▲ xlsx C 再テスト	QualityForward	<div style="width: 18%;">19/101 (18%)</div>	▶ 開く コメント 1
テストケースA - 1.0 2回目テスト 完了 △ A □ 2020/06/25 ~ 2020/06/30 ✖ 設定 □ デフォルト値設定 □ 予実設定 ▲ xlsx C 再テスト	指定なし	<div style="width: 100%;">101/101 (100%)</div>	▶ 開く コメント 1

テストサイクルの情報をテキストでコピーします

- (2) 以下のようにテストサイクルの情報がコピーされます。

```
テストサイクル名: テストケースA - 1.0 1回目テスト
サイクル開始日: 2020/06/26
サイクル終了日: 2020/06/30
対象の優先度: A
テスト担当者: QualityForward
PASS: 17件
FAIL: 2件
SKIP: 0件
CUT: 0件
BLOCK: 0件
N/A: 0件
Q&A: 0件
未実施: 82件
```

## 7.9. アサイン表でテスト担当者を管理する

テストフェーズに含まれる全テストサイクルのスケジュールを俯瞰し、テスト担当者を割り振ることができます。

- (1) 管理したいテストフェーズ一覧の「アサイン表」ボタンをクリックします。

テストフェーズ一覧

+ テストフェーズ追加

▶ アクティブ  ■ アーカイブ

名前で検索 検索

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況	操作
フェーズ11 ✖ 設定 ✓ Redmineとの疎通確認	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 36%;">37/102 (36%)</div>	<a href="#">スイート一覧(4)</a> <a href="#">アサイン表</a>
フェーズ12 ✖ 設定	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0%;">0/103 (0%)</div>	<a href="#">スイート一覧(3)</a> <a href="#">アサイン表</a>
フェーズ2 ✖ 設定 ✓ Redmineとの疎通確認	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 92%;">47/51 (92%)</div>	<a href="#">スイート一覧(1)</a> <a href="#">アサイン表</a>

- (2) リストからテスト担当者を選択します。

サンプルフェーズのアサイン表 (2021/08/09 ~ 2021/09/11)

テスト担当者 全て   未実施  テスト中  レビュー待ち  完了

テスト担当者	テストサイクル名 ▲
担当者なし	テストケースサンプル2000件 - 1.0 テスト中 テストケース2000 - 1.0 1回目テスト 2021/08/09 ~ 2021/08/25 11/1952 (0%)
QFuser8	テストケース_500件.xlsx - 1.0 テスト中 テストケース_500件.xlsx - 1.0 2回目テスト 2021/08/11 ~ 2021/08/25 6/101 (5%)
QFuser9	
QF太郎	
QFuser41	

- (3) テスト担当者やテストサイクルステータスごとに絞り込みたい場合は、リストから担当者を選択・絞り込みたいステータスにチェックをし、「検索」ボタンをクリックします。

## サンプルフェーズのアサイン表 (2021/08/09 ~ 2021/09/11)

テスト担当者

全て



未実施  テスト中  レビュー待ち  完了

検索

# 第8章 実行管理

本章では、テスト実行の進め方と管理方法について説明します。

## 8.1. テストを実行する

テストスイート、テストフェーズ、テストサイクルの準備ができたらテストの実行に入ります。

- (1) テストサイクル一覧画面から、実行したいテストの「開く」ボタンを押します。

テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況	
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト 【テスト中】 ▼ A, B, C, D □ 2020/06/08 ~ 2020/06/22 ✖ 設定 ✎ デフォルト値設定 ✎ 予実設定 ✎ xlsx ✎ 再テスト	QualityForward	<div style="width: 50%;">■</div> 15/97 (15%)	<span>▶ 開く</span> <span>コメント 1</span>
◎ テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト 再テスト 【未実施】 ▼ A, B, C, D □ 2020/06/08 ~ 2020/06/22 ✖ 設定 ✎ デフォルト値設定 ✎ 予実設定 ✎ xlsx ✎ 再テスト	指定なし	<div style="width: 0%;">■</div> 0/15 (0%)	<span>▶ 開く</span> <span>コメント 1</span>

- (2) テスト結果はプルダウンで選択して入力できます。結果のラベルはプロジェクト作成時に設定したものが表示されます。

項目4	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること			<span>PASS</span>	
・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること			<span>FAIL</span>	
・エラーが発生せず、テストケー			<span>SKIP</span>	

- (3) テスト結果を入力すると実施者と実施日が自動で入力されます。

テスト実施者	テスト実施日	テスト結果
QualityForward	2016/11/30	PASS

(4) テスト環境、バグ ID、備考欄は自由に入力可能です。

※デフォルト値の設定がある場合はデフォルト値が自動入力されます。

環境	バグID	備考
Windows7 Chrome	#000	サンプルデータ

(5) 当日のテストの実施状況はリアルタイムで更新されます。実績は日ごとに集計されレポート上に保存されます。過去の進捗実績結果の編集が必要な場合は手順 [9.2.8](#) をご参照ください。

トップ / 20190322最新アップデート / テストフェーズ一覧 / サンプルフェーズのサンプルスイート / サンプルスイート - 1.0 1回目テスト						
操作	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6
	32 16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合 ・インポートするエクセルファイルに<iframe>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.登録するボタンをクリックする
	33 16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合 ・インポートするエクセルファイルに<table>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.登録するボタンをクリックする
	34 16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合 ・インポートするエクセルファイルに<td>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.登録するボタンをクリックする
	35 16				文字コードでバイト数が変わる文字が含まれている場合 ・インポートするエクセルファイルに[まっけの漢字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.登録するボタンをクリックする
	36 16				[色つき文字]が含まれる場合 ・インポートするエクセルファイルに[色つき文字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.登録するボタンをクリックする
	37 16				[太字]が含まれる場合 ・インポートするエクセルファイルに[太字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.登録するボタンをクリックする

(6) テストケースにフィルタをかけ、まとめて編集も可能です。

事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者
機能Aが実行できる状態にする	値でフィルタ: 検索	あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする		あること	QualityForward

(7) テキストでフィルタをかける場合は、一度クリアをクリックしてからテキスト入力を行い、表示されたフィルタにチェックを入れます。



- (8) テストケース編集画面同様、テスト実行画面でもテキスト検索を行うことができます。Ctrl+Fを押し、検索したいキーワードを入力したらEnterを押してください。

トップ / 05.サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / テストフェーズ2のサンプルシート1 / サンプルシート1_1回目テスト							操作	ファイル	1/109	↑ ↓
	テスト条件	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果			
1	正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が「.xlsx」であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストシートを作成しておくこと</li> </ul>	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>インポートしたテストケースが全て表示されること</li> </ul>	QualityForward	2017/12/01	PASS			
2	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が「.xlsx」以外であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストシートを作成しておくこと</li> </ul>	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること</li> </ul>	QualityForward	2017/12/01	PASS	FAIL		
3	設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目数が1つのテストシートを作成しておくこと</li> <li>項目数が2つ以上のテストケースであること</li> </ul>	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>2つ目以降の項目は無視して登録されていること</li> </ul>	QualityForward	2017/12/01	PASS			
4	設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目数が2つのテストシートを作成しておくこと</li> <li>項目数が1つのテストケースであること</li> </ul>	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックす	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> </ul>	QualityForward	2017/12/01	SKIP			

## 8.2. テスト結果にファイルを添付する

各テスト結果に複数のファイルを添付することができます。※ファイルサイズの上限は1MBまでです。

- (1) テスト結果部右端の添付ファイル欄をダブルクリックします。

テスト結果	環境	バグID	備考	添付ファイル
PASS				

- (2) ファイル添付画面が開いたら「Browse」ボタンをクリックし、添付したいファイルを選択します。

添付ファイル	No file chosen	Browse
<input type="button" value="アップロード"/>		

(3) ファイルを選択したらアップロードボタンを押します。

添付ファイル	No file chosen	Browse
未アップロード test.docx  test.xlsx		
<input type="button" value="アップロード"/>		

(4) テスト結果部の添付ファイル欄に選択したファイル名が表示されます。ファイル名をクリックするとファイルをダウンロード保存することができます。

テスト結果 ▾	環境	バグID	備考	添付ファイル
PASS				test.docx test.xlsx

## 8.3. テストを実行しながら BTS に起票する

テストフェーズ設定画面で BTS 連携の設定が済んでいる場合、該当テストケースを右クリックすることで直接チケットの起票画面を開くことができます。

(1) FAIL など不具合があった場合、該当のテストケースで右クリックします。

期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>・インポートしたテストケースが全て表示されること</li> </ul>	QualityForward	2020/04/07	FAIL	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること</li> </ul>			<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">           配置         </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">           BTSに起票         </div>	

- (2) チケットの起票が完了するとグラフやレポートに反映されます。

## 8.4. 文字列の配置を変更する

テスト実行画面のテストケースの文字配置を変更することができます。

- (1) 文字の配置を変更したいセルまたは列を選択し、右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2	項目3	項目4
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する
2	A	16			

- (2) 変更したい配置を選択すると選択されているセルの文字の配置を変えることができます。

	優先度	項目1▼	項目2	項目3	項目5	項目6
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しいファイルを取り込んだ場合	・インポート[.xlsx]であること ・テストケー
2	A	16			左揃え 中央揃え 右揃え 両端揃え 上揃え 中央揃え(垂直) 下揃え	を1つ
3	A	16			設定と取り込めたファイルの項目数が1つ	トであることを1つ

## 8.5. 列の表示・非表示を切り替える

テスト実行中に表示する必要がない列は非表示にすることができます。

- (1) テスト実行画面で非表示にしたい列の項目名を右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	配置 列を非表示	ファイルを取り 扱いの場合
2	A	16				サポート対象外のファ イルを取り込んだ場合

(2) 列を非表示をクリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	配置 列を非表示	ファイルを取り 扱いの場合
2	A	16				サポート対象外のファ イルを取り込んだ場合

(3) 列を再表示する場合は、非表示になっている列の両隣の列を選択してから右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい方 だ場合	配置 列を表示 列を非表示
2	A	16				サポート対象外のファ イルを取り込んだ場合

(4) 列を表示をクリックします。

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合 だ場合	配置 列を表示 列を非表示
2	A	16			サポート対象外のファイル を取り込んだ場合	

## 8.6. テスト結果補足の設定内容を確認する

プロジェクト設定でテスト結果補足を利用するにチェックを入れた場合、実行画面からも確認することができます。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果補足をクリックします。



- (2) テスト結果補足に設定した内容を確認できます。

テスト結果補足に関して	
<b>PASS</b>	
FAIL → PASS	FAIL から PASS へ変更
SKIP → PASS	SKIP から PASS へ変更
QA → PASS	QA から PASS へ変更
<b>FAIL</b>	
Q&A→FAIL	Q&A から FAIL へ変更
SKIP→FAIL	SKIP から FAIL へ変更
<b>SKIP</b>	
FAIL→SKIP	FAIL から SKIP へ変更

(3) テスト結果が入力されている場合にテスト結果補足の入力を行うことができます。

期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境
・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること	QualityForward	2018/03/29	PASS		
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること	QualityForward	2018/05/14	PASS	FAIL → PASS SKIP → PASS QA → PASS	
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること	QualityForward	2018/03/29	FAIL		

## 8.7. テストケースを編集する

テスト実行画面から、テストケースの編集画面へ遷移することができます。

(1) テストケースの編集を行う場合、テスト実行画面上部の操作プルダウンからテストケースを編集をクリックして編集画面へ進みます。

トップ / サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / testの対象テストイート一覧 / テストイートサンプル_通信機能テスト - 1.0 コピーのテストサイクル一覧 / テストイートサンプル_通信機能テスト - 1.0 コピー 1回目テスト									
<span>操作</span> <span>QualityF</span> <ul style="list-style-type: none"> <li><span>✖</span> テストケースを編集</li> <li><span>▲</span> 結果のインポート</li> <li><span>▲</span> 結果のエクスポート</li> <li><span>■</span> 備考を表示</li> <li><span>⌚</span> テスト結果更新履歴</li> </ul>									
優先度	機能カテゴリ	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果		
1 A	主機能遷移	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E の順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QUser71	2020/08/17	PASS		
2 A	主機能遷移	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E の順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QUser71	2020/08/17	PASS		
3 A	主機能遷移	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能E の順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QUser71	2020/08/17	PASS		

- (2) テストケース編集はテストケース作成時と同様に自由に編集可能です。エクセルインポートで一括上書きも可能です。

※エクセルシートをインポート時に同じ識別 ID が存在する場合、既にあるデータにインポートデータが上書きされます。

The screenshot shows a 'Test Case Edit' screen with the following details:

- Header:** トップ / サンプルプロジェクト / テストスイート一覧 / テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 | 操作 | QualityForward | ?
- Message Bar:** 注意！  
このテストスイートには、既にテストサイクルが存在しているため読み取り専用になっています。  
テストケースの編集や削除を行った場合、完了しているテストサイクルを含め関係するテストケースが書き換わります。（同じ識別IDの行が上書き、もしくは削除されます）。誤字脱字やテスト手順の軽微な変更等を除き、テストスイートのアップデートには別名の新たなファイルをインポートしてください。
- Content:** テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 のテストケース編集  
A table with columns: 優先度, 機能カテゴリ, テスト観点, 事前条件, テスト手順.

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順
1	A	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E ① の順で遷移する ②
2	A	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能D ① の順で遷移する ②
3	A	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能E ① の順で遷移する ②
4	A	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能C ① の順で遷移する ②
5	A	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能D ① の順で遷移する ②

## 8.8. テスト結果をエクスポートする

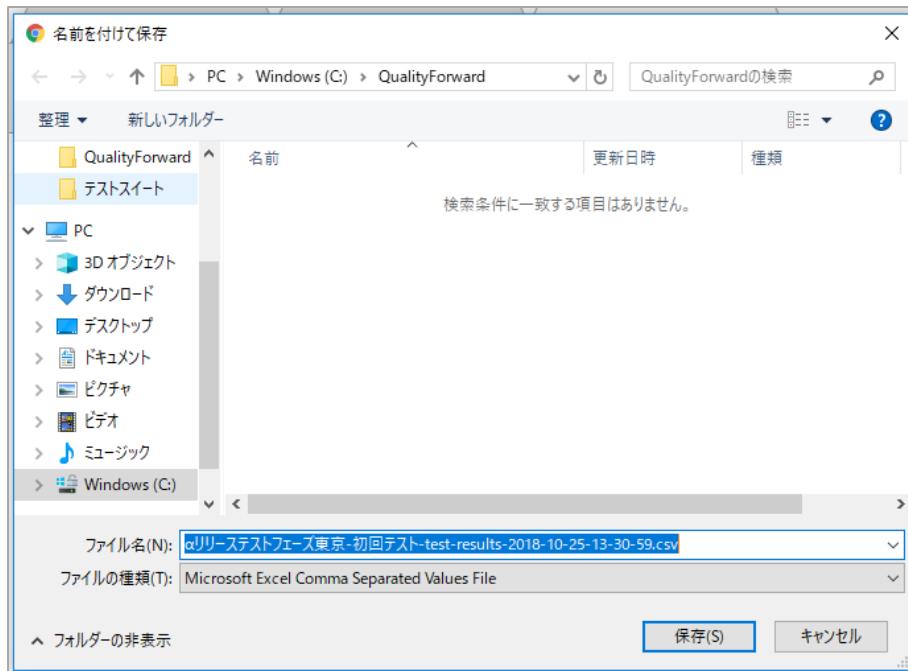
テストサイクル画面に入力されたテスト結果は csv 形式にてエクスポートすることができます。

- (1) テストサイクル画面を開き、操作メニューから結果のエクスポートを選択します。

The screenshot shows the 'Test Cycle' screen with the following details:

- Header:** テスト / 初回テスト | 操作 | QualityForward@QFサポートチーム | ?
- Left Panel:** テスト手順  
機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する  
機能A → 機能B → 機能C → 機能Dの順で遷移する  
機能A → 機能B → 機能C → 機能Eの順で遷移する  
機能A → 機能B → 機能D → 機能Eの順で遷移する  
機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する
- Right Panel:** テスト結果一覧  
A table with columns: 開始動作, テスト実施者, テスト実施日, テスト結果, テスト手順.  
The '結果のエクスポート' button is highlighted with a red box.

- (2) ダイアログボックスが開いたら保存先を選択し、保存ボタンを押します。



(3) 以下のような形式でテスト結果がエクスポートされます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
2	1	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
3	2	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
4	3	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
5	4	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
6	5	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
7	6	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
8	7	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
9	8	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
10	9	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
11	10	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
12	11	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
13	12	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
14	13	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
15	14	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
16	15	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
17	16	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
18	17	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
19	18	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
20	19	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
21	20	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
22	21	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
23	22	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
24	23	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
25	24	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
26	25	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				

## 8.9. テスト結果をインポートする

テスト結果インポートでは、まだ結果の入っていないテストサイクルに結果を書き込むことや、既に入力してあるテスト結果に対し上書きを行うことができます。

(1) 以下のように csv ファイルを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
2	1	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS	FAIL → PASS	Chrome	#00000	テスト結果インポート
3	2	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
4	3	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
5	4	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
6	5	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
7	6	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
8	7	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
9	8	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
10	9	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS	FAIL → PASS			
11	10	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
12	11	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
13	12	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
14	13	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
15	14	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
16	15	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
17	16	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
18	17	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
19	18	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
20	19	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
21	20	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
22	21	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
23	22	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
24	23	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
25	24	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
26	25	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				

インポートできるファイルは csv 形式になります。以下の内容をご確認のうえインポートを実施してください。アップロードエラーとなつた場合、インポートは実施されません。

※対象の識別 ID に対し書き込みを行うため、識別 ID は正しく指定してください

※プロジェクトに存在しないユーザ、またはテスト実施者が無記入の場合はインポートすることができません

※日付の形式は「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」です

※テスト結果、テスト結果補足は QualityForward 上の設定と、csv で指定した文字列が完全に一致している必要があります

※文字コードは「UTF-8」のみ対応しております

※インポートするテスト結果の数がテストサイクルの行数より多い場合、インポートすることができません

(2) テストサイクル画面を開き、操作メニューから結果のインポートを選択します。

スト / 初回テスト 操作 ▾

QualityForward@QFサポートチーム ▾ ?

テスト手順

▲ テストケースを編集

▲ 結果のインポート

▲ 結果のエクスポート

■ 備考を表示

□ 関連ファイル

② テスト結果補足

③ テスト結果更新履歴

期待動作

テスト実施者

テスト実施日

テスト結果

テスト結果補足

環境

バグID

備考

機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する  
可能であること  
画面へ遷移可能であるこ  
QFuser27  
2018/02/14  
PASS

機能A → 機能B → 機能C → 機能Dの順で遷移する  
可能であること  
画面へ遷移可能であるこ  
QFuser27  
2018/02/14  
PASS

機能A → 機能B → 機能C → 機能Eの順で遷移する  
可能であること  
画面へ遷移可能であるこ  
QFuser27  
2018/02/14  
PASS

機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能Cの順で遷移する  
① それぞれの画面へ遷移可能であるこ  
と  
② 機能Cが実行可能であること  
QFuser27  
2018/02/14  
PASS

機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する  
① それぞれの画面へ遷移可能であるこ  
と  
② 機能Dが実行可能であること  
QFuser27  
2018/02/14  
PASS

- (3) テスト結果インポート画面が開いたら、手順(1)で作成した csv ファイルを指定し、登録するボタンを押します。

テスト結果のインポート

このテストサイクルでは以下のフォーマットのCSVが取り込めます。  
1行目（識別ID、優先度、機能カテゴリ、などのヘッダ行）は無視され、2行目から取り込まれます。

識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考
1	user@example.com	2020/9/8 13:05	PASS	サンプル	サンプル	サンプル
...	...	...	...	...	...	...

添付 CSVファイル(csv)  
ファイルを選択 選択されていません

**登録する**

- (4) テスト結果がインポートされました。

	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
1	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であるこ と ② 機能Eが実行可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS FAIL → PASS Chrome #00000 テスト結果インポート							
2	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であるこ と ② 機能Dが実行可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS							
3	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であるこ と ② 機能Eが実行可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS							
4	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であるこ と ② 機能Cが実行可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS							
5	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であるこ と ② 機能Dが実行可能であること QFuser27 2018/10/15 FAIL FAIL → PASS Chrome #00000							
6	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS							
7	する 機能A → 機能C → 機能B → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS							
8	する 機能A → 機能C → 機能B → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること QFuser27 2018/10/15 FAIL FAIL → PASS Chrome #00000							
9	する 機能A → 機能C → 機能D → 機能B → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS FAIL → PASS							
10	する 機能A → 機能C → 機能D → 機能E → 機能Bの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS							
11	する 機能A → 機能C → 機能E → 機能B → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること QFuser27 2018/10/15 PASS							

## 8.10. 揭示板でテスト状況の報告を行う

各テストサイクルには掲示板が設置されており、プロジェクト内のユーザ同士でコメントのやり

取りを行うことができます。コメントボタンには投稿されたコメントの件数が表示されます。

- (1) テストサイクル一覧からコメントボタンを押します。

テストサイクル名 ▲

テスト担当者	進行状況
QualityForward	15/97 (15%)
未実施	0/15 (0%)

▶開く コメント

- (2) 任意のメッセージを入力し、投稿ボタンを押すとコメントが投稿されます。

コメントにはメンション機能があり、投稿時に通知メールを指定の宛先に送信することができます。コメント入力欄に "@" を入力するとプルダウンメニューが表示され、プロジェクト内のユーザを選択することができます。"@all" を選択するとプロジェクト内のすべてのユーザに向けて通知メールを送信することができます。

サンプルテストサイクルのコメント一覧

@

all userA userB userC userD userE

投稿

S sample\_user ① 2020/11/13 15:56

コメント投稿テスト

- (3) プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザはコメントの削除も行うことができます。投稿したコメントの名前の横にあるゴミ箱マークをクリックします。

サンプルテストサイクルのコメント一覧

コメントを入力

投稿

S sample\_user ① 2020/11/13 15:56

コメント投稿テスト

- (4) コメント削除の確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



## 8.11. レビューのワークフロー

テストはレビューのレビューを終えたのち、完了となります。テスト実施者とテスト管理者はレビューの依頼や差し戻し、完了の通知をテスト実行画面上より行います。

各ワークフローで送信されたメッセージはコメントとして記録され、テストサイクル横の「コメント」から確認することができます。

### 8.11.1. レビューを依頼する

テストが終わったらテスト実施者はレビュー依頼することができます。レビュー依頼をするとレビューに指定されたメールアドレスにレビュー依頼通知が送信され、レビュー待ちのテストサイクル一覧に対象のテストサイクルが表示されます。

- (1) 対象のテストサイクルの親となるテストフェーズの設定画面を開き、レビューのメールアドレスを確認します。レビューはいつでも追加、削除することができます。

The screenshot shows the "Test Phase Settings" dialog box. Under the "Basic Settings" tab, there are four fields: "Test Phase Name" (set to "サンプルフェーズ"), "Phase Start Date" (set to "2019/04/04"), "Phase End Date" (set to "2019/05/04"), and "Reviewer's Email Address" (set to "qualityf.user@gmail.com"). A note below the email field states: "メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます" (Email addresses can be specified in CSV format).

- (2) レビュー依頼を出したいテスト実行画面最下部のレビュー依頼ボタンを押します。



(3) 任意のメッセージを入力し、送信ボタンを押します。



※レビュー依頼メールはレビュー設定が有る場合にのみ、レビューに送信されます。

(4) レビュー依頼やレビュー完了などの通知は、メールで通知された URL、またはテストサイクル一覧画面のコメントボタンから開ける掲示板にも記載されます。  
※投稿したコメントと異なり、この内容を掲示板から削除することはできません。



テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況	
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト ⚠ A, B, C, D ⌚ 2020/06/08 ~ 2020/06/22 ✖ 設定 ✅ デフォルト値設定 ✖ 予実設定 ✅ xlsx ✖ 再テスト	QualityForward	<div style="width: 15%; background-color: #2e7131; height: 10px;"></div> 15/97 (15%)	<span>▶ 開く</span> <span>✉ コメント</span>
⌚ テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト ⌚ テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト 再テスト ⚠ A, B, C, D ⌚ 2020/06/08 ~ 2020/06/22 ✖ 設定 ✅ デフォルト値設定 ✖ 予実設定 ✅ xlsx ✖ 再テスト	指定なし	<div style="width: 0%; background-color: #d3d3d3; height: 10px;"></div> 0/15 (0%)	<span>▶ 開く</span> <span>✉ コメント</span>

## サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

The screenshot shows a list of review comments. The first comment is from QualityForward, stating the test results have no issues and marking it as completed. The second comment is from a user named 'テスト花子' asking for another review. The third comment is from QualityForward suggesting skipping items. The fourth comment, from 'テスト花子' confirming the test is complete, is highlighted with a red border.

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました ◎2019/04/04 17:26

QualityForward  
テスト結果に問題がないことを確認しました。  
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました ◎2019/04/04 17:25

テスト花子  
再レビューお願いします

レビューが差し戻されました ◎2019/04/04 17:25

QualityForward  
スキップの項目を確認してください

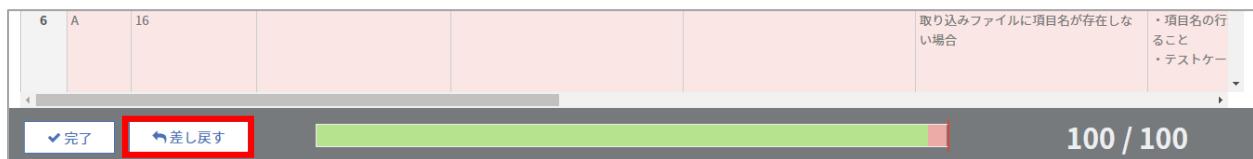
レビュー依頼が行われました ◎2019/04/04 17:24

テスト花子  
テストが完了したため確認をお願いします。

### 8.11.2. レビュー依頼を差し戻す

ダッシュボードでレビュー待ちのテストサイクルの一覧を確認できます。レビュー待ちのテストケースに不備があった場合、テスト実施者へレビュー依頼の差し戻しを行います。

- (1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。
- (2) テスト実行画面最下部の差し戻すボタンを押します。



- (3) 差し戻し理由を入力し、送信ボタンを押します。



(4) テスト実施者へ差し戻しメールが送信され、掲示板にも差し戻しが通知されます。

【要確認】サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビュー依頼が差し戻されました  
受信トレイ ×

no-reply@cloud.veriserve.co.jp  
To qualityf.user+2 ▾  
「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」が以下の理由で差し戻されました。

- 理由  
スキップの項目を確認してください
- 再度テストを行う場合はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1662](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662)
- コメントをやり取りしたい場合はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1662/test\\_cycle\\_comments](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662/test_cycle_comments)

サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました ◎2019/04/04 17:26  
QualityForward  
テスト結果に問題がないことを確認しました。  
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました ◎2019/04/04 17:25  
テスト花子  
再レビューお願いします

レビューが差し戻されました ◎2019/04/04 17:25  
QualityForward  
スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました ◎2019/04/04 17:24  
テスト花子  
テストが完了したため確認をお願いします。

### 8.11.3. レビューを完了する

テスト実行結果に不備がなければ、テストサイクルを完了することができます。レビューを完了したテストサイクルは閲覧専用となり、編集を行うことができなくなります。一度完了させたレビューの状態を変更するには手順 [8.12](#) を参照ください。

(1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。

(2) テスト実行画面最下部の完了ボタンを押します。



(3) 任意のメッセージを入力したら送信ボタンを押します。



(4) レビュー完了通知がテスト実施者へ送信され、掲示板にもレビュー完了が通知されます。

【要確認】サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビューが完了しました [受信トレイ](#)

no-reply@cloud.veriserve.co.jp  
To qualityf.user+2

「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」のレビューが完了しました。

■メモ  
テスト結果に問題がないことを確認しました。  
テスト完了とします。

■テスト結果の確認はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1663](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1663)

■コメントをやり取りしたい場合はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1663/test\\_cycle\\_comments](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1663/test_cycle_comments)

サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました ◎ 2019/04/04 17:26

 QualityForward  
テスト結果に問題がないことを確認しました。  
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました ◎ 2019/04/04 17:25

 テスト花子  
再レビューお願いします

レビューが差し戻されました ◎ 2019/04/04 17:25

 QualityForward  
スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました ◎ 2019/04/04 17:24

 テスト花子  
テストが完了したため確認をお願いします。

## 8.12. テストサイクルの状態を変更する

プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザは、テストサイクルの状態を変更することができます。テストサイクルの状態は未実施・テスト中・レビュー待ち・完了の4種類から選択することができます。

- (1) テストサイクル一覧画面から「設定」をクリックし、テストサイクルの設定画面を開きます。

テストサイクル名▲

サンプルスイートB - 1.0 1回目テスト

▼ A

完了

2020/10/30 ~ 2020/11/13

 設定  デフォルト値設定  予実設定  xlsx  再テスト

- (2) 管理者向けの設定内の「状態」のプルダウンメニューより任意の状態を選択し、「更新する」ボタンを押します。

## テストサイクルの設定

テストフェーズの期間：2020/10/30～2020/11/30

**必須** テストサイクル名  
サンプルスイートB-1.0 1回目テスト

**必須** サイクル開始日  
2020/10/30

**必須** サイクル終了日  
2020/11/13

① サイクルの期間は「14日間」です

**必須** 対象の優先度  
 A

テスト担当者

**管理者向けの設定**

**必須** 状態  
テスト中

更新する

(3) テストサイクル一覧画面に遷移し、テスト状態が変更されていることを確認できます。

テストサイクル名▲

サンプルスイートB-1.0 1回目テスト  
▼  
2020/10/30～2020/11/13

設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト

## 8.13. 関連ファイルを確認する

テストスイート作成時にアップロードした関連ファイルをテスト実行画面からダウンロードできます。

(1) テスト実行画面上部の操作プルダウンから関連ファイルをクリックします。

トップ / サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / testの対象テストスイート一覧 / テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 のテストサイクル一覧 / テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 1回目テスト

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト
146	A 主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする	機能B→機能A→機能C→機能E→機能D	① 関連機能が実行可能であること ② 関連機能が実行可能であること	Quality
147	A 主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする	機能B→機能A→機能D→機能C→機能E	① 関連機能が実行可能であること ② 関連機能が実行可能であること	Quality
148	A 主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする	機能B→機能A→機能D→機能E→機能C	① 関連機能が実行可能であること ② 関連機能が実行可能であること	Quality

操作  
 テストケースを編集  
 結果のインポート  
 結果のエクスポート  
 値を表示  
 関連ファイル  
 テスト結果更新履歴

- (2) 関連ファイル一覧画面が表示されたら、ダウンロードしたいファイルをクリックします。



## 8.14. テストの実行時間を確認する

テストシートに対し、テストが実行された時間の確認ができます。テストシート一覧画面のテストシート名の下に直近の実行時間が表示されます



※実行時間はテスト実行のチェック依頼が完了になると算出されます。

※該当のテストサイクルにおいてその日の最も遅いテスト実施日時(テスト結果を投入した実時間)から最も早いテスト実施日時を引いたものが直近の実行時間として1日ごとに算出されます。全ての日数の実行時間の累計が「直近の実行時間」となります。

## 8.15. 更新履歴管理

テスト結果の更新履歴を見ることができます。どのテストケースに対し、誰が・いつ・どのように変更を加えたかを一覧で表示します。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果更新履歴のリンクをクリックします。

The screenshot shows a software interface for QualityForward. At the top, there's a navigation bar with links like 'トップ / サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / αリリーステストフェーズ東京のテストスイートサンプル\_画面遷移テスト / 初回テスト'. On the right side, there's a '操作' (Operation) dropdown menu with several options: '編集する' (Edit), 'テスト結果更新履歴' (Test Result History) which is highlighted with a red box, '備考を表示' (Show Notes), '関連ファイル' (Related Files), and 'テスト結果補足' (Test Result Supplement). Below the menu, there's a table with two rows of test cases. The first row has ID 1856, priority A, category '主機能遷移', view point '全組み合わせ', pre-condition '機能Cが実行できる状態にする', and post-condition '機能C → 機能B → 機能Dの順で遷移する'. The second row has ID 1857, priority A, category '主機能遷移', view point '全組み合わせ', pre-condition '機能Cが実行できる状態にする', and post-condition '機能C → 機能B → 機能Eの順で遷移する'.

- (2) テスト結果更新履歴の一覧が表示されます。更新履歴は最初の入力の後に更新が行われた場合のみ出力されます。

The screenshot shows a 'Test Result History' list page. The title is 'テスト結果更新履歴'. There's a 'CSV' download button. The table has columns: 日付 (Date), テストケース (Test Case), ユーザ (User), and 変更内容 (Change Content). Two entries are listed:

日付	テストケース	ユーザ	変更内容
2017/06/29 09:50:41	7	QualityForward	{"テスト結果":>["BLOCK", "PASS"]}
2017/06/29 09:50:42	8	QualityForward	{"テスト結果":>["BLOCK", "PASS"]}

# 第9章 レポート管理

レポート画面ではプロジェクト全体、フェーズごとのテスト実施予定数や進捗状況、欠陥数やクローズ数などをまとめて確認できます。

## 9.1. プロジェクト全体のレポート

プロジェクト全体の進捗状況をひと目で確認することができます。

### 9.1.1. 収束曲線(総数)

予実設定やテストケース数が増えたタイミングに関係なく、プロジェクト全体のテストケース数から実績を見るグラフです。

- (1) ダッシュボード画面左のメニューからレポートのリンクをクリックします。



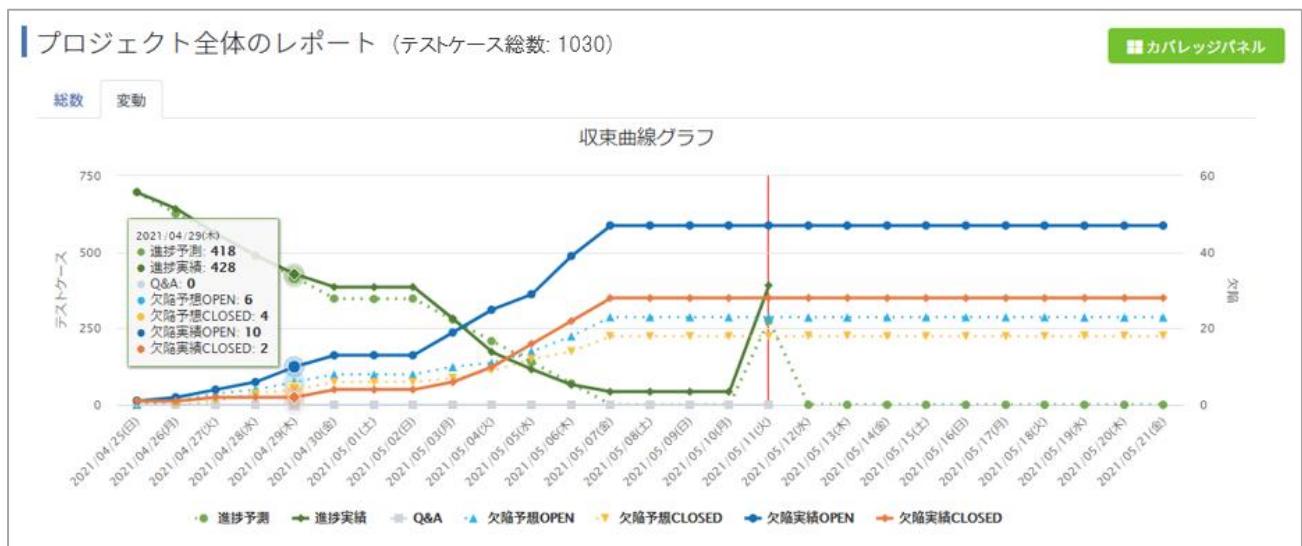
- (2) カーソルを合わせると日付ごとに予定と進捗が確認できます。赤い縦線は本日を示しています。



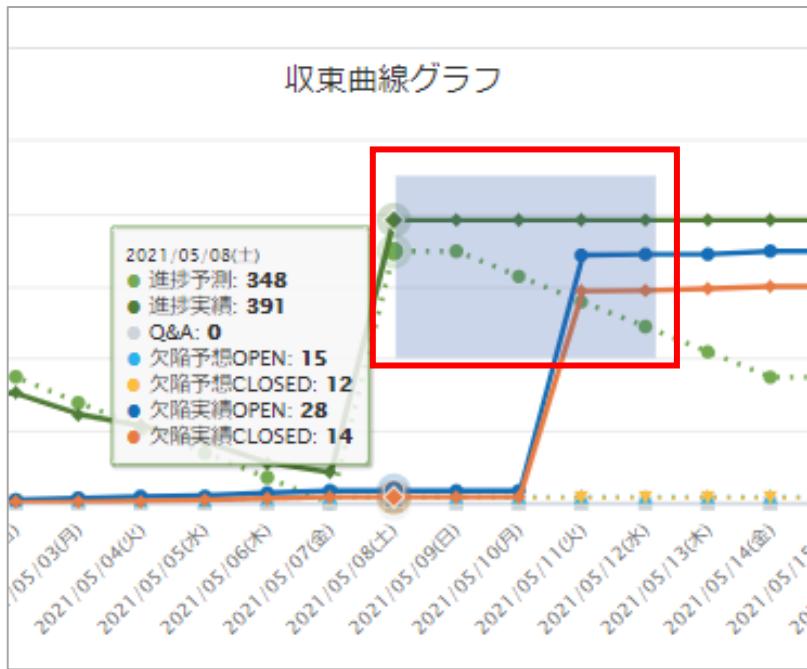
## 9.1.2. 収束曲線(変動)

変動グラフはテストケース数に増減があったタイミングで予定数が変動します。

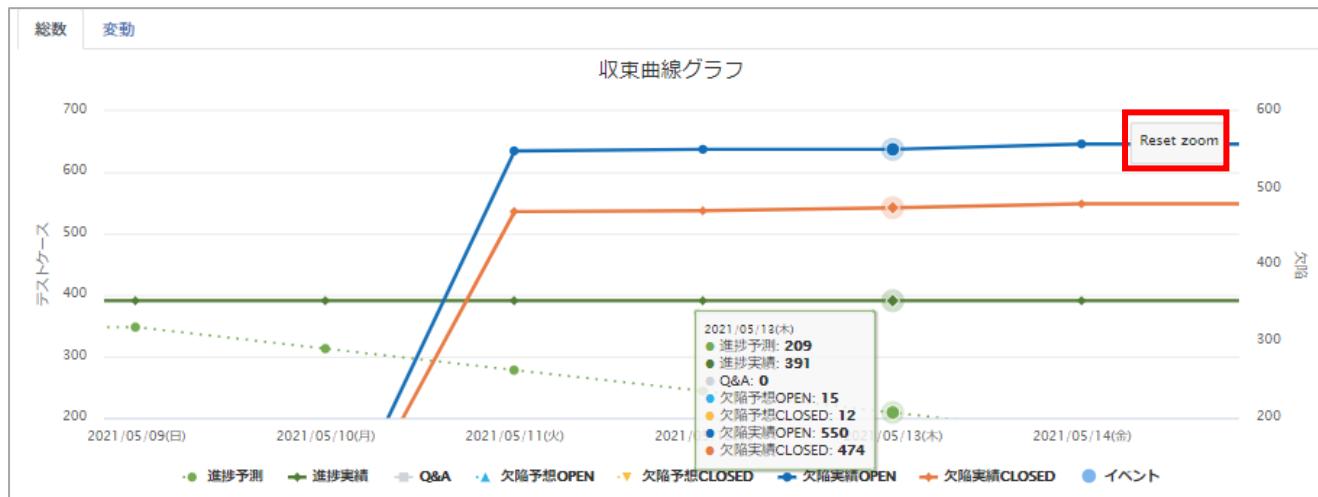
- (1) カーソルを合わせると日付ごとに予定と進捗が確認できます。



※収束曲線グラフが細かくて見づらい場合、ドラッグで範囲選択するとその部分をズームして見ることができます。



元に戻す場合はグラフ右上に表示される Reset zoom ボタンを押します。



### 9.1.3. テストケース総数を確認する

プロジェクト名横にテストケース総数が表示されます。ここで表示されるのはテストケースに優先度が入力されている・優先度がテストサイクルの対象になっているテストケースの総数です。



## 9.1.4. プロジェクト全体のカバレッジパネル

プロジェクトのテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在し、そのテストがどれくらい実行されているかをひとめで確認できます。

- (1) テストスイートの設定画面から、「カバレッジパネル設定の有効化」にチェックを入れます。

テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input checked="" type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	使用中	項目5	<input type="radio"/>

- (2) 集計対象としたい項目の右側にあるラジオボタンを選択し、保存します。

## テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル

使用中

項目1

項目2のラベル

使用中

項目2

項目3のラベル

使用中

項目3

項目4のラベル

使用中

項目4

項目5のラベル

使用中

項目5

- (3) レポート画面を開き、プロジェクト全体の収束曲線グラフ右上にあるカバレッジパネルボタンを押します。

## プロジェクト全体のレポート

カバレッジパネル

総数

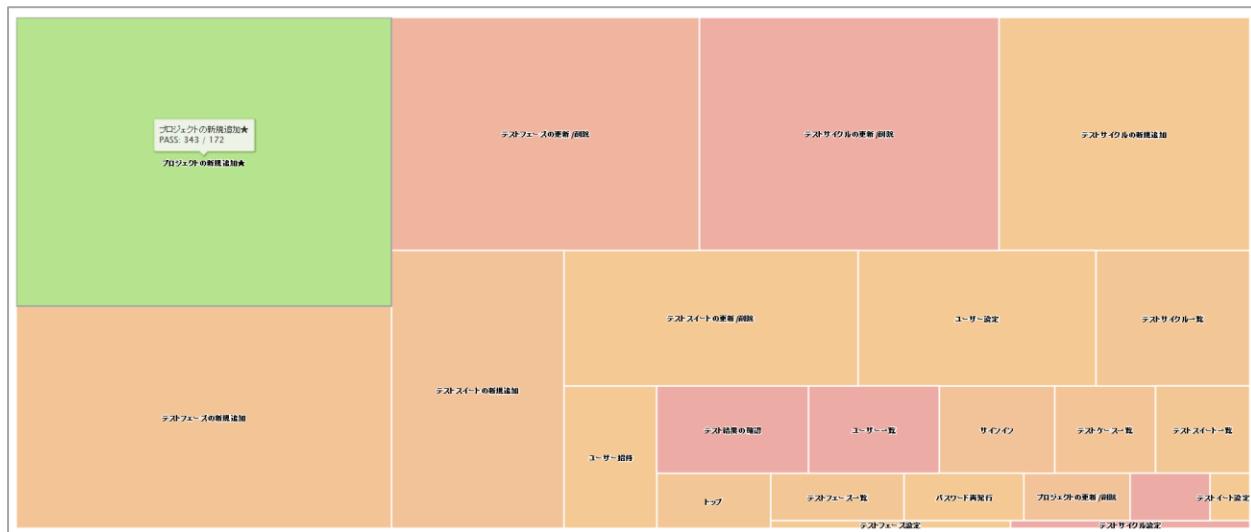
変動

収束曲線グラフ

- (4) テストスイート設定画面で対象のカラムを指定してある全テストスイートから集計されます。テストがクリアした件数に応じて色が緑に変わっていきます。

カーソルを合わせると全部で何件のテストケースが存在し、何件のテストがクリアしたかを確認できます。

全てのテストがクリア (PASS 率 100%) となった場合、★マークが表示されます。



※カバレッジパネルの分母はテストケース数のユニーク数、分子はそのテストケースに対する総テ

スト実行回数です。テストサイクルが複数回実施される場合は PASS 率が 200%、300%と増えていき、100%ごとに★マークが増えていきます。

## 9.1.5. フェーズ一覧

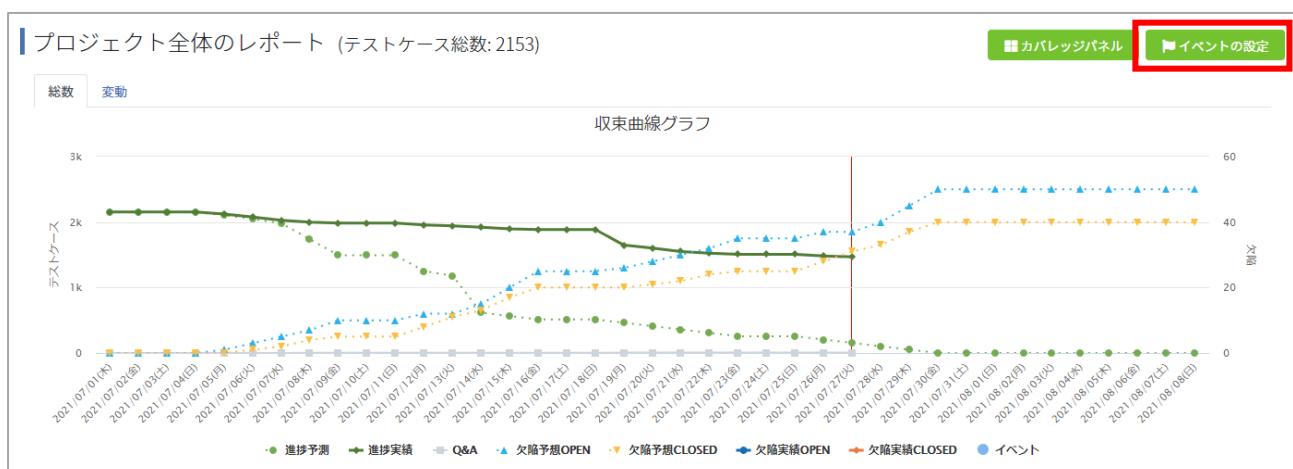
プロジェクトに登録されているテストフェーズの一覧が表示されます。

フェーズ一覧			
テストフェーズ名▲	開始日	終了日	進行状況
フェーズ11	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 5%; background-color: #2e6b2e; height: 10px;"></div> <div style="width: 95%; background-color: #f0f0f0; height: 10px; margin-left: 10px;"></div> 37/614 (6%)
フェーズ12	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0%; background-color: #f0f0f0; height: 10px;"></div> <div style="width: 100%; background-color: #f0f0f0; height: 10px; margin-left: 10px;"></div> 0/103 (0%)
フェーズ2	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 92%; background-color: #2e6b2e; height: 10px;"></div> <div style="width: 8%; background-color: #f0f0f0; height: 10px; margin-left: 10px;"></div> 47/51 (92%)

## 9.1.6. プロジェクトのイベント設定

プロジェクト全体の収束曲線グラフに対してテストのスケジュールや重要なイベントを設定し、グラフ上に表示することができます。

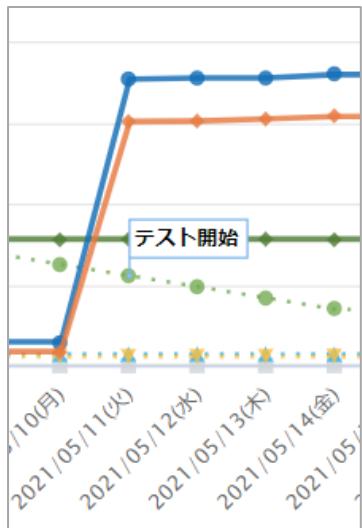
- (1) プロジェクト全体のイベント設定は、左メニューの「レポート」ボタンをクリックします。
- (2) プロジェクト全体レポート右上の「イベントの設定」ボタンをクリックします。



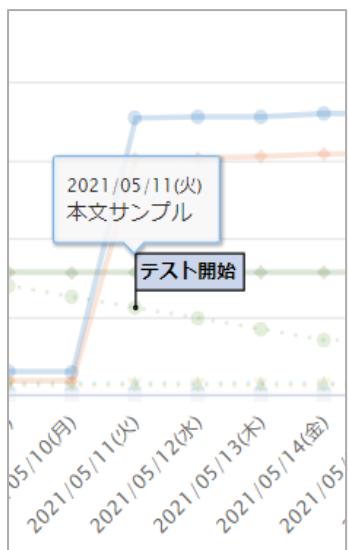
- (3) イベント一覧画面の「+新規登録」ボタンをクリックします。

対象日	タイトル
 ありません	

- (4) 「対象日」に入力した日付にイベントの「タイトル」が表示されます。



- (5) イベントタイトルにカーソルを合わせると内容を確認することができます。



## 9.2. フェーズごとレポート

フェーズ単位でのテスト予定と実績を確認できます。

## 9.2.1. フェーズごとのカバレッジパネル

フェーズのテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれぐらい存在し、そのテストがどれぐらい実行されているかをひとめで確認できます。

- (1) フェーズごとのカバレッジパネルを確認する場合は、プロジェクト全体レポートのフェーズ

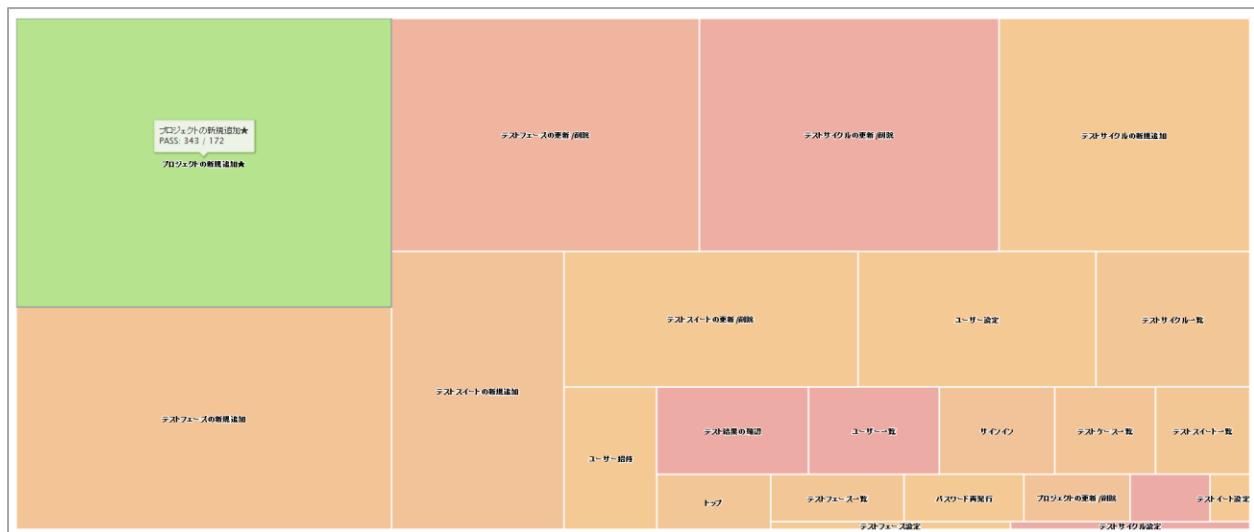
一覧右側にあるカバレッジパネルボタンを押します。

フェーズ一覧			
テストフェーズ名▲	開始日	終了日	進行状況
フェーズ11	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 5%; background-color: #2e6b2e; height: 10px;"></div> 37/614 (6%) <a href="#">カバレッジパネル</a> <a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>
フェーズ12	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0%; background-color: #d9d9d9; height: 10px;"></div> 0/103 (0%) <a href="#">カバレッジパネル</a> <a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>
フェーズ2	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 75%; background-color: #2e6b2e; height: 10px;"></div> 47/51 (92%) <a href="#">カバレッジパネル</a> <a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>

- (2) テストスイート設定画面で対象のカラムを指定してあるテストスイートから集計されます。テストがクリアした件数に応じて色が緑に変わっていきます。

カーソルを合わせると全部で何件のテストケースが存在し、何件のテストがクリアしたかを確認できます。

全てのテストがクリア（PASS 率 100%）となった場合、★マークが表示されます。



※カバレッジパネルの分母はテストケース数のユニーク数、分子はそのテストケースに対する総テスト実行回数です。テストサイクルが複数回実施される場合は PASS 率が 200%、300% と増えて

いき、100%ごとに★マークが増えていきます。

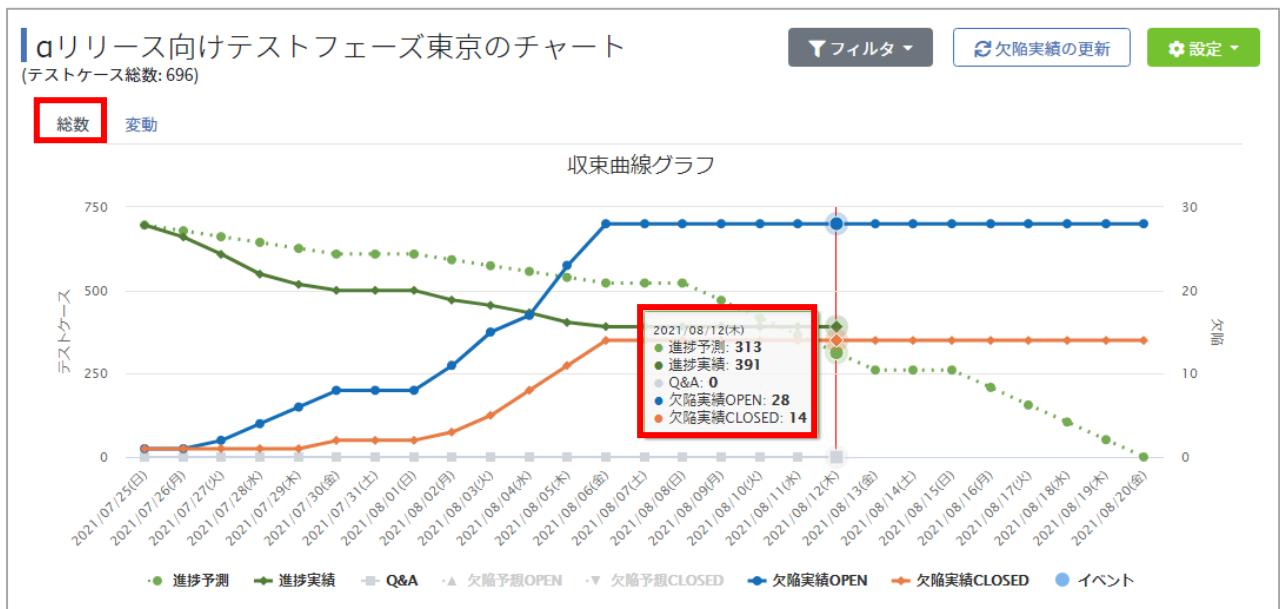
## 9.2.2. 収束曲線(総数)

予実設定やテストケース数が増えたタイミングに関係なく、フェーズ全体のテストケース数から実績を見るグラフです。

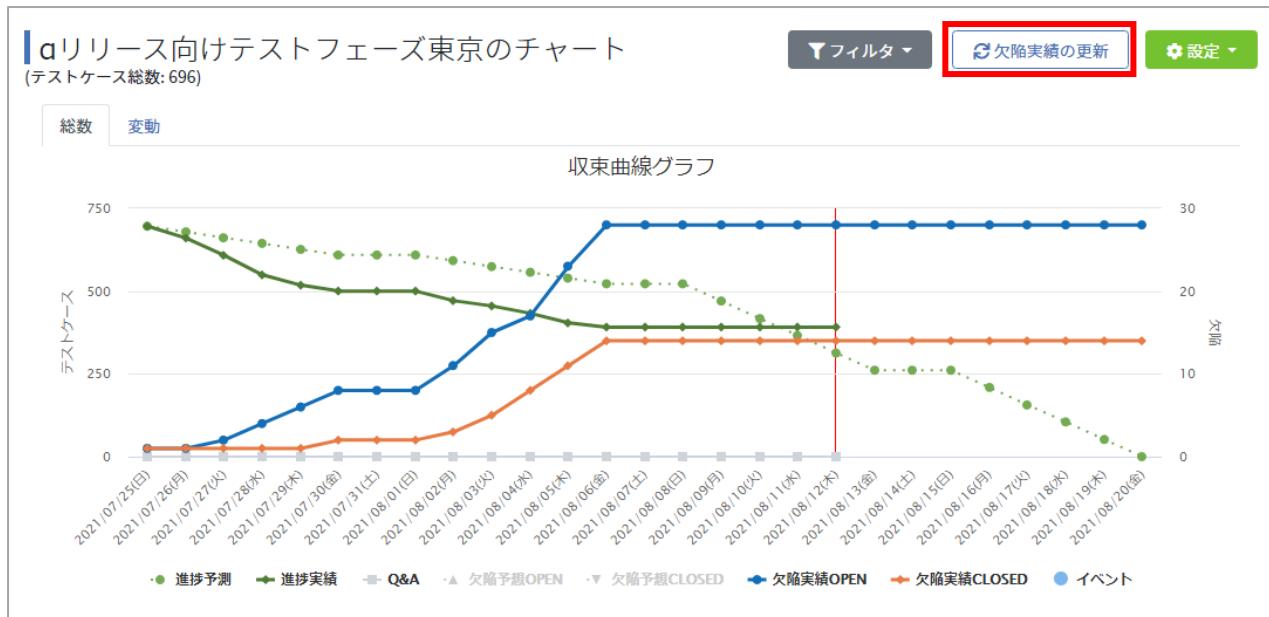
- (1) フェーズごとのレポートを確認する場合は、プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧右側にあるチャートボタンを押します。

フェーズ名	開始日	終了日	進行状況	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
フェーズ11	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 6%; background-color: #c0e9c0;">37/614 (6%)</div>	<a href="#">カバレッジパネル</a>	<a href="#">チャート</a>	<a href="#">実績推移表</a>
フェーズ12	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0%;">0/103 (0%)</div>	<a href="#">カバレッジパネル</a>	<a href="#">チャート</a>	<a href="#">実績推移表</a>
フェーズ2	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 92%; background-color: #c0e9c0;">47/51 (92%)</div>	<a href="#">カバレッジパネル</a>	<a href="#">チャート</a>	<a href="#">実績推移表</a>

- (2) カーソルを合わせると日付ごとに予定と進捗が確認できます。



- (3) 正しいバグ数を取得するには、フェーズ設定画面で Redmine または JIRA との連携用 URL を設定したうえで画面右上の「欠陥実績の更新」をクリックします。

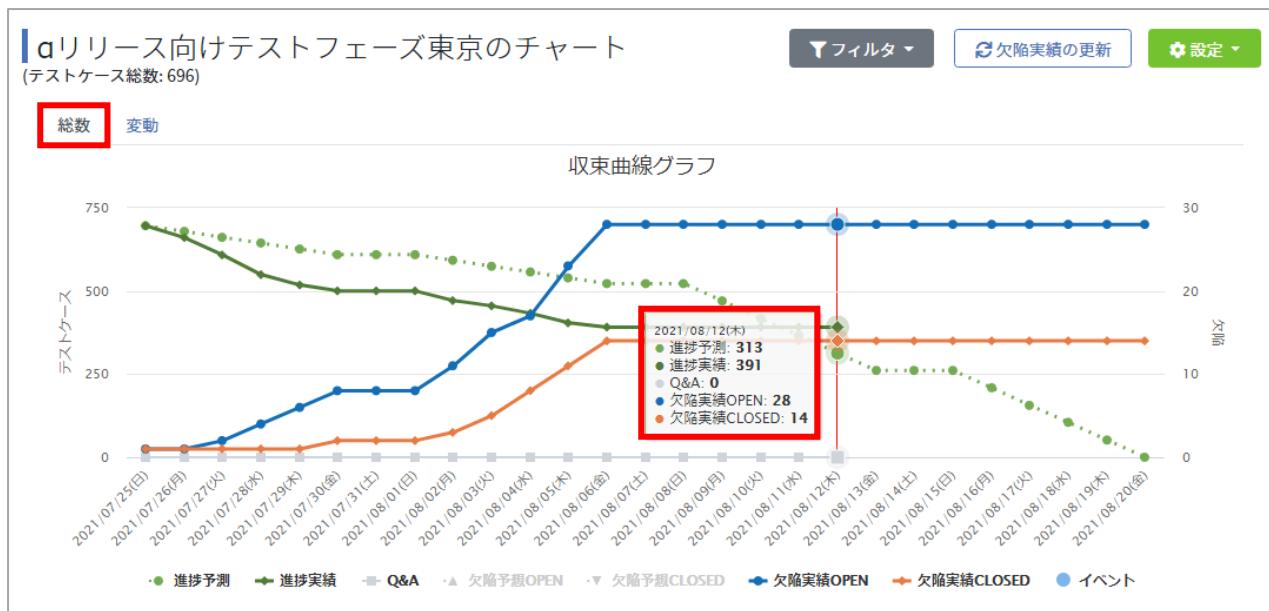


※Redmine・JIRAとの同期は8:00,12:00,18:00の1日3回自動で行われます。「今、この瞬間」のレポートを確認したい場合は「欠陥実績の更新」ボタンをクリックしてください。

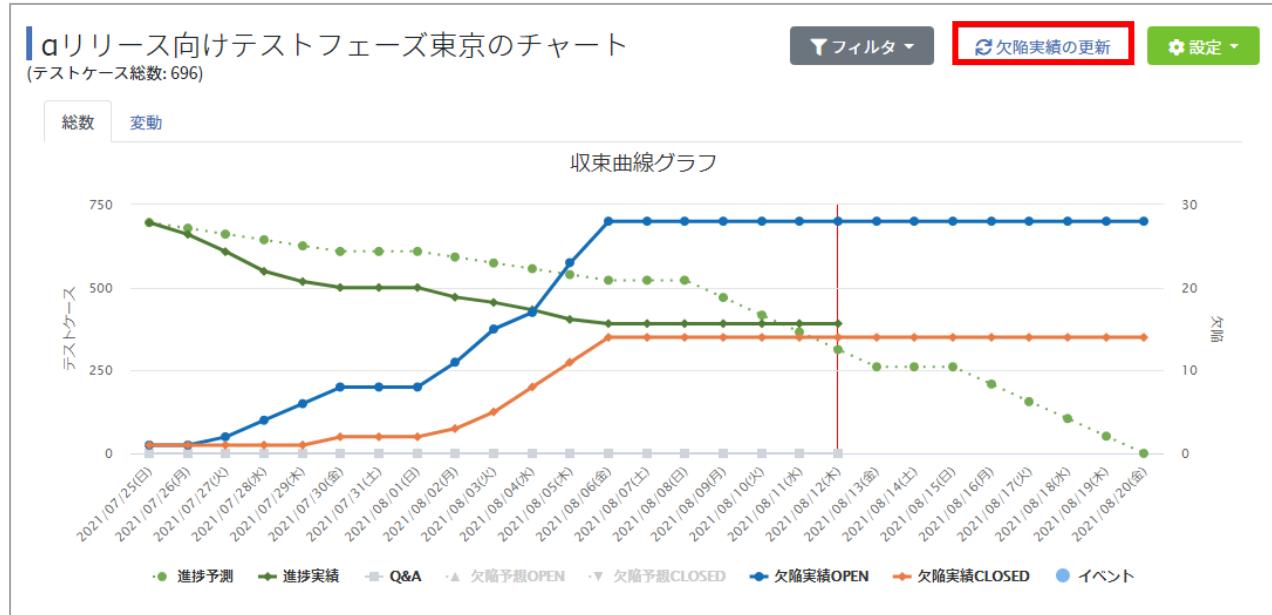
### 9.2.3. 収束曲線(変動)

変動グラフはテストケース数に増減があったタイミングで予定数が変動します。

(1) カーソルを合わせると日付ごとに予定と進捗が確認できます。



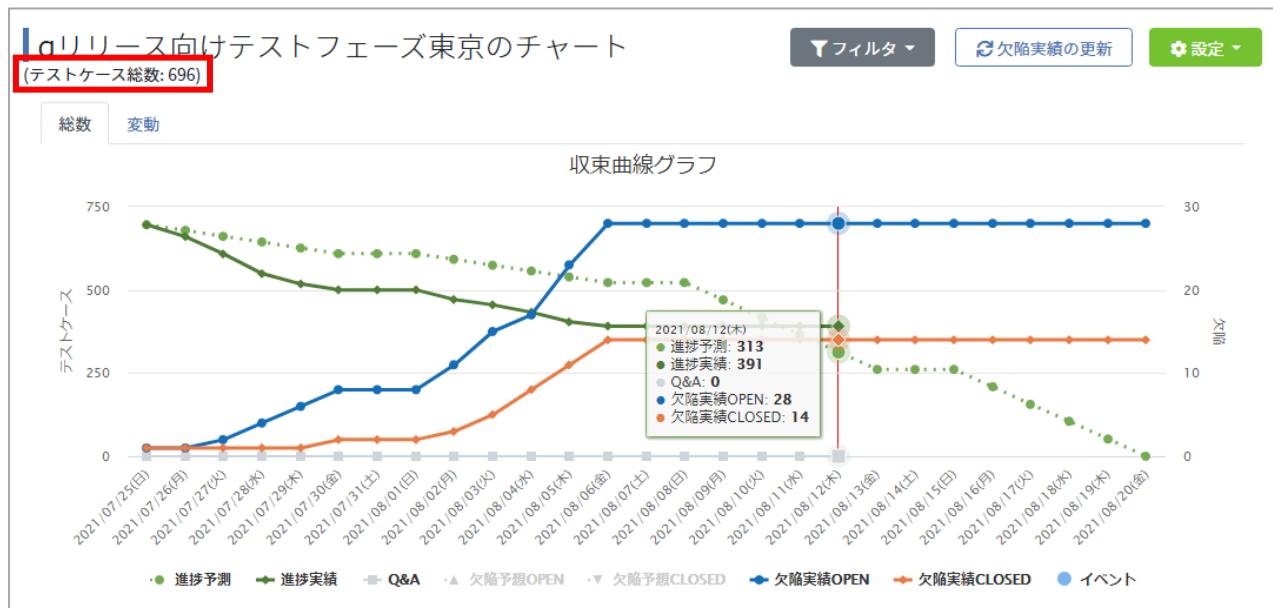
- (2) 正しいバグ数を取得するには、フェーズ設定画面で Redmine または JIRA との連携用 URL を設定したうえで画面右上の「欠陥実績の更新」をクリックします。



※Redmine・JIRAとの同期は8:00,12:00,18:00の1日3回自動で行われます。「今、この瞬間」のレポートを確認したい場合は「欠陥実績の更新」ボタンをクリックしてください。

#### 9.2.4. テストフェーズのテストケース総数を確認する

テストフェーズ名横にテストケース総数が表示されます。ここで表示されるのはテストケースに優先度が入力されている・優先度がテストサイクルの対象になっているテストケースの総数です。



## 9.2.5. チャートにフィルタをかける

テストフェーズに紐付くテストサイクルはフィルタを使用することで、任意に選択して集計することができます。集計した結果は収束曲線グラフ、積み上げグラフとして表示されます。

- (1) レポートのフェーズ一覧画面より任意のテストフェーズの「チャート」ボタンを押します。

フェーズ名▲	開始日	終了日	進行状況	操作
フェーズ11	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 6%; background-color: #2e6b2e;"></div> 37/614 (6%)	[カバレッジパネル] [チャート] [実績推移表]
フェーズ12	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0%; background-color: #d9d9d9;"></div> 0/103 (0%)	[カバレッジパネル] [チャート] [実績推移表]
フェーズ2	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 92%; background-color: #2e6b2e;"></div> 47/51 (92%)	[カバレッジパネル] [チャート] [実績推移表]

- (2) チャート画面右上のフィルタのプルダウンメニューから「フィルタ設定」を選択します。

トップ / サンプルプロジェクト / レポート一覧 / サンプルのチャート

QualityForward ?

サンプルのチャート

総数 変動

収束曲線グラフ

▼ フィルタ ▾ 設定 ▾

フィルタなし

フィルタ設定

- (3) フィルタ設定画面の右上の「+フィルタ追加」ボタンを押します。

サンプルのフィルタ設定

フィルタ名	テストサイクル
	ありません

+ フィルタ追加

- (4) フィルタの作成画面にてフィルタ名を入力後、紐付けたいテストサイクルを選択して「登録する」ボタンを押してください。フィルタの登録が完了すると設定画面へ戻ります。この設定は後から変更することができます。(手順 [9.2.6](#) 参照)

トップ / サンプルプロジェクト / レポート一覧 / サンプルのチャート / フィルタの作成

QualityForward ?

### フィルタの作成

**基本設定**

■ フィルタ名

**テストサイクルの紐付け**

選択可能なもの (2件)

名前で検索

■ テスト中 テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.01回目テスト  
2020/09/11 ~ 2020/09/25

■ テスト中 テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 - 1.01回目テスト  
2020/09/25 ~ 2020/10/09

選択したもの (0件)

左側のブロックから対象を選択してください  
左側のブロック内でクリックしたものがここに追加されます

登録する

- (5) フィルタ設定後、チャート画面から「フィルタ」のプルダウンメニューから登録したフィルタを選択すると、設定したテストサイクルでの絞り込み結果が表示されます。



フィルタによる絞り込みが行われている場合、チャート上部に有効となっているフィルタ名が表示されます。一度作成したフィルタは登録されるため、再設定の必要はありません。

## 9.2.6. フィルタ設定を変更・削除する

フィルタは作成後、フィルタ名や紐付けるテストサイクルの変更を行うことができるほか、フィルタ自体を削除することができます。

- (1) チャート画面、フィルタのプルダウンメニュー内の「フィルタ設定」よりフィルタ設定画面へ遷移します。



- (2) 対象のフィルタの欄にある「設定」ボタンを押します。



- (3) 編集画面へ遷移します。任意の項目を変更後に「更新する」ボタンを押すと変更作業が完了します。削除の場合は画面下部、フィルタの削除の項目で「削除」ボタンを押下後、確認メッセージで「OK」を選択すると削除が実行されます。

フィルタの編集

**基本設定**

必須 フィルタ名  
サンプルフィルタ

**テストサイクルの紐付け**

選択可能なもの (1件)  
名前で検索  
テスト中 テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 -  
1.0 1回目テスト  
▼ A  
2020/09/25 ~ 2020/10/09

選択したもの (1件)  
名前で検索  
テスト中 テストスイートサンプル\_リリース前試験 -  
2.0 1回目テスト  
▼ A  
2020/09/11 ~ 2020/09/25

**更新する**

フィルタの削除

注意！  
フィルタを削除するとレポート画面での絞り込みが行えなくなります  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

**自削除**

## 9.2.7. 欠陥実績数を CSV で登録する

欠陥の OPEN、CLOSE 実績数を CSV で直接登録する方法を説明します。

- (1) 以下のフォーマットに合わせて、日付・OPEN 数・CLOSE 数を入力した CSV ファイルを作成します。

バグ情報の取込

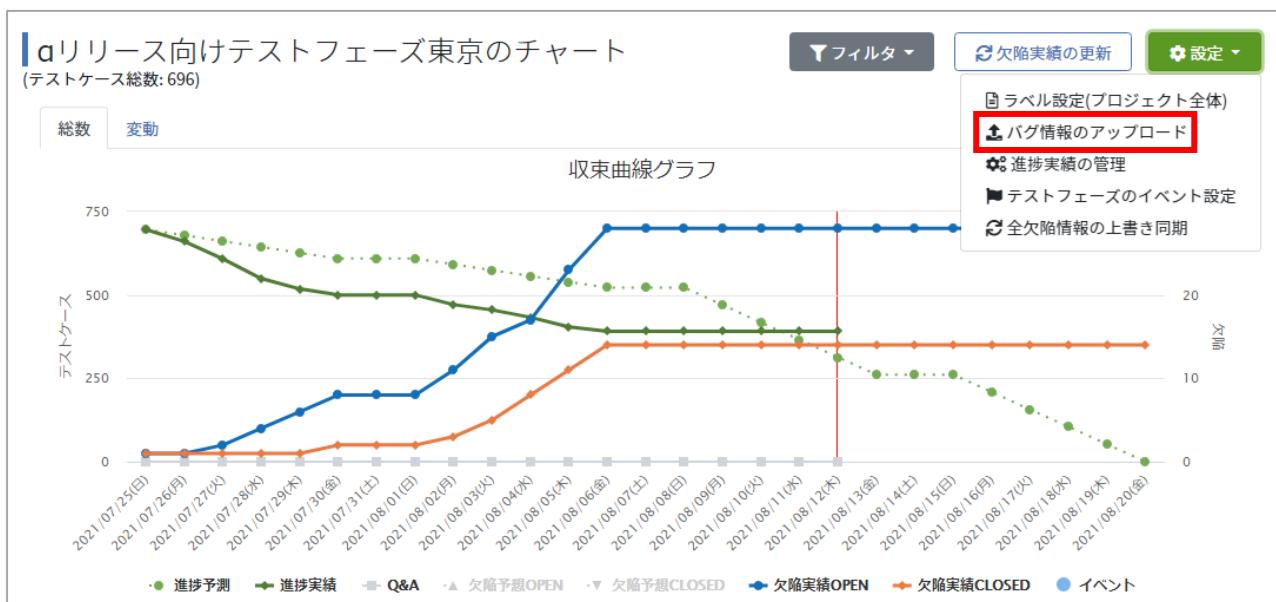
バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取りれます。  
ヘッダ行は不用です。

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

	A	B	C	D
1	2017/5/29	1	0	
2	2017/5/30	5	2	
3	2017/5/31	10	5	
4				
5				

※ヘッダ行は不要です。

- (2) 対象のテストフェーズレポートを開き、右上の設定メニューからバグ情報のアップロードリンクをクリックします。



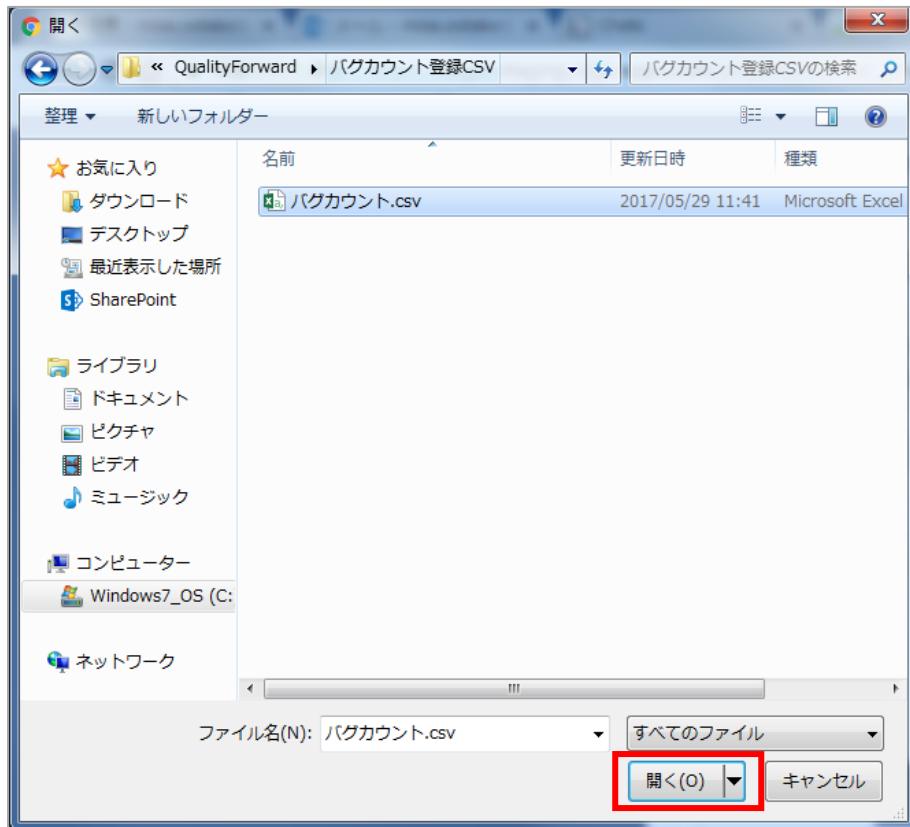
- (3) バグ情報の取込ページを開いたら、ファイルを選択ボタンを押します。

The screenshot shows the 'Bug Information Import' page. At the top, there is a note: 'Bug information is imported in the following CSV format.' Below this is a table with sample data:

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

Below the table is a form field labeled '必須 csvファイル(.csv)' with a red box around the 'Select File' button. The button is labeled 'ファイルを選択' and has the message '選択されていません' below it. At the bottom right is a blue '登録する' (Register) button.

(4) 手順(1)で用意した CSV ファイルを選択します。



(5) 登録するボタンを押します。

A screenshot of a web-based application titled 'バグ情報の取込' (Bug Information Import). It displays a table with bug count data:

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

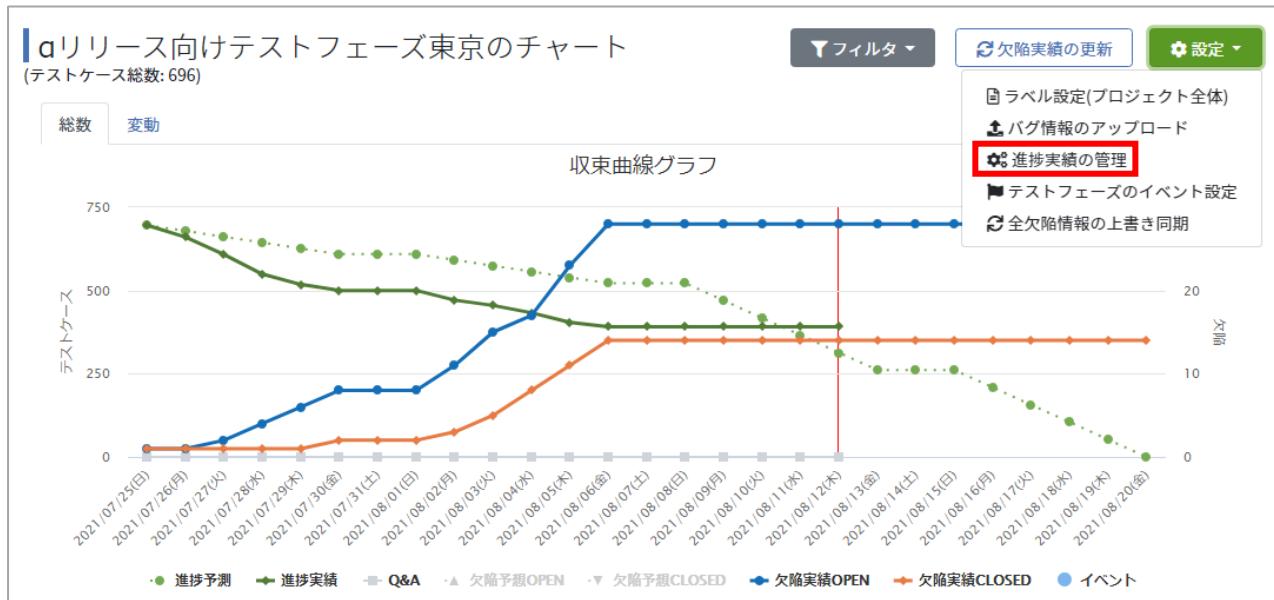
Below the table is a form field labeled '必須 CSVファイル(.csv)' with a placeholder 'ファイルを選択' (Select file) and a note '選択されていません' (Not selected). At the bottom right is a blue button labeled '登録する' (Register), which is highlighted with a red box.

(6) 収束曲線画面へ遷移すれば登録成功です。

## 9.2.8. 過去の進捗実績結果を編集する

過去の進捗実績件数はテストサイクル単位でエクスポート・インポートし、過去の進捗実績結果を修正することができます。

- (1) 対象のテストフェーズレポートを開き、右上の設定メニューから「進捗実績の管理」をクリックします。



- (2) 進捗実績データの管理画面が表示されます。変更対象のテストサイクルの「エクスポート」ボタンを押すと、CSVファイルのダウンロードが開始されます。

The screenshot shows the 'サンプルフェーズの進捗実績データの管理' (Management of Sample Phase Progress Data) screen. It includes a search bar for 'テストサイクル名で検索' (Search by Test Cycle Name) and a '検索' (Search) button. Below is a table with columns: 'テストサイクル名▲' (Test Cycle Name), '進行状況' (Status), and '進捗実績データ' (Progress Data). One row is shown: 'test - 1.0 1回目テスト' (test - 1.0 1st run test) with status '進行中' (In Progress), a progress bar at 7/36 (19%), and 1 item in the data table. A red box highlights the 'エクスポート' (Export) button in the bottom right corner of the data table.

- (3) エクスポートした CSV ファイルを編集します。各テスト結果の件数を任意の件数に書き換えてください。

※インポートはテスト期間のすべての日付に対して上書きを行います。日付の記載がない場合は前日の集計数で補完されるため、修正したい日の件数だけでなく、他の日付の件数も入力してください。

※テスト結果補足の実績は JSON で記述する必要があります。入力の形式は以下です。

## “補足対象のラベル”:{“項目の序列”:件数}

プロジェクトの設定画面、または実績推移表のテスト結果補足の項目順序を確認し、件数とともに CSV ファイルに入力したら更新内容を保存してください。

- (4) 編集した CSV ファイルをインポートします。実績データの管理画面から対象のテストサイクルの「インポート」を選択します。

The screenshot shows a table titled "サンプルフェーズの進捗実績データの管理". It lists a single test cycle named "test - 1.0 1回目テスト" with a status of "進行中" (In Progress). The progress bar shows 7/36 (19%) completed. There are buttons for "エクスポート" (Export) and "インポート" (Import), with the "インポート" button highlighted by a red rectangle.

- (5) 編集した CSV ファイルを選択し、「登録する」ボタンを押します。

The screenshot shows a modal dialog for importing a CSV file. It has a required field labeled "CSVファイル(.csv)" with the value "sample-テストスイートサンプル.csv" and a "登録する" (Register) button highlighted by a red rectangle.

※インポートしたファイルのデータが不正な場合、エラー画面が表示されます。エラー内容を確認し、項目の修正を行い、再アップロードしてください。

The screenshot shows an error message for an import attempt. It says "アップロードに失敗しました" (Upload failed) and provides the error detail: "[\"累計テスト結果補足数は不正なJSONです。\"]". There is a "再度アップロードし直す" (Re-upload) button at the bottom.

- (6) インポートしたファイルのデータに問題がなければ、実績の入れ替えが実行されます。入れ替えた進捗実績データはレポートの各グラフや実績推移表上の数値に反映されますが、テスト実行画面上のテスト結果や件数は変わりません。

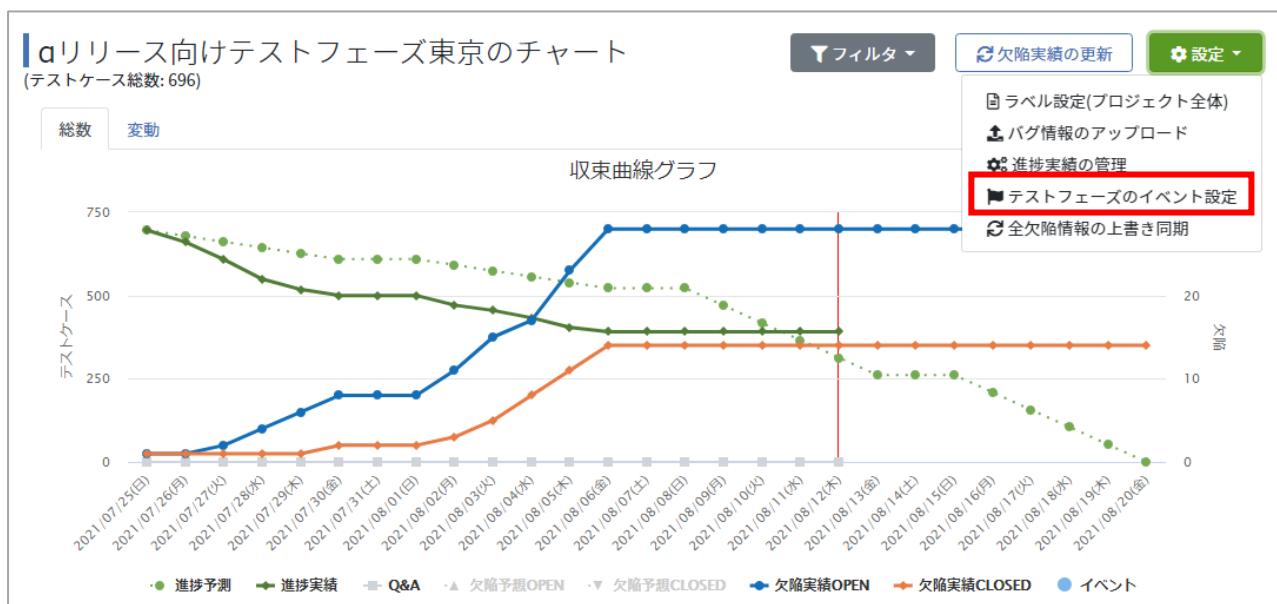
## 9.2.9. テストフェーズのイベント設定

プロジェクト全体の収束曲線グラフと同様にフェーズごとの収束曲線グラフに対し、テストのスケジュールや重要なイベントを設定し、グラフ上に表示することができます。

- (1) テストフェーズのイベント設定は、左メニューの「レポート」をクリックします。
- (2) イベントを登録したい任意のフェーズの「チャート」をクリックします。



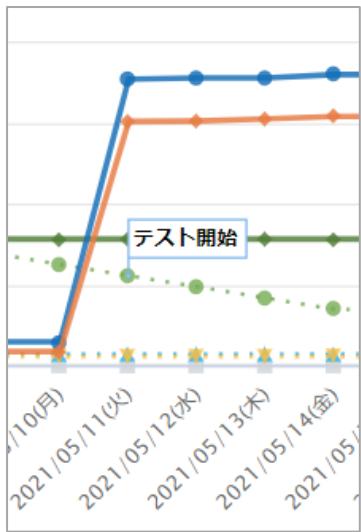
- (3) レポート右上の設定メニューから「テストフェーズのイベント設定」をクリックします。



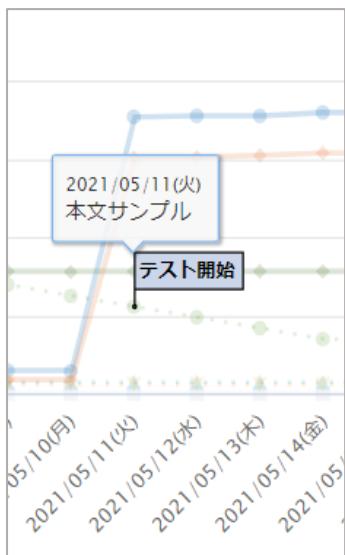
- (4) イベント一覧画面の「+新規登録」ボタンをクリックします。



- (5) 「対象日」に入力した日付にイベントの「タイトル」が表示されます。



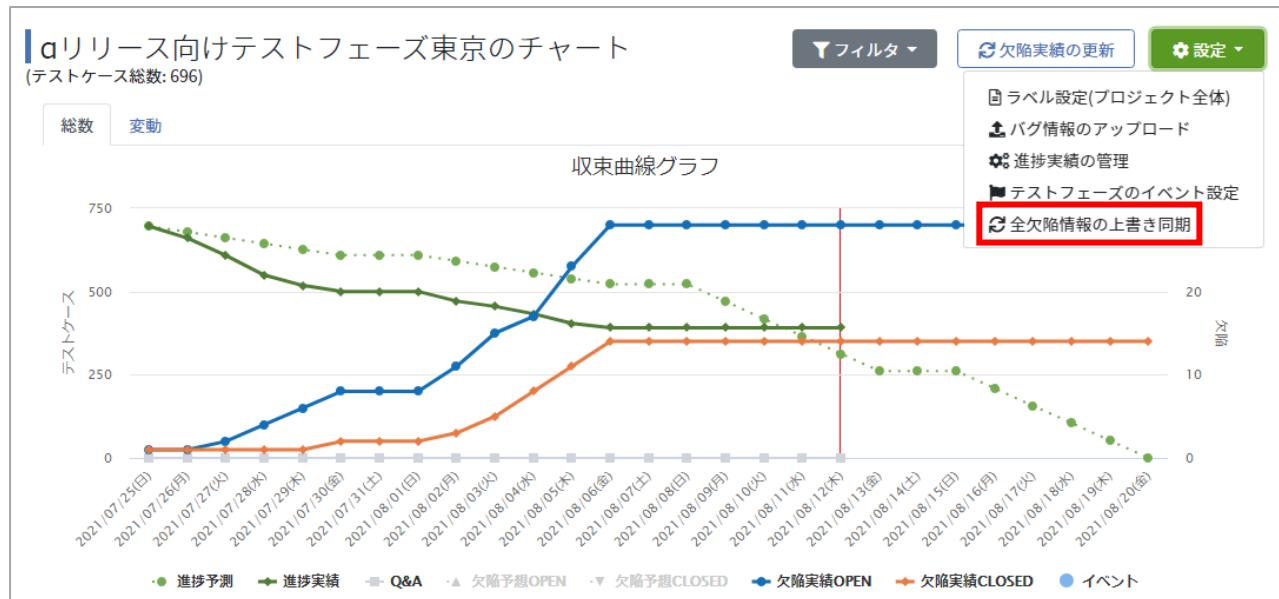
- (6) イベントタイトルにカーソルを合わせると内容を確認することができます。



### 9.2.10. 全欠陥情報の上書き同期

全欠陥情報の上書き同期は、過去の欠陥 OPEN/CLOSE 情報を取得する機能です。それぞれの BTS でのチケット作成日に合わせグラフが描画されます。

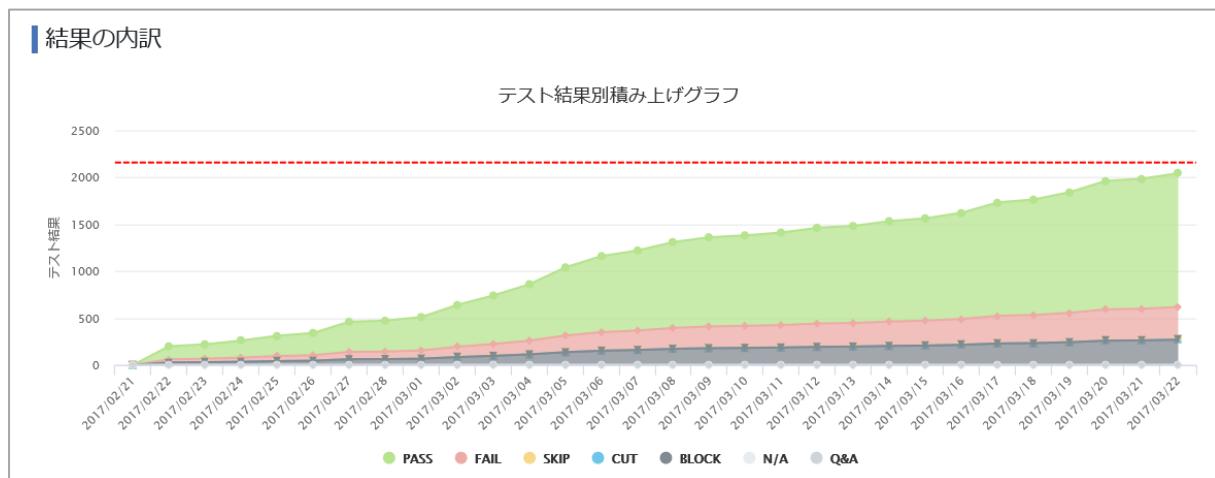
- (1) BTS 連携が設定済みのフェーズごとチャートを開きます
- (2) 右上の設定メニューから「全欠陥情報の上書き同期」をクリックします。



※ 「欠陥実績の更新」ボタンと違い、過去の欠陥実績を上書きするためご注意ください。

## 9.2.11. 進捗の内訳

対象のテストフェーズで実行されているテストの進捗件数のうち、どの結果が何件あるかを確認できます。



## 9.2.12. 最近のインシデント

最近のインシデント取得用の URL が設定済みの場合、最近のインシデント 10 件がレポート画

面に表示されます。「もっと見る」をクリックすることで、Redmine に遷移できます。

設定方法については「BTS 連携マニュアル（1.1.4. 最近のインシデント取得用 URL を設定する）」をご確認ください。

### 最近のインシデント

[394] bug20  
Normal / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

[393] bug19  
High / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

[392] bug18  
Immediate / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

[391] bug17  
Normal / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

[390] bug16  
High / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

[385] bug11  
Normal / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

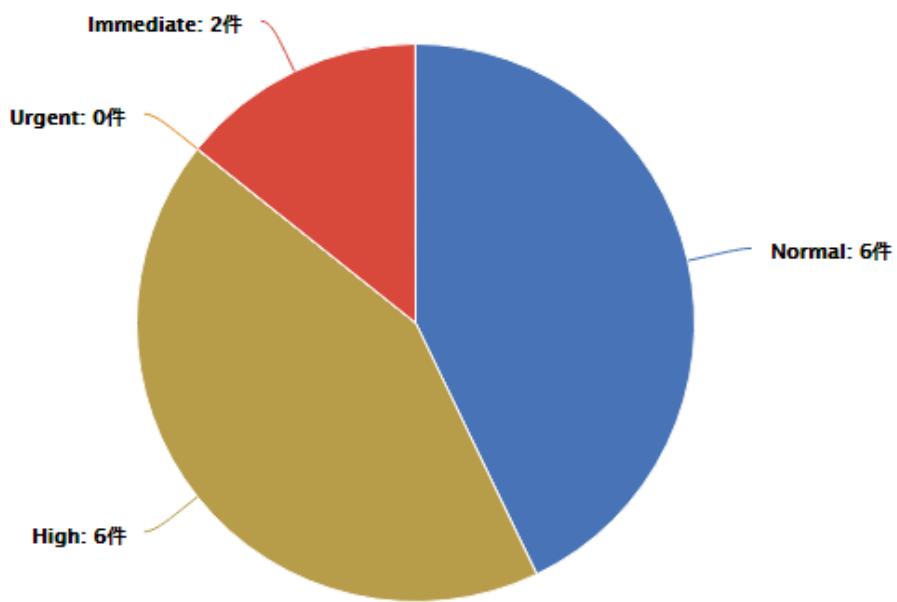
もっと見る →

## 9.2.13. バグ優先度別チャート

バグ曲線、グラフデータ取得用 URL を登録すると、登録済みのチケットのうち、どの優先度のチケットがどれだけあるかをひと目で確認できるチャートが表示されます。

設定方法については「BTS 連携マニュアル(1.1.1. バグ曲線、グラフデータ取得用 URL を設定する)」をご確認ください。

## バグ優先度別チャート

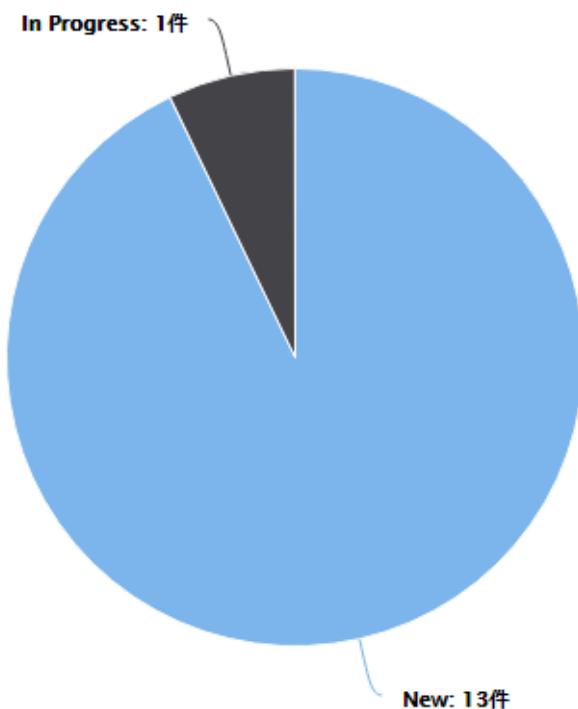


## 9.2.14. ステータス別チャート

バグ曲線、グラフデータ取得用 URL を登録すると、登録済みチケットの各ステータスが何件ずつあるかを確認できるチャートが表示されます。

設定方法については「BTS 連携マニュアル(1.1.3. バグ曲線、グラフデータ取得用 URL を設定する)」をご確認ください。

## ステータス別チャート



### 9.2.15. テストブロッカーを確認する

テストブロッカーを登録（手順 [3.1.4](#) および [5.2.5](#) 参照）しておけば、BLOCK や Q&A にしたステータスのどの内容がテストの実行を妨げているのか、件数の多い順から 10 件表示することができます。

#### テストブロッカーの上位10件

BLOCK	発生件数
不具合番号003	19
不具合番号001	3
不具合番号002	1

Q&A	発生件数
質問番号002	9
質問番号001	3

## 9.2.16. 実績推移表

テストフェーズ単位で、フェーズ全体、およびテストサイクルごとの日々の実績、進捗率を集計、記録します。

- (1) プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧から実績を確認したいフェーズの実績推移ボタンを押します。

フェーズ一覧

テストフェーズ名▲	開始日	終了日	進行状況	操作
フェーズ11	2021/10/04	2021/11/20	<div style="width: 37px; height: 14px; background-color: #2e7131;"></div> <div style="width: 14px; height: 14px; background-color: #d9e1f2;"></div> <div style="width: 1px; height: 14px; background-color: #c00000;"></div> <div style="width: 50px; height: 14px; background-color: #e0e0e0;"></div>	<span>37/614 (6%)</span> ■カバレッジパネル <span>チャート</span> <span>実績推移表</span>
フェーズ12	2021/10/28	2021/11/28	<div style="width: 0px; height: 14px; background-color: #e0e0e0;"></div>	<span>0/103 (0%)</span> ■カバレッジパネル <span>チャート</span> <span>実績推移表</span>
フェーズ2	2021/06/01	2021/08/31	<div style="width: 47px; height: 14px; background-color: #2e7131;"></div> <div style="width: 53px; height: 14px; background-color: #e0e0e0;"></div> <div style="width: 1px; height: 14px; background-color: #c00000;"></div>	<span>47/51 (92%)</span> ■カバレッジパネル <span>チャート</span> <span>実績推移表</span>

- (2) 対象フェーズとプロジェクト全体の実績推移表が表示されます。

サンプルテストフェーズBの実績推移表

	10/13(火)	10/14(水)	10/15(木)	10/16(金)	10/17(土)	10/18(日)	10/19(月)	10/20(火)	10/21(水)	10/22(木)	10/23(金)	10/24(土)	10/25(日)	10/26(月)	10/27(火)	10/28(水)	10/29(木)	10/30(金)	10/31(土)
全体	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績消化数	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予測消化数	5	6	5	6	0	0	5	6	5	6	5	0	5	0	6	5	0	0	0
実績差率	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%
予測差率	8.3%	18.3%	26.7%	36.7%	36.7%	45.0%	55.0%	63.3%	73.3%	81.7%	81.7%	81.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績消化累計数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
予測消化累計数	5	11	16	22	22	27	33	38	44	49	49	49	49	55	60	60	60	60	60
PASS	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
PASS→FAIL→PASS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PASS→SKIP→PASS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
FAIL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SKIP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SKIP→NG→SKIP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CUT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BLOCK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BLOCK→NG→BLOCK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A→SKIP→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A→Q&A→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A→CUT→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q&A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累計バグ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累計バグクローズ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- (3) テスト結果補足を使用している場合、テスト結果補足の結果ごとの件数も実績推移表に表示され、集計されます。

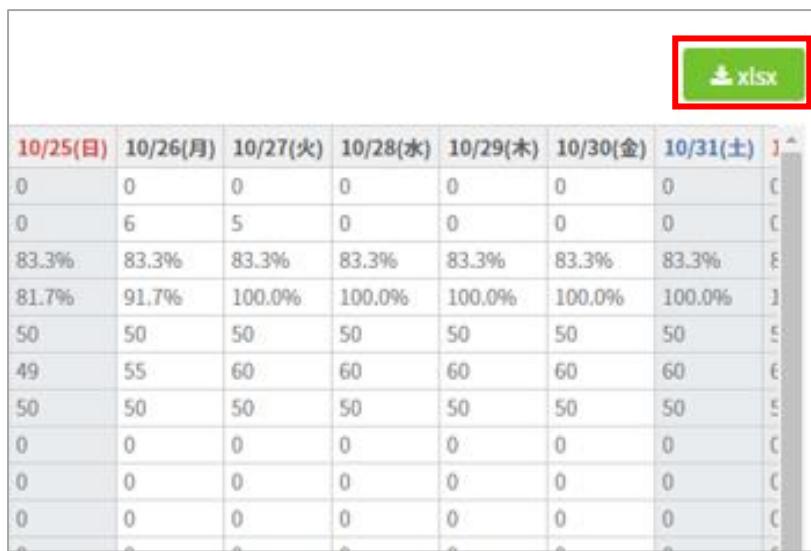
## サンプルテストフェーズBの実績推移表

全体	50/60 (83%)		
		10/13(火)	10/14(水)
実績消化数	50	0	
予測消化数	5	6	
実績進捗率	83.3%	83.3%	
予測進捗率	8.3%	18.3%	
実績消化累計数	50	50	
予測消化累計数	5	11	
PASS	50	50	
PASS - FAIL→PASS	0	0	
PASS - SKIP→PASS	0	0	
FAIL	0	0	

### 9.2.17. 実績推移表をエクスポートする

実績推移表はエクセル形式でのエクスポートが可能です。

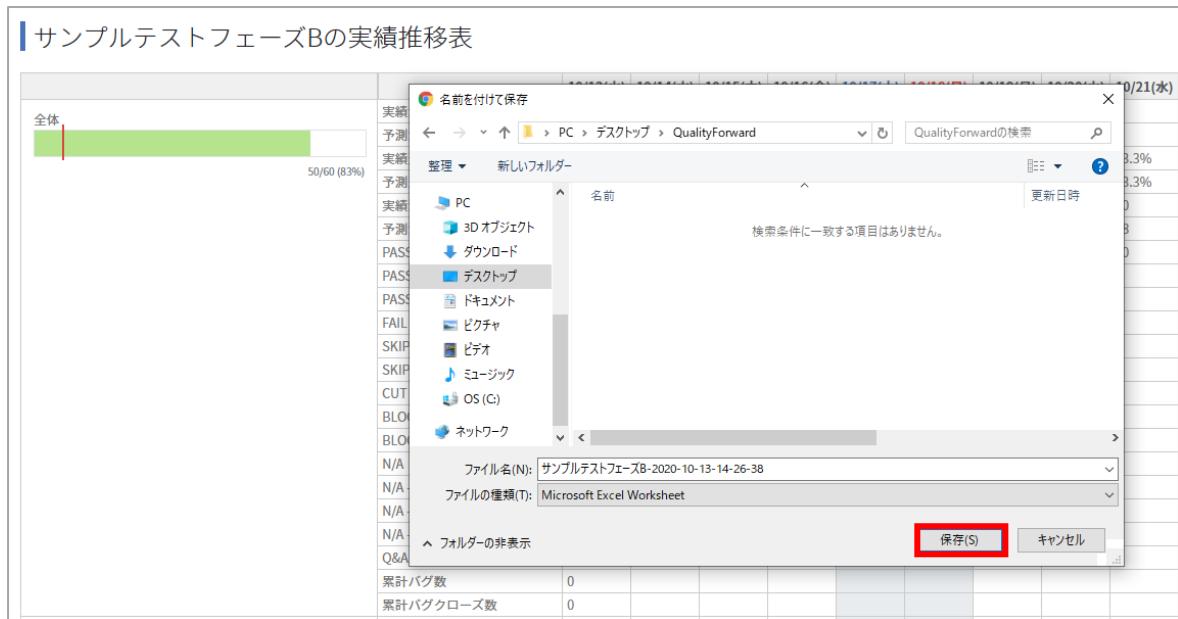
- (1) 実績推移表右上のxlsxボタンを押します。



The screenshot shows a table with various performance metrics for a test phase. At the top right of the table area, there is a green button with a white icon and the text 'xlsx'. This button is highlighted with a red rectangular box.

10/25(日)	10/26(月)	10/27(火)	10/28(水)	10/29(木)	10/30(金)	10/31(土)	10/31(日)
0	0	0	0	0	0	0	0
0	6	5	0	0	0	0	0
83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%
81.7%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
50	50	50	50	50	50	50	50
49	55	60	60	60	60	60	60
50	50	50	50	50	50	50	50
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0

- (2) ダイアログボックスが表示されたらダウンロード先を選択して保存ボタンを押します。



## 9.3. レポート設定

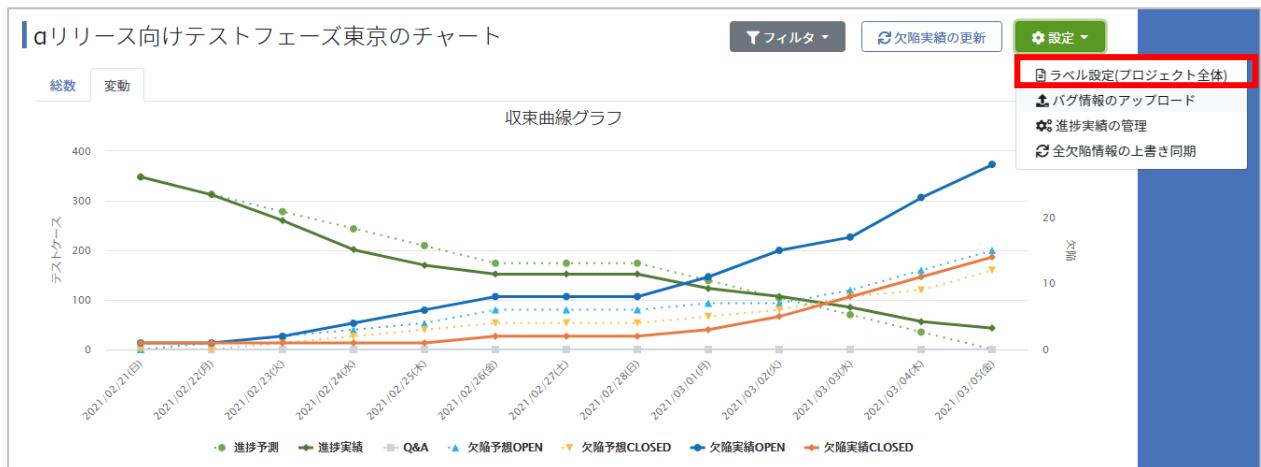
レポート画面での文言を自由に設定することができます。

### 9.3.1. フッターのラベルを変更する

レポート画面最下部のコピーライトを書き換えることができます。

© 2020 Veriserve Corporation

(1) テストフェーズのチャート画面右上の設定メニューからラベル設定をクリックします。



(2) 基本設定のフッターラベルに設定したい文字を入力します。

レポートのラベル設定(プロジェクト全体)

■ 基本設定

フッターラベル

(3) 最下部の更新するボタンを押します。

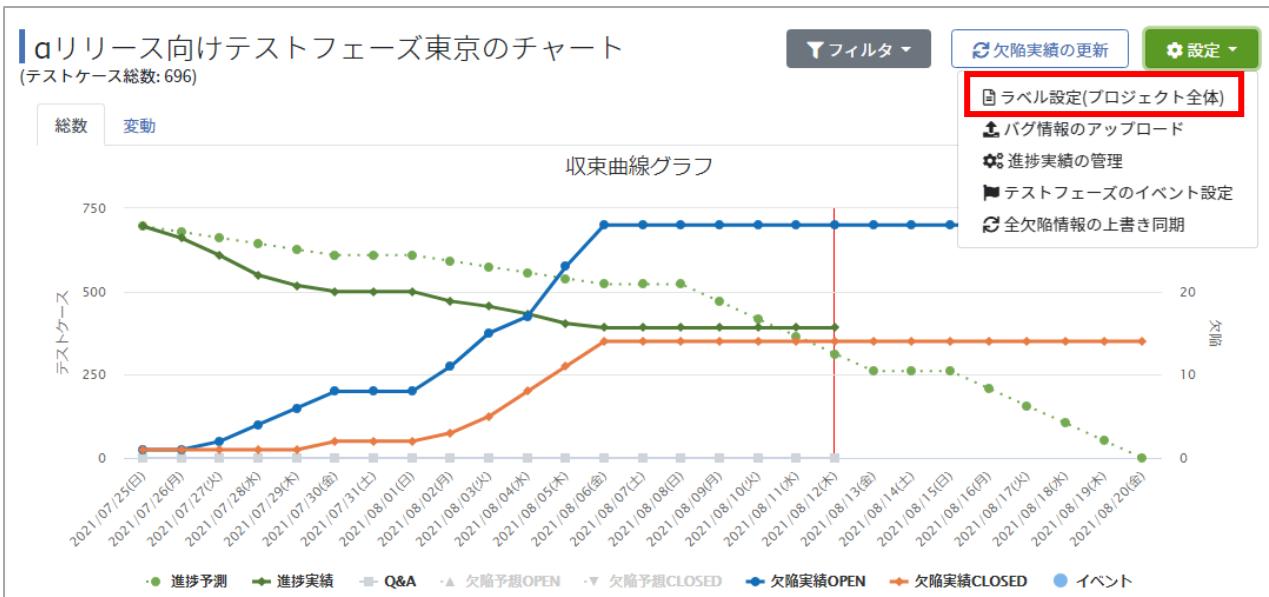
更新する

### 9.3.2. レポートのラベルを変更する

レポート画面のグラフに表示させるラベルの文言を自由に設定することができます。



(1) レポート画面右上の設定メニューからラベル設定をクリックします。



(2) 収束曲線グラフ設定のそれぞれの項目に設定したい文字を入力します。

## 収束曲線グラフ設定

グラフタイトル

テストケースラベル

欠陥ラベル

進捗予想ラベル

進捗実績ラベル

Q&Aラベル

欠陥予想OPENラベル

欠陥予想CLOSEDラベル

欠陥実績OPENラベル

欠陥実績CLOSEDラベル

更新する

- (3) 最下部の更新するボタンを押します。

更新する

※初期値に戻したい場合はテキストボックスを空にして更新ボタンを押します。

# 第10章 チーム Wiki の管理

チーム内の情報共有の場としてチーム Wiki をご利用いただけます。本章ではチーム Wiki の利用方法について説明します。

## 10.1. チーム Wiki の作成

チーム Wiki の作成方法について説明します。

### 10.1.1. ページを新規作成する

- (1) ダッシュボード画面左のメニューからチーム Wiki のリンクをクリックします。



The screenshot shows the QualityForward dashboard interface. On the left, there is a sidebar with various menu items: ワークスペース, ダッシュボード, テストスイート, テストフェーズ, レポート, チームWiki (which is highlighted with a red box), and アラートセンター. The main content area is titled 'サンプルプロジェクト' and contains information about the sample project, including its logo (VERISERVE), a description, and sections for Test Suite, Test Phase, and Test Cycle. At the top right, there are links for ユーザ管理 and 設定.

- (2) チーム Wiki トップページ右上の編集ボタンを押します。



The screenshot shows the 'New Page' creation screen. It has a header with 'トップ / サンプルプロジェクト / 新規ページ' and a search bar. Below the header is a text input field containing '新規ページ'. At the top right, there are three buttons: '編集' (highlighted with a red box), 'ページ一覧', and a help icon.

- (3) 共有したい内容を入力します。テキスト入力のほか、Markdown 記法による文章の装飾や表組の作成、画像の挿入などが可能です。

ページの編集

□ 記入 □ プレビュー

必須 ページ名  
チームWikiへようこそ

必須 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。  
製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、  
任意にご活用ください。

### おススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。  
ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた  
ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

### Tips

- \* Qiita マークダウン記法が利用できます。詳細は 編集 画面右上にある ヘルプ をご覧ください
- \* 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- \* 新しいページは ページ一覧 の画面から作成できます

添付ファイル

ファイルをドロップするか  
ここをクリックして下さい

更新する

#### (4) プレビュー タブで入力内容の確認ができます。

ページの編集

□ 記入 □ **プレビュー**

必須 ページ名  
チームWikiへようこそ

必須 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。  
製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、  
任意にご活用ください。

### おススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。  
ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた  
ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

### Tips

- \* Qiita マークダウン記法が利用できます。詳細は 編集 画面右上にある ヘルプ をご覧ください
- \* 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- \* 新しいページは ページ一覧 の画面から作成できます

添付ファイル

ファイルをドロップするか  
ここをクリックして下さい

更新する

### 10.1.2. ファイルを添付する

(1) 画像を添付したい場合は、ページ編集画面右のファイル添付エリアにファイルをドロップす

るか、クリックします。

ページの編集

□ 記入 □ プレビュー

必須 ページ名  
チームWikiへようこそ

必須 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。  
製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、  
任意にご活用ください。

### おススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。  
ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた  
ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

### Tips

- \* Qiita マークダウン記法が利用できます。詳細は 編集 画面右上にある ヘルプ をご覧ください
- \* 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- \* 新しいページは ページ一覧 の画面から作成できます

添付ファイル

ファイルをドロップするか  
ここをクリックして下さい

更新する

(2) 入力を全て終えたら更新するボタンを押します。

ページの編集

□ 記入 □ プレビュー

必須 ページ名  
チームWikiへようこそ

必須 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。  
製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、  
任意にご活用ください。

### おススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。  
ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた  
ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

### Tips

- \* Qiita マークダウン記法が利用できます。詳細は 編集 画面右上にある ヘルプ をご覧ください
- \* 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- \* 新しいページは ページ一覧 の画面から作成できます

添付ファイル

ファイルをドロップするか  
ここをクリックして下さい

更新する

### 10.1.3. ページを追加する

チーム Wiki に既にページが存在する場合、新たにページを追加する方法を説明します。

- (1) チーム Wiki トップページ右上のページ一覧ボタンを押します。



- (2) チーム Wiki ページ一覧右上のページ追加ボタンを押します。



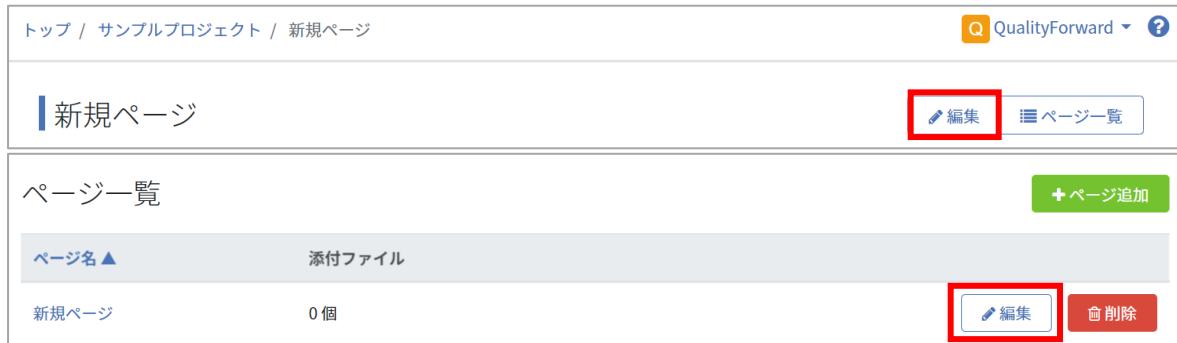
- (3) ページ名と内容を入力したら更新するボタンを押します。

## 10.2. チーム Wiki を編集・削除する

チーム Wiki の情報を編集・削除する方法を説明します。ページの情報はチーム Wiki 画面からいつでも変更可能です。

### 10.2.1. ページを編集する

- (1) チーム Wiki トップページまたはページ一覧から編集ボタンを押します。



- (2) 内容の編集が完了したら更新ボタンを押します。

## 10.2.2. ページを削除する

- (1) チーム Wiki トップページ右上のページ一覧ボタンを押します。



- (2) 消したいページの右側の削除ボタンを押します。



- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



# 第11章アラートセンターを利用する

テスト結果に空欄があるままレビュー依頼を送信した、特定の結果が入力されているのにレビュー依頼を送信した、進捗に一定の遅れがある場合に知らせるアラートセンター機能について説明します。

The screenshot shows the 'Alert Center' interface with three notifications:

- Top Notification (Yellow):** Occurred at 2020/07/08 17:21. Message: "テスト結果に含まれてはいけない結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります！" (Review request posted or completed in a cycle where the test result contains an不该包含 (not supposed to contain) result). Sub-message: "テストケースA - 1.0 2回目テスト" (Test Case A - 1.0 2nd Test) contains the following test results:
  - FAILButtons: "アーカイブする" (Archive).
- Middle Notification (Light Blue):** Occurred at 2020/07/08 17:01. Message: "テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります！" (Review request posted in a cycle where the test result was not entered). Sub-message: "テストケースA - 1.0 1回目テスト" (Test Case A - 1.0 1st Test) has review requests but the test results were not entered. Buttons: "アーカイブする" (Archive).
- Bottom Notification (Pink):** Occurred at 2020/07/08 17:00. Message: "進捗が遅れているテストフェーズがあります！" (There are test phases that are behind schedule!). Sub-message: "フェーズE" (Phase E) is 20% behind schedule. Buttons: "アーカイブする" (Archive).

## 11.1. アラートを設定する

アラートセンター設定の利用するにチェックをすることで、アラートを検知することができるようになります。

アラートの設定はプロジェクト管理者以上の権限が必要となります。

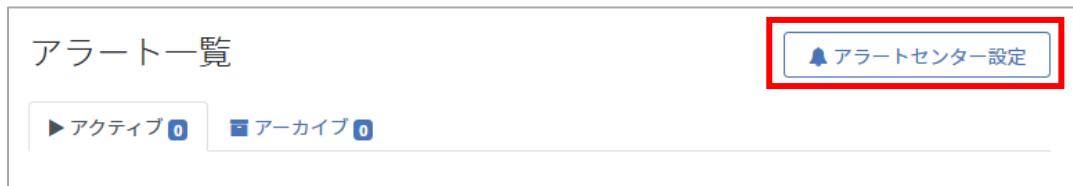
### 11.1.1. レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っている際に検知する

レビュー依頼送信時にテスト結果に空欄がある場合に通知します。

(1) 左のメニューからアラートセンターをクリックします。



(2) アラート一覧画面右上のアラート設定ボタンを押します。



(3) レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っているの「利用する」にチェックを入れます。



(4) 重要度を選択します。重要度はアラートセンターでの色分けに利用されます。info は青、warning は黄、danger は赤になります。



(5) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

## 11.1.2. レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている際に検知する

レビュー依頼送信時、テスト完了時に特定のテスト結果が入力されている場合に通知します。

- (1) レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っているの「利用する」にチェックを入れます。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS  FAIL  SKIP  CUT  BLOCK  N/A  Q&A

重要度

Warning

● 重要度はアラートセンターでの色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (2) テスト完了時に残っていてほしくないテスト結果を選択します。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS  FAIL  SKIP  CUT  BLOCK  N/A  Q&A

重要度

Warning

● 重要度はアラートセンターでの色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (3) 重要度を選択します。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS  FAIL  SKIP  CUT  BLOCK  N/A  Q&A

重要度

Warning

● 重要度はアラートセンターでの色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (4) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

### 11.1.3. テストフェーズの進捗に遅れがある際に検知する

本日までの予定に対し、進捗率が選択した割合よりも遅れている場合に通知します。

※進捗の遅れはごと日 23:30 頃に集計され、アラートセンターに表示されます。

#### (1) テストフェーズの進捗遅れアラートの「利用する」

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▾

重要度

Danger

① 重要度はアラートセンターでの色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

#### (2) アラートを出す進捗遅れ割合を選択します。

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▾

重要度

Danger

① 重要度はアラートセンターでの色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

#### (3) 重要度を選択します。

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▾

重要度

Danger

① 重要度はアラートセンターでの色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

(4) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

## 11.2. アラートをアーカイブする

解決済みのアラートはアーカイブし、アラート一覧画面を整理することができます。

(1) アラート一覧のアクティブタブから、アーカイブしたい通知のアーカイブするボタンを押します。

アラート一覧

▶ アクティブ 282 ■ アーカイブ 0

⌚ 2020/07/08 17:21  
テスト結果に含まれてはいけない結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります！  
テストケースA-1.0 2回目テスト には以下のテスト結果が含まれていました。  
• FAIL

⌚ 2020/07/08 17:01  
テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります！  
テストケースA-1.0 1回目テスト でレビュー依頼がありましたが、指定の優先度のテスト結果の記入が完了していません。

⌚ 2020/07/08 17:00  
進捗が遅れているテストフェーズがあります！  
フェーズE の進捗が 20 %以上遅れています。

(2) アーカイブした通知は、アラート一覧のアーカイブタブに表示されます。

## アラート一覧

アラートセンター設定

▶ アクティブ 394

■ アーカイブ 3

○ 2020/07/08 17:00  
進捗が遅れているテストフェーズがあります！

フェーズE の進捗が 20 %以上遅れています。

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

アーカイブから戻す

○ 2020/07/08 17:01  
テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります！

テストケースA - 1.0 1回目テスト でレビュー依頼がありました。が、指定の優先度のテスト結果の記入が完了していません。

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

アーカイブから戻す

○ 2020/07/08 17:21  
テスト結果に含まれてはいけない結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります！

テストケースA - 1.0 2回目テスト には以下のテスト結果が含まれていました。

- FAIL

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

アーカイブから戻す